f100

Compact Mixer

Operation Manual

第 1 版

2D-53-00039300

TAMURA

このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の品質向上の為、予告なく変更する場合があります。あらかじめご承知おきください。

著作権について

このマニュアルの著作権は株式会社タムラ製作所が有しています。許可なく複製、転写、改変、配布することを禁じます。

商標について

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

目次

1. Part names and functions 1

1-1 Overview 2

1-2 Panel PC 3

1-3 Fader Unit 3

2. Display Select 5

2-1 画面構成 6

2-2 Panel PC 画面表示の切り替え 7

2-2-1 各画面の概要 7
2-2-2 画面の切り替え操作 8

3. Channel Control 10

3-1 チャンネルの作成 11

3-1-1 操作方法 11

3-2 チャンネルレイアウト機能 13

3-2-1 Clear 13
3-2-2 Delete 13
3-2-3 Cut 14
3-2-4 Swap 15
3-2-5 Duplicate 16
3-2-6 Unlink 16
3-2-7 Insert Blank 17

3-3 チャンネル名称 (Fader Name) の設定 18

3-3-1 操作方法 18

3-4 チャンネルパラメーター操作 19

3-4-1 Fader/Cut/REM/PFL 操作 19
3-4-2 HA Gain/Trim 操作 19
3-4-3 Φ、L/R 操作 19
3-4-4 Channel Setting オペレーション 20

3-5 音声処理の順序（Audio Path 設定） 23

3-5-1 Overview 23
3-5-2 Audio path 設定の変更 23

3-6 Layer 24

3-6-1 Layer の切り替え 24
3-6-2 BUS Fader 表示 24

3-7 チャンネルパラメーターの編集 25

3-7-1 パラメーター設定の Clear 25
3-7-2 パラメーター設定の Copy 26
3-7-3 Fader Level の基準レベル設定 27

3-8 チャンネルのグルーピング 28

3-8-1 Fader Group タイプの設定 28
3-8-2 Fader Group Master チャンネルの設定 29
3-8-3 Fader Group Slave チャンネルの設定 31
3-8-4 Visual Group の設定 32
3-8-5 Link Function の設定 34

4. Mixer Status 画面 36

4-1 Overview 37

4-2 Page Select 37

4-3 Meter 38

4-4 Status 38

4-5 Program 39

4-6 Display Select 39

5. Meter 画面 40

5-1 Overview 41

5-2 メーターの構成 42

5-2-1 レベルメーター 42
5-2-2 設定インジケータ 43
5-2-3 ゲインリダクションメーター 43

5-3 Input Meter 44

5-4 Main/Bus Meter 45

5-5 Assign status 46

5-6 Parameter status 46

5-7 Select Encoder Guide 46

5-8 Mixer Control 47

5-9 Monitor 48

5-10 Talk Back 50

5-11 On Air 50

6. Channel Setting 画面 51

6-1 Overview 52

6-2 チャンネル情報エリア 54

6-3 Audio Path エリア 55

6-4 Input エリア 56

6-5 Bus アサインエリア 56

6-6 Insert Source エリア 57

6-7 EQ / Filter エリア 58

6-8 Dynamics エリア 58

6-9 Aux エリア 59

6-10 チャンネルメーターエリア 60

7. Menu 画面 61

7-1 Overview 62

7-2 Overview メニュー 64

7-2-1 通常画面 64
7-2-2 Input マトリクス設定ウィンドウ 67
7-2-3 Fader Group / Link Function Select 設定ウィンドウ 68

7-3 Monitor メニュー 70

7-3-1 メニューTop 70
7-3-2 Monitor 1/2/3/4 70
7-3-3 Monitor Parameter 71

7-4 Group メニュー 72

7-4-1 メニューTop 72
7-4-2 Fader Group Type 72
7-4-3 Fader Group1-16 73

7-5 Meter メニュー 74

7-5-1 メニューTop 74
7-5-2 Peak Hold Time 74
7-5-3 Hold Reset 74
7-5-4 Release Time 74
7-5-5 Meter Type 74
7-5-6 Main Meter 74
7-5-7 Bus Meter 1/2/3/4 74

7-6 OSC/TB メニュー 75

7-6-1 メニューTop....75
7-6-2 OSC/TB Parameter....75
7-6-3 OSC Dest Select....75
7-6-4 Frequency 1/2....76
7-6-5 TB Preset 1/2....76
7-6-6 TB Source....76

7-7 Preset Program メニュー....77

7-7-1 メニューTop....77
7-7-2 Save / Load....78
7-7-3 タイトル編集....78
7-7-4 ファイルのロック設定....79
7-7-5 ファイルリストの編集....80
7-7-6 ファイルの Export / Import....81

7-8 Status メニュー....82

7-8-1 メニューTop....82
7-8-2 Alarm/Status Log....83

7-9 System メニュー....84

7-9-1 メニューTop....84
7-9-2 Bus Format - Master / Aux....84
7-9-3 Sync Source....85
7-9-4 Delay....85
7-9-5 Luminance....85
7-9-6 DC1/2 Power Alarm....85
7-9-7 Master Bay....85
7-9-8 Mixer Data....86

7-10 Out Mtx メニュー....87

7-10-1 Output マトリクス設定ウィンドウ....89

7-11 GPIO メニュー....90

7-11-1 メニューTop....90
7-11-2 GPIO Card 設定方法 （例：FU ON）....90

7-12 IO Card メニュー....92

7-12-1 メニューTop....92
7-12-2 IO Card 設定....92

7-13 Config....94

7-13-1 Moni1/2/3/4 Int/Mix Source....94
7-13-2 Moni1/2/3/4 Auto Cut Source....94
7-13-3 Moni1/2/3/4 Auto Dim Source....94
7-13-4 ON AIR – OSC Inhibit....95
7-13-5 ON AIR – TB Inhibit....95
7-13-6 Aux Send – Pan Link....95

7-14 Setup....96

7-14-1 Digital Reference Level....96
7-14-2 Password....96
7-14-3 Mono Mix Dimmer Level....96

7-14-4 PFL Source 97
7-14-5 Aux Pre Source 97
7-14-6 BT Cut 97
7-14-7 Fader Unit 97

8. GPIO 98

8-1 制御機能 99

8-1-1 機能一覧 99
8-1-2 Link Function FU/BT (GPI) 100
8-1-3 Link Function Remote (GPO) 100
8-1-4 Link Function AVL (GPI) 101
8-1-5 On Air (GPI) 101
8-1-6 Monitor Cut (GPI) 101
8-1-7 Monitor Dim (GPI) 101
8-1-8 Monitor Src Sel (GPI) 102
8-1-9 TB Int (GPI) 102
8-1-10 OSC Int (GPI) 102
8-1-11 Mic On (GPO) 102

9. Appendix 103

9-1 チャンネルパラメーター 一覧 104

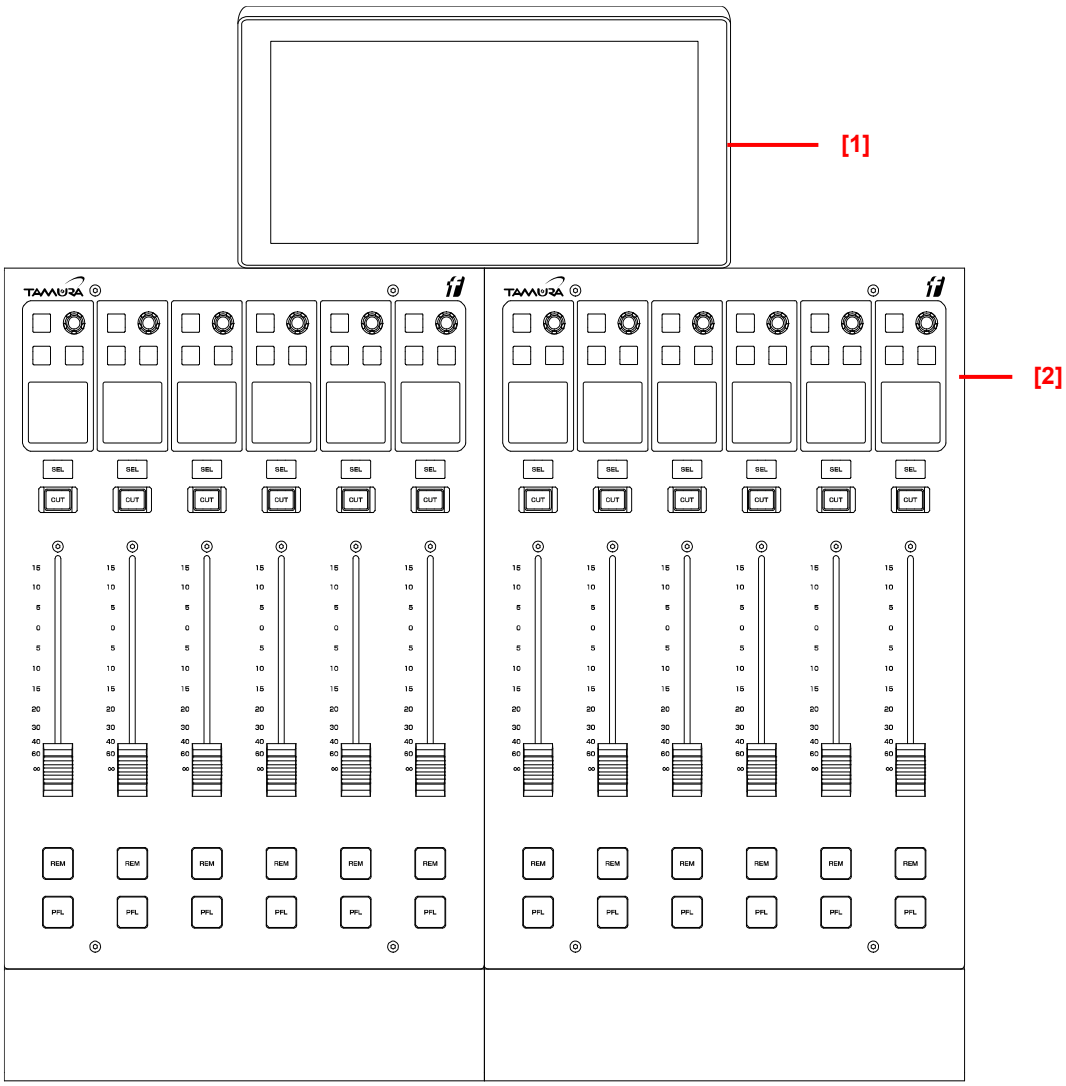
9-2 Select Encoder 機能配置一覧 (Channel Setting) 106

9-3 Select Encoder 機能配置一覧 (Menu) 109

9-4 キーボード 110

1. Part names and functions

1-1 Overview



[1] Panel PC

音声メーター、設定値グラフなどを表示します。
設定 Menu 操作などコンソール全体に関わる設定操作を行います。

[2] Fader Unit

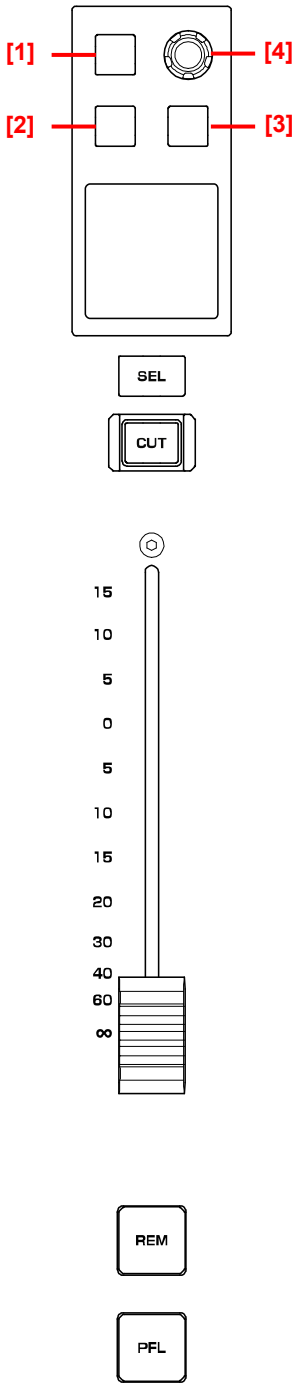
チャンネルの Fader 操作などを行います。
最大 4 台まで接続できます。

1-2 Panel PC

音声メーター、設定値グラフなどを表示します。また、設定 Menu 操作などシステム全体に関わる設定をタッチ操作により行います。

画面表示、操作の説明は 2 章以降を参照して下さい。

1-3 Fader Unit



[1] Select ボタン A

通常デフォルト状態では、P48 ボタンもしくは Trim / LR Trim 切替ボタンに相当します。割り当てられる機能はチャンネルの種類によって決まります。P48 ボタンに相当するとき、ボタンを長押しするとファンタム 48V を On します。Trim / LR Trim 切り替えボタンに相当するとき、ボタンを押すとエンコーダーの機能を Trim / LR Trim に切り替えます。

Define 機能使用時は、Define で定義された各種パラメーター機能の操作を行います。

Channel Setting オペレーション時は、パラメーター選択された機能の操作を行います。

Edit モード時は、EQ 機能の選択を行います。

[2] Select ボタン B

通常デフォルト状態では、Φ ボタンもしくは L on ボタンに相当します。割り当てられる機能はチャンネルの種類によって決まります。Φ ボタンに相当する時、ボタンを押すと Phase Shit 機能Φを On します。L On ボタンに相当するとき、ボタンを押すと L を On します。

Edit モード時は、DYNA 機能の選択を行います。

[3] Select ボタン C

通常デフォルト状態では、R ボタンに相当します。ボタンを押すと R を On します。

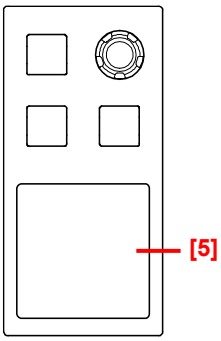
Edit モード時は、BUS 機能の選択を行います。

[4] Select エンコーダー

HA Gain 及び Trim の操作を行います。Mic チャンネルではエンコーダー押下により HA Gain / Trim を切り替えます。また、Select ボタン A が Trim / LR Trim 切り替えボタンとして機能 On するとき、L Trim / R Trim の操作を行います。エンコーダー押下により L Trim / R Trim を切り替えます。

Define 機能使用時は、Define で定義された各種パラメーター機能の操作を行います。

Channel Setting オペレーション時は、パラメーター選択された機能の操作を行います。



[5] LCD

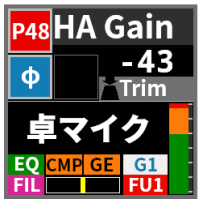
LCD の上半分には、Select ボタンや Select エンコーダーの操作対象となっているパラメーターの名称と設定値を表示します。Fader 操作中は、Fader Level を表示します。

LCD の下半分には、Fader Name やパラメーターの ON/OFF ステータス、オーディオレベルメータを表示します。

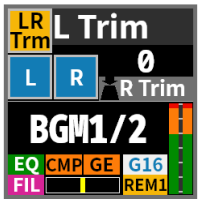
Fader Group が設定されている場合は Group ナンバー、Link Function が設定されている場合は Link Function アイコンが表示されます。

LCD 表示例

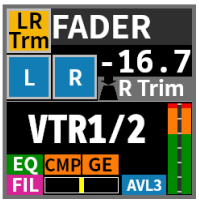
Mic Mono

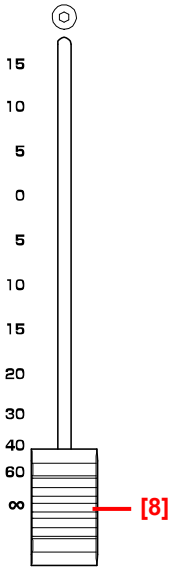


Line Stereo



Fader 操作中





[6] SEL ボタン

通常操作時は、Channel Setting 操作を行うチャンネルの選択に使用します。ボタンを押すと、そのチャンネルの情報やパラメーター設定が Channel Setting 画面に表示され、全パラメーターの操作機能が Master Bay に設定された Fader Unit に展開されます。

特殊な操作モードのときは、その操作の対象となるチャンネルの選択に使用します。

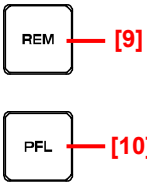
[7] CUT ボタン

チャンネル音声をカットします。

[8] Fader

100mm ストロークのモーターフェーダーです。

チャンネルの主音量を調整します。



[9] REM ボタン

Link Function に FU が割り当てされているチャンネルは FU THR On/Off ボタン、REM が割り当てされているチャンネルは Fader Start/Stop 機能の On/Off ボタン、AVL が割り当てされているチャンネルは AVL 動作の On/Off ボタンとして機能します。

[10] PFL ボタン

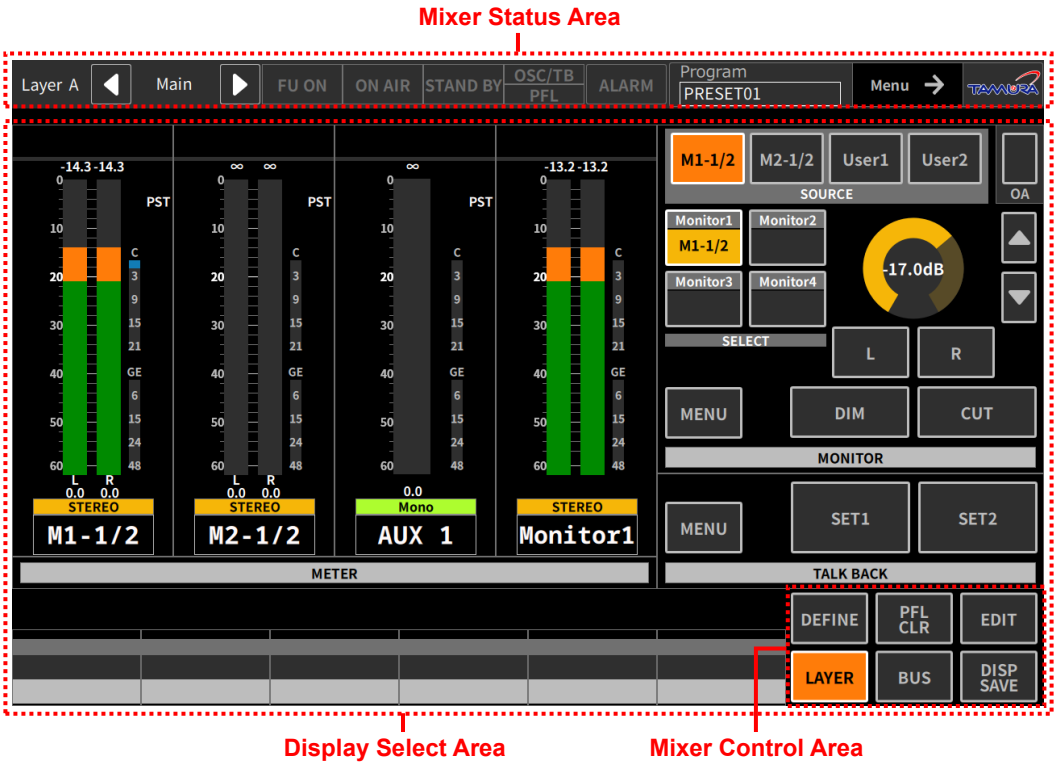
PFL 検聴を行います。

2. Display Select

2-1 画面構成

f100 は Panel PC の表示を各種画面へ切り替えながらオペレーションを行うことにより、コンパクトな操作スペースでありながら多くの情報表示と各種設定操作を可能としています。

Panel PC の画面は、下図の様に 3 つの画面エリアによって構成されています。



Mixer Status Area

Panel PC の画面切り替えによらず常に表示されているエリアです。各種ステータス情報やアラームの発生などを常に表示します。

Display Select Area

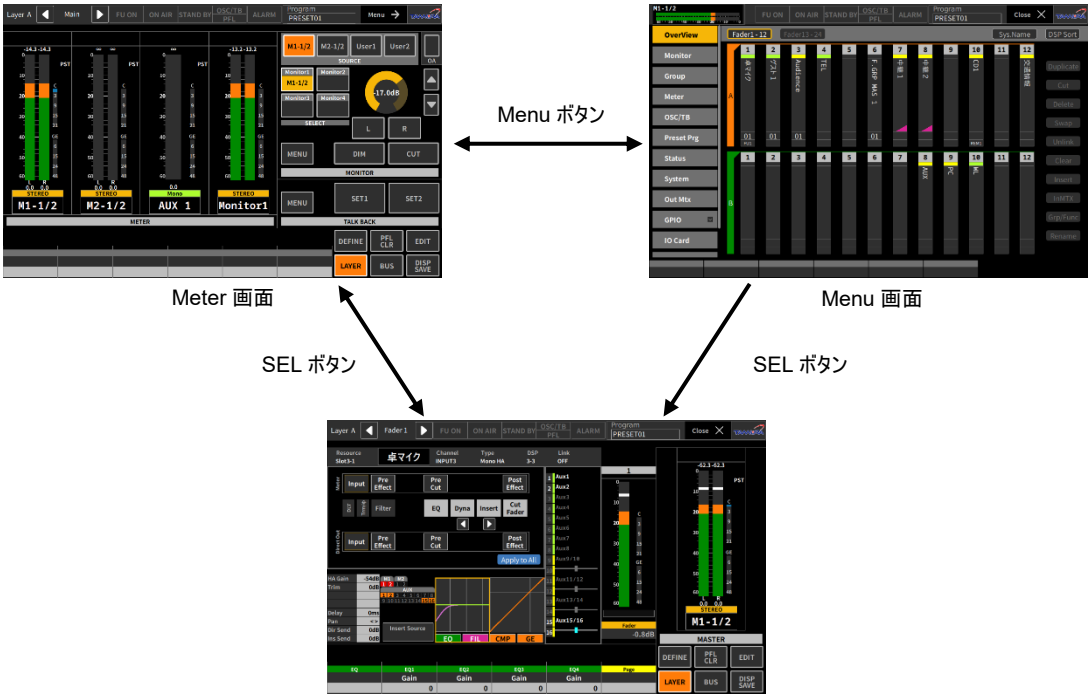
Meter 画面、Menu 画面、Channel Setting 画面を切り替えながら表示します。

Mixer Control Area

ミキサー全体のコントロールを行う操作エリアです。Meter 画面、Channel Setting 画面に常に表示されます。

2-2 Panel PC 画面表示の切り替え

画面切り替えは、画面上の「Menu」ボタン操作、Fader Unit の「SEL」ボタン操作で行います。

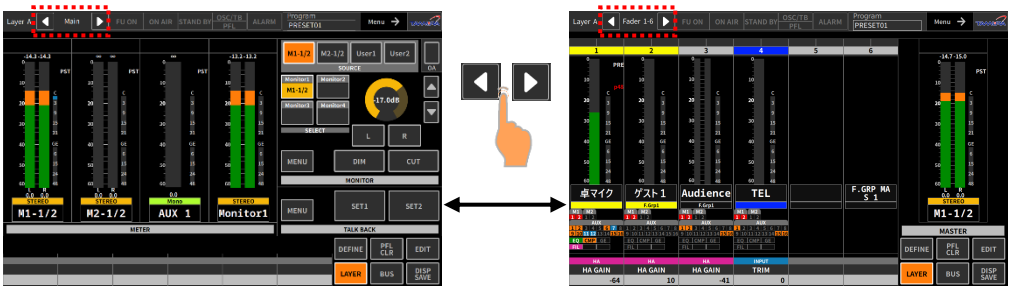


2-2-1 各画面の概要

Meter 画面

Meter 画面は、代表 Bus の情報や Monitor 等の機能を表示する「Main 表示」と、フェーダーチャンネルの情報を表示する「Input 表示」で構成されます。

各表示は、Mixer Status Area のページ送りボタンにて切り替えます。



Channel Setting 画面

選択チャンネルの全パラメーターを表示します。画面のタッチ操作や、Fader Unit のエンコーダーとボタンを使用してパラメーター設定や調整を行います。

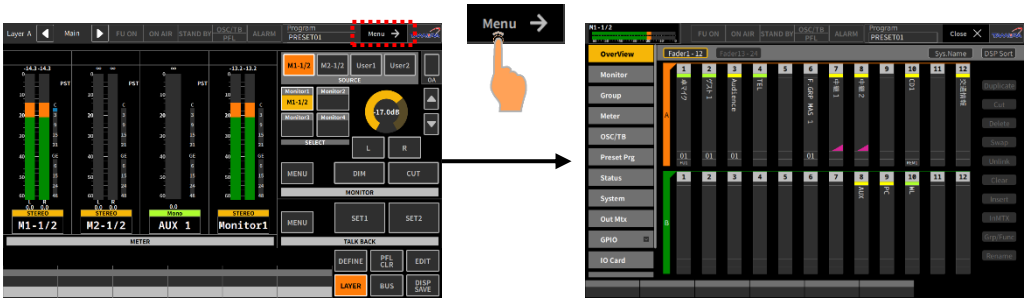
Menu 画面

チャンネルレイアウトなど、ミキサー全体の各種設定や、Preset Program の呼び出し、保守情報の表示などを行います。

2-2-2 画面の切り替え操作

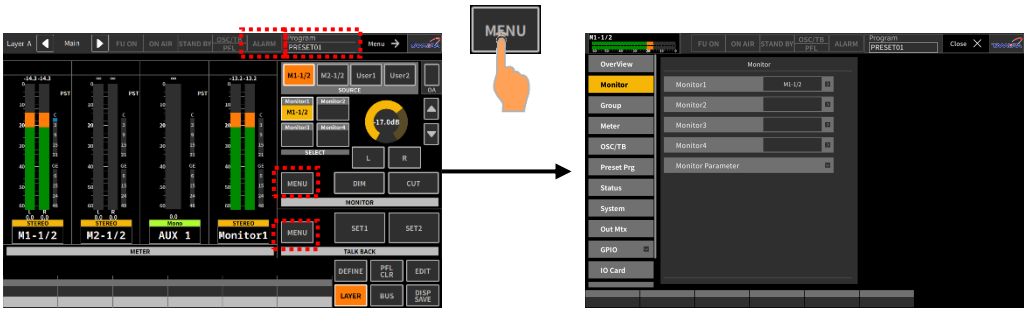
2-2-2-1 Menu 画面への切り替え

Meter 画面表示中、Meter 画面上部にある Menu ボタンを押すと Menu 画面を表示します。



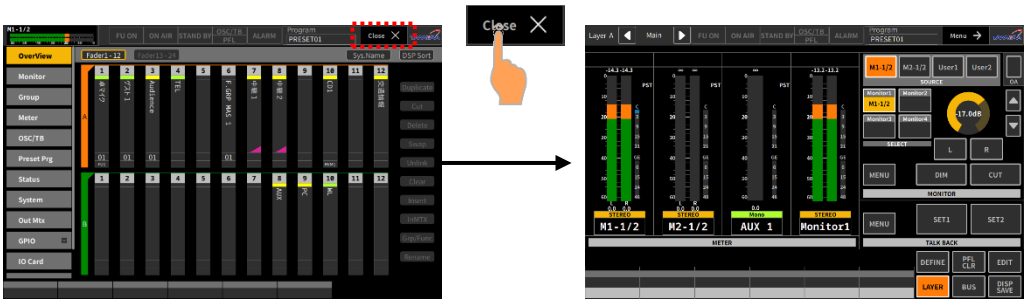
Meter 画面　　Menu 画面

Meter 画面の Main 表示中、Monitor / Talk Back の MENU ボタン、ALARM ボタン、Program ボタンを押すと、それぞれの Menu 画面へダイレクトに移動することができます。



Meter 画面　　Menu 画面

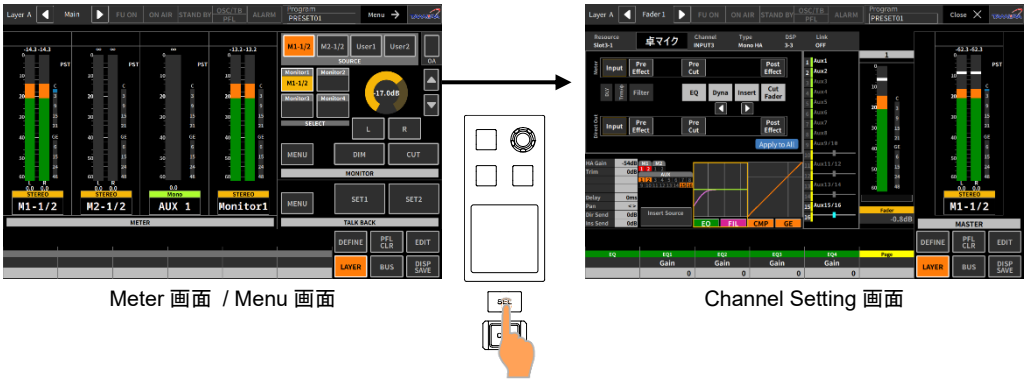
Menu 画面表示中、Menu 画面上部にある Close ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



Menu 画面　　Meter 画面

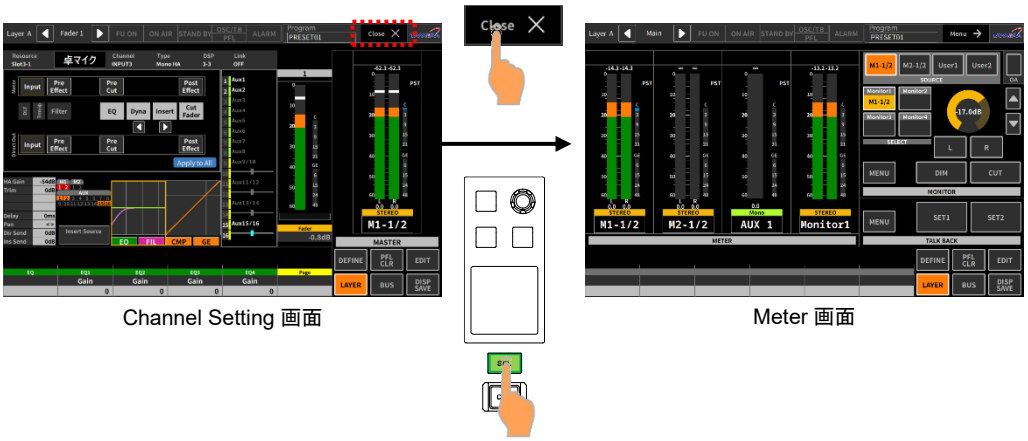
2-2-2-2 Channel Setting 画面への切り替え

Meter 画面もしくは Menu 画面表示中、Fader Unit の SEL ボタンを押すと、SEL ボタンが点灯し Channel Setting 画面を表示します。



Meter 画面 / Menu 画面　　Channel Setting 画面

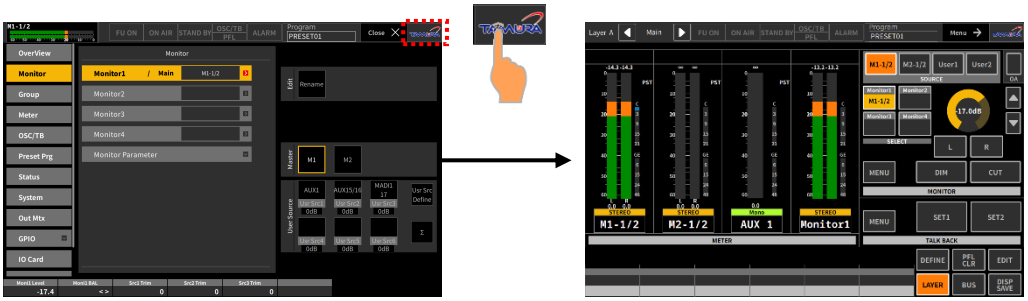
Channel Setting 画面表示中、Channel Setting 画面上部の Close ボタンを押すか、Fader Unit の点灯中の SEL ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



Channel Setting 画面　　Meter 画面

2-2-2-3 Meter 画面（Main 表示）への切り替え

いずれの画面においても、画面上部の Home ボタンを押すと、Meter 画面の Main 表示へダイレクトに移動することができます。



いずれの画面（図は Menu 画面）　　Meter 画面 – Main 表示

3. Channel Control

3-1 チャンネルの作成

チャンネルストリップに、操作対象とする入力音声、出力 Bus、Fader Group マスターのいずれかを指定することでチャンネルが作成されます。

これら指定することができる項目を Source と呼びます。特に、入力音声に相当する Source は Input Source と呼びます。

Source には、チャンネルフォーマット(Mono/Stereo)があらかじめ設定されています。Input Source を指定してチャンネル作成するとき、その設定をもとにフォーマットが自動的に設定されます。従って、それぞれのチャンネルのフォーマットを個別に設定する必要はありません。

> Mono チャンネルを作成する場合は Mono の Source を、Stereo チャンネルを作成する場合は Stereo の Source を選択します。
> Stereo 設定の Aux などの出力 Bus は、L ch のみ/R ch のみといった Mono チャンネルを作成することはできません。出力 Bus チャンネルは、必ず、その Bus フォーマットに応じたチャンネルフォーマットで作成されます。

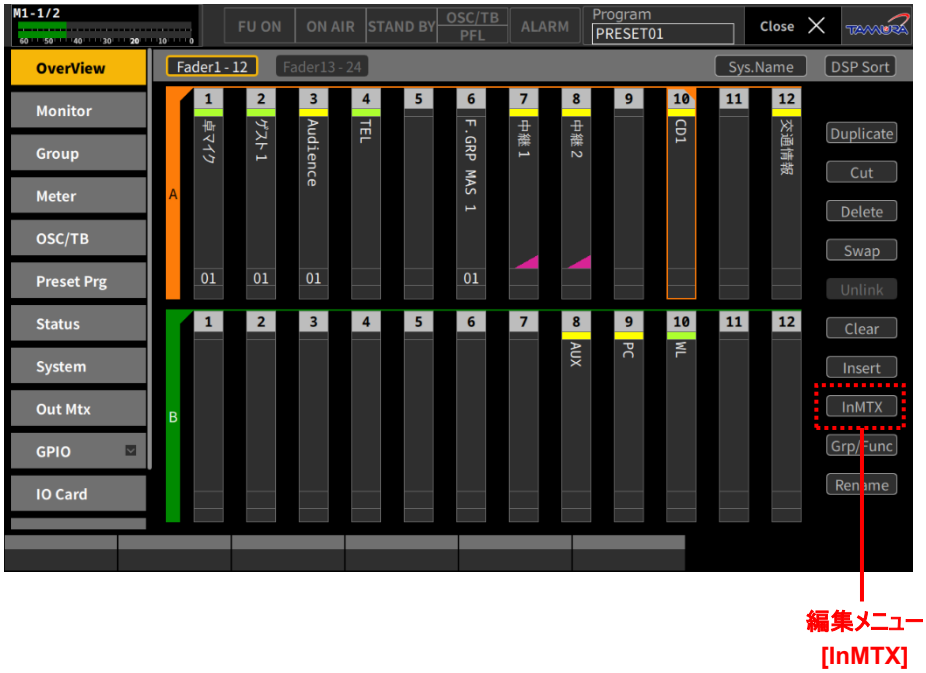
3-1-1 操作方法

Panel PC の Menu 画面で操作します。本操作は即座にミキサーの設定に反映されます。

1 Overview 画面でチャンネルを選択する

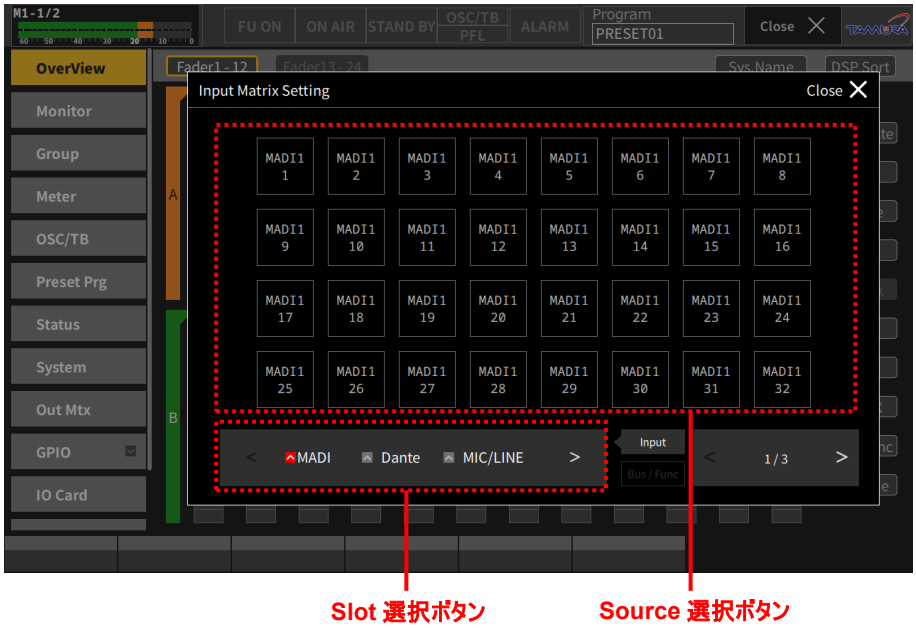
編集メニューが選択可能な状態になります。

タッチした状態でドラッグすると、連続した複数のチャンネルを選択することができます。



2 編集メニューから[InMTX]ボタンを選択する

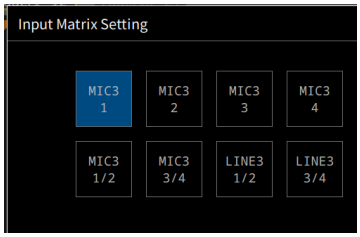
編集メニューの[InMTX]ボタンを押すと、Input Matrix 設定ウィンドウが表示されます。



3 Slot 選択ボタンで表示する Source を切り替え、Source 選択ボタンを押す

Slot 選択ボタンで、表示する Source を切り替えます。

Source 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、チャンネルが作成されます。



Source 選択ボタン押下

Overview 画面で複数の連続したチャンネルを選択することで、複数の連続した Source のチャンネルを一度に作成することができます。

3-2 チャンネルレイアウト機能

Overview 画面には様々なチャンネルレイアウト機能を用意しています。
これらの機能を使用して、自由にチャンネル配置を編集することができます。

3-2-1 Clear

3-2-1-1 動作

選択したチャンネルを Blank チャンネル（Source 未割当状態）にします。

選択チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8	Mic9	Mic10

Clear 実行前

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Blank	Blank	Blank	Blank	Mic8	Mic9	Mic10

Clear 実行後

3-2-1-2 操作

チャンネルを選択して[Clear]ボタンを押す。

3-2-2 Delete

3-2-2-1 動作

選択したチャンネルを削除し、それより右にあるチャンネルを、削除したチャンネル分左に移動させます。

選択チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8	Mic9	Mic10

Delete 実行前

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic8	Mic9	Mic10	Blank	Blank	Blank	Blank

Delete 実行後

3-2-2-1 操作

チャンネルを選択して [Delete] ボタンを押す。

3-2-3 Cut

3-2-3-1 動作

選択したチャンネルを指定したチャンネルに移動します。
Cut 操作実行後、Paste か Insert を実行するまで操作は完了しません。
Paste を実行すると、移動先チャンネルを、Cut 元チャンネルで置き換えます。
Insert を実行すると、移動先チャンネルに、Cut チャンネルが挿入されます。
Cut 元のチャンネルは Blank になります。

選択チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8	Blank	Blank

Cut 実行前

Paste 先チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Blank	Blank	Mic4	Mic5	Mic2	Mic3	Mic8	Blank	Blank

Cut + Paste 実行後

選択チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8	Blank	Blank

Cut 実行前

Insert 先チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Blank	Blank	Mic4	Mic5	Mic2	Mic3	Mic6	Mic7	Mic8

Cut + Insert 実行後

3-2-3-2 操作

1 Overview 画面でチャンネルを選択する

操作対象チャンネルが、操作元チャンネル表示になります。

2 編集メニューから [Cut] ボタンを選択する

[Cut] ボタンを選択すると、[Cut] ボタンは点灯状態となり、それ以外の編集メニューボタンが使用不可能な状態となります。

3 移動先チャンネルを選択する

移動先チャンネルを選択すると、移動先表示となります。また、編集メニューのうち、[Paste] ボタンと [Insert] ボタンが選択可能な状態となります。

4 編集メニューから [Paste] / [Insert] を選択する

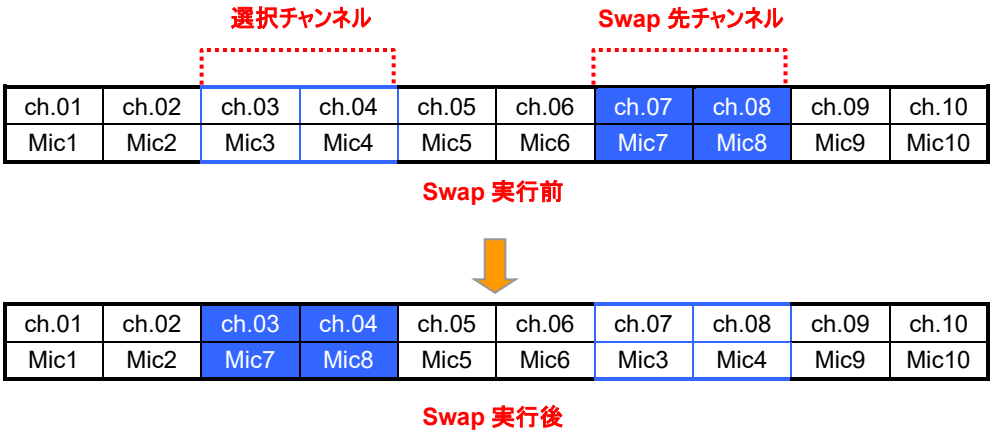
[Paste] を選択した場合は、Cut 元チャンネルで置き換え、[Insert] を選択した場合は、Cut 元チャンネルを挿入します。

[Cut] ボタンを押した後で、Cut 操作をキャンセルする場合は、[Cut] ボタンを再度選択してください。

3-2-4 Swap

3-2-4-1 動作

選択したチャンネルを、指定したチャンネルと入れ替えます。



3-2-4-2 操作

1 チャンネルを選択して、編集メニューから、 [Swap] を選択する

操作対象チャンネルが、操作元チャンネル表示になります。

2 Swap 先チャンネルを選択する

Swap 先チャンネルと[1]で選択したチャンネルが入れ替わります。

3-2-5 Duplicate

3-2-5-1 動作

選択したチャンネルを複製します。
Duplicate 操作実行後、Paste か Insert を実行するまで操作は完了しません。
Paste を実行すると、Paste 先チャンネルを、複製されたチャンネルで置き換えます。
Insert を実行すると、Insert 先チャンネルに、複製されたチャンネルが挿入されます。

Duplicate 操作により、複製されたチャンネルと、その元になったチャンネルを Link チャンネルと呼びます。
Link チャンネルは、同じ DSP に対して操作を行う為、行った操作は全て Link チャンネル間で連動します。

3-2-5-2 操作

1 チャンネルを選択して、編集メニューから、 [Duplicate] を選択する

操作対象チャンネルが、操作元チャンネル表示になります。

2 上書き/挿入先チャンネルを選択する

上書き/挿入先チャンネルが、移動先チャンネル表示になります。また、編集メニューの [Paste] ボタンと [Insert] ボタンが有効になります。

3 編集メニューから、上書きの場合は [Paste]、挿入の場合は [Insert] を選択する

Link チャンネルに上書き、もしくは挿入されます。

3-2-6 Unlink

3-2-6-1 動作

選択した Link チャンネルに、新たに DSP リソースを割り当て、Link 状態を解除します。
Link チャンネルに対してのみ実行できます。

3-2-6-2 操作

チャンネルを選択して [Unlink] ボタンを押す。

3-2-7 Insert Blank

3-2-7-1 動作

選択したチャンネルに選択したチャンネル分の Blank チャンネルを挿入します。

選択チャンネル

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8	Blank	Blank

Insert Blank 実行前

ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08	ch.09	ch.10
Mic1	Mic2	Blank	Blank	Mic3	Mic4	Mic5	Mic6	Mic7	Mic8

Insert Blank 実行後

3-2-7-2 操作

チャンネルを選択して [Insert] ボタンを押す。

Insert 操作（Cut & Insert、Duplicate & Insert、Insert Blank）を行うには、チャンネルレイアウトの最後尾に選択チャンネル分の Blank チャンネルが必要です。

3-3 チャンネル名称 (Fader Name) の設定

各々のチャンネルに個別の名称を設定することができます。

このチャンネル個別に設定する名称を Fader Name と呼びます。Fader Name は、半角 16 文字/全角 8 文字の範囲で設定することができます。

チャンネルに対して付す名称の為、同じ Source を割り当てたチャンネルであっても、それぞれ異なる名称にすることができます。

設定した Fader Name は、Meter 画面や Fader Unit の LCD に表示されます。

Fader Name が設定されていない場合、Meter 画面などの名称表示領域には、Source の名称が表示されます。Source の名称は初期設定の名称で、これを System Name と呼びます。System Name は変更することができません。また、全ての Program File で共通で使用されます。

3-3-1 操作方法

Overview 画面でチャンネルを選択し、編集メニューから [Rename] を選択すると、キーボードが表示されます。キーボードで文字列を入力し、エンターキーを押すと、入力した文字列が Fader Name として設定されます。

3-4 チャンネルパラメーター操作

Fader/Cut/REM/PFL パラメーターは Fader Unit 各チャンネルの操作部にて操作します。
HA Gain//Trim/パラメーターは Fader Unit 各チャンネルの Select エンコーダー、Select ボタンを使い操作します。
その他パラメーターは各チャンネルに配置された Sel ボタン押下により Channel Setting 画面を呼び出し Select エンコーダーと Select ボタンを使い操作します。

3-4-1 Fader/Cut/REM/PFL 操作

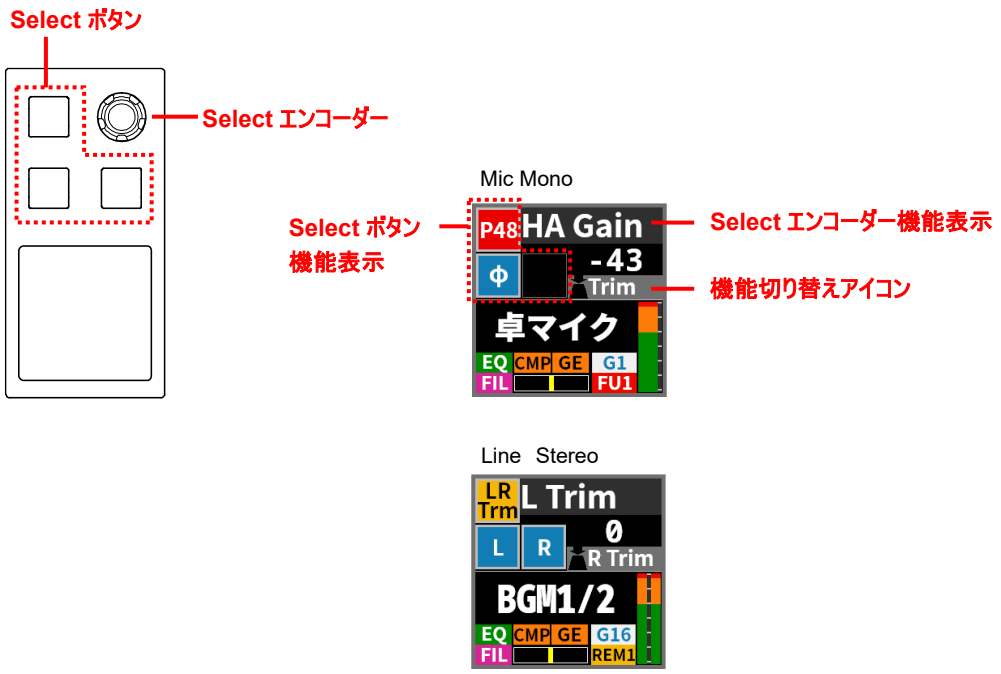
Fader Unit 各チャンネルに専用の操作部があります。
REM ボタンは、フェーダーへ Link Function が設定されている場合に使用できます。

3-4-2 HA Gain/Trim 操作

HA Gain と Trim の操作は、Select エンコーダー、Select ボタンで行います。
Mic チャンネルの場合、HA Gain と Trim の両方の操作をこのエンコーダーで行い、エンコーダー押下で HA Gain と Trim を切り替えます。ファンタム 48V を印加する場合は P48 ボタンを長押しします。
Line チャンネルの場合、Trim のみ操作でき、HA Gain と P48 は表示されません。
チャンネルが Stereo チャンネルのとき、LR Trim ボタンを ON にすることで、L Trim、R Trim をそれぞれ個別に設定することができます。このとき、Select エンコーダー押下で L Trim、R Trim を切り替えます。

3-4-3 Φ、L/R 操作

Mono チャンネルのときは Φ、Stereo チャンネルのときは L mono、R mono 操作が Select ボタンで行えます。



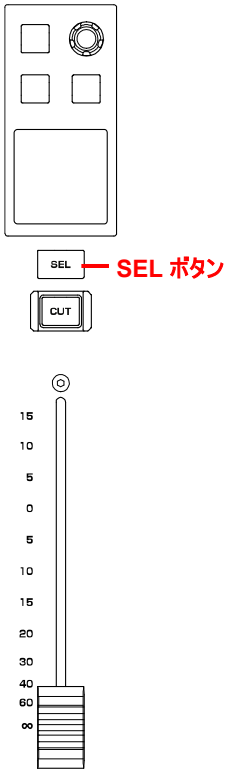
3-4-4 Channel Setting オペレーション

3-4-4-1 基本操作

パラメーターを操作するチャンネルの [SEL] ボタン押すと、Panel PC に Channel Setting 画面の Top ページが表示されます。

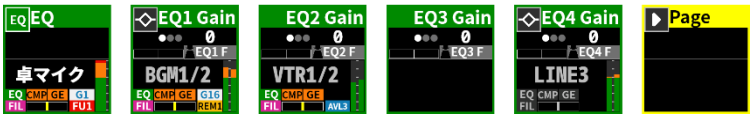
同時に、Master Bay に設定された Fader unit にパラメーター操作機能が呼び出されます。

Channel Setting 画面の各パラメーター設定領域をタッチし、Master Bay に設定された Fader unit の Select エンコーダー、Select ボタンにてパラメーターの設定を行います。



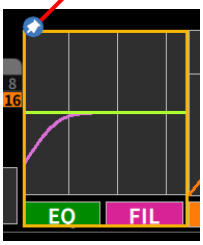
Channel Setting 画面

Master Bay LCD 表示



1 つの設定エリアを一定時間押下し続けると、その設定パラメーターが選択された状態が、Channel Setting 画面の Top ページになります。このとき、そのエリアの左上に、Top ページ指定アイコンが表示されます。

Top ページ指定アイコン

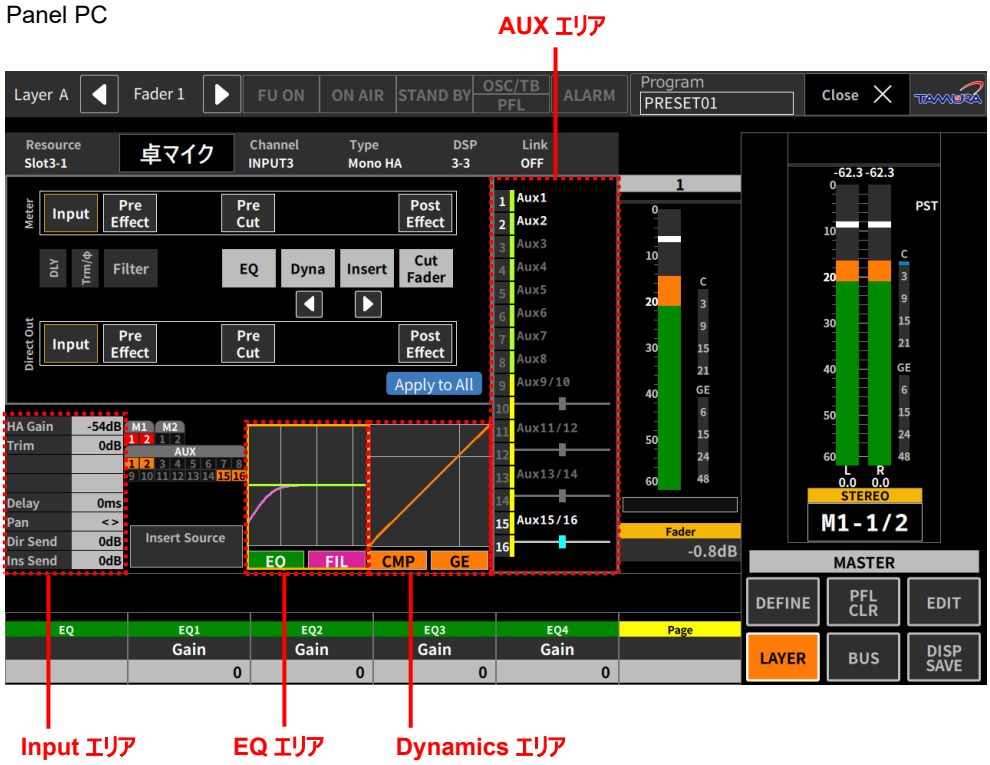


Top ページは、[SEL] ボタンを押したときに、最初に Panel PC に表示されます。複数のチャンネルで、連続して同じパラメーターを操作したい場合に、そのパラメーターの画面を Top ページに指定しておきます。
Top ページに指定されているエリアを一定時間押下し続けると、Top ページ指定が解除されます。

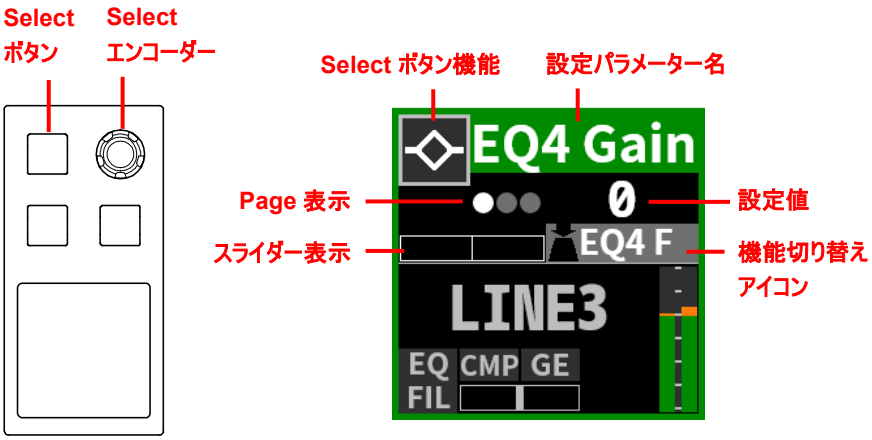
3-4-4-2 エンコーダー操作を伴うパラメーター

EQ、Dynamics、AUX、Input は、各設定エリアをタッチすると、Master Bay に機能が呼び出され、エンコーダー操作、ボタン操作によってパラメーター設定を行います。

Panel PC



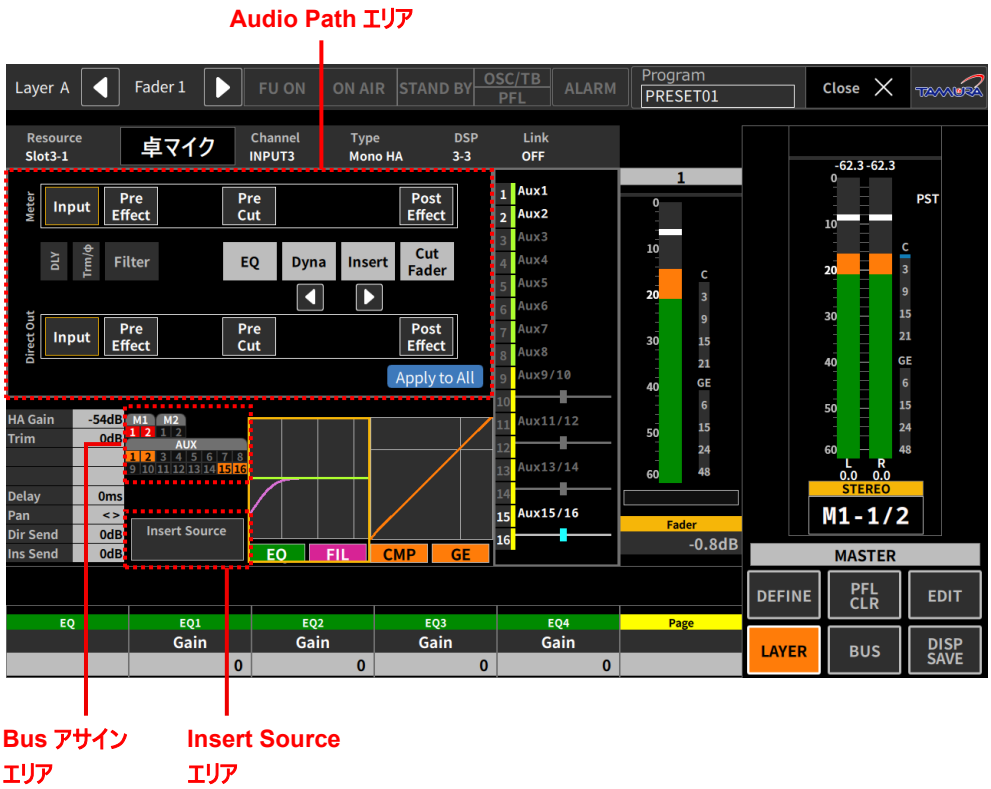
Fader Unit (Master Bay)



LCD の上側半分に機能が呼び出されます。
画面表示に対応したボタン、エンコーダーを操作して設定を行います。

3-4-4-3 設定ウィンドウで操作するパラメーター

Bus アサイン、Audio Path 設定、Insert Source 選択は専用の設定ウィンドウが表示され、設定ウィンドウで操作を行います。



3-5 音声処理の順序（Audio Path 設定）

3-5-1 Overview

チャンネルに音声を入力して Bus などに出力するまでの音声の流れを、Audio Path と呼んでいます。

この Audio Path 上には、EQ や Dynamics などの音声処理機能（Effect）が配置されており、音声処理はその順序に従って実行されます。また、メーターや、チャンネルの Direct Out には、この Audio Path 上の何れかのポイントの音声が送られています。

これらの Effect の順序や、メーターなどへの音声取得ポイントの位置は、チャンネルごとに個別に変更することができます。

順序を変更できる Effect は、[EQ]、[Dynamics]、[Insert Send / Return]、[Cut / Fader]、[OSC/TB]です。

変更可能な順序は以下のパターンです。

Input channel

①. [EQ] [Dyna] [Ins] [Cut/Fdr] ※初期値
②. [Dyna] [EQ] [Ins] [Cut/Fdr]
③. [EQ] [Ins] [Cut/Fdr] [Dyna]
④. [Ins] [EQ] [Dyna] [Cut/Fdr]

Aux channel、Master channel

①. [EQ] [Dyna] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr] ※初期値
②. [Dyna] [EQ] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr]
③. [EQ] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr] [Dyna]
④. [Ins] [EQ] [Dyna] [OSC/TB] [Cut/Fdr]

メーター、Direct out で設定可能な音声取得ポイントは下表の通りです。

取得ポイント	説明	メーター		Direct Out	
		Input	Bus ch	Input	Aux
Input	Trim の直前の音声を取得します	* Default	*	* Default	
Pre Effect	Trim の直後、Effect の直前の音声を取得します	*	*	*	
Pre Cut	Effect[Cut+Fader]の直前の音声を取得します。 [Cut+Fader]の設定位置に応じて取得ポイントも変更されます。	*	*	*	
Post Effect	全ての Effect の後の音声を取得します。(メイン Pan 前の音声)	*	* Default	*	Default

*： 設定可能

チャンネルを作成した時点の Audio Path 設定（Default Path 設定）は上表の Default になります。Bus ch は Bus Format 変更により Default に初期化されます。

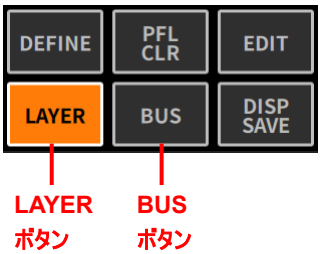
3-5-2 Audio path 設定の変更

Channel Setting 画面の Audio Path エリアで変更します。詳細は「6-3 Audio Path エリア」を参照してください。

3-6 Layer

f100 のフェーダーは、Layer A と Layer B の 2 つの Layer から構成され、Fader 数の 2 倍のチャンネル数を取り扱うことができます。

Layer 操作は Mixer Control Area の LAYER ボタン、BUS ボタンにて行います。



3-6-1 Layer の切り替え

Panel PC の Mixer Control Area にある LAYER ボタンを押すことで、Layer を切り替えます。
全 Fader の Layer が一斉に切り替わり、LAYER ボタンの色が変わります。
LAYER ボタンが橙のときは Layer A を表示、LAYER ボタンが緑のときは Layer B を表示しています。

: Layer A

: Layer B

3-6-2 BUS Fader 表示

Panel PC の Mixer Control Area にある BUS ボタンを押すことで、Master Bay に設定された Fader unit は Bus フェーダー表示に切り替わります。

BUS ボタンを押すたびに、Master→AUX→（AUX 複数ページ送り）→Input と切り替わります。
BUS ボタンが赤のときは Master、桃のときは AUX、グレーのときは Input を表示しています。

: Master

: Aux

: Input

3-7 チャンネルパラメーターの編集

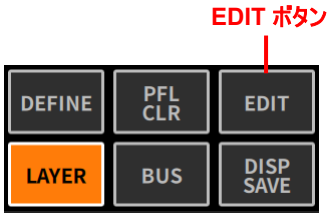
Edit モードを使用してチャンネルパラメーターの編集を行います。

3-7-1 パラメーター設定の Clear

パラメーターの設定を初期化します。本操作により「Filter/EQ」「Dynamics」「Bus Assign」パラメーターを初期化することが可能です。

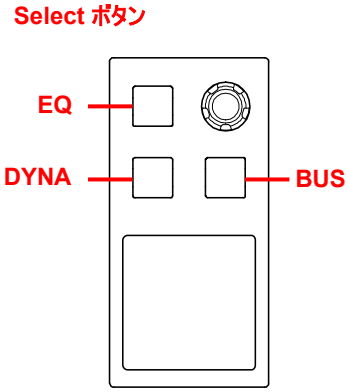
1 Panel PC の Mixer Control Area にある EDIT ボタンを選択する

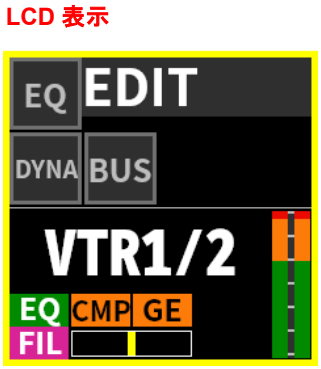
Panel PC の EDIT ボタンが点滅表示し、画面中央に Edit モード中であることを示すポップアップウィンドウが表示されます。



2 Fader Unit に表示されている初期化したいチャンネルの対象ボタンを長押しする

Edit モード中、Fader Unit の各チャンネルの Select ボタンは下図の機能になります。
初期化したいチャンネルの対象ボタンを長押しすると、パラメーターが初期化されます。





Layer の切り替え、Bus Fader への切り替え操作を行うには、ポップアップウィンドウを閉じる必要があります。ポップアップウィンドウ内の Close ボタンを押して閉じてください。

3 Mixer Control Area の EDIT ボタンを押す

ポップアップウィンドウを閉じてから、点滅中の EDIT ボタンを押すと、Edit モードが終了します。

3-7-2 パラメーター設定の Copy

1 つのチャンネルのパラメーター設定を、他のチャンネルに Copy します。
Copy 先チャンネルは複数指定することができます。
本操作により「Filter/EQ」「Dynamics」「Bus Assign」パラメーターを Copy することが可能です。

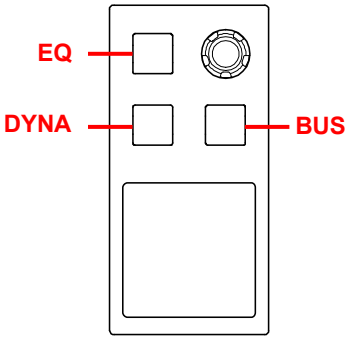
1 Panel PC の Mixer Control Area にある EDIT ボタンを選択する

Panel PC の EDIT ボタンが点滅表示し、画面中央に Edit モード中であることを示すポップアップウィンドウが表示されます。

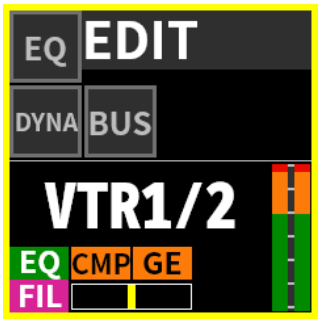
2 Fader Unit にて Copy 元チャンネルの対象ボタンを押する

対象ボタンおよびボタンに対応したアイコンが ON 表示します。

Select ボタン



LCD 表示



Layer の切り替え、Bus Fader への切り替え操作を行うには、ポップアップウィンドウを閉じてから操作してください。

3 Fader Unit にて、Copy 先チャンネルの対象ボタンを押す

Copy 元チャンネルのパラメーターが Copy 先チャンネルにコピーされます。
連続して他チャンネルの対象ボタンを押すことで、連続して他チャンネルに Copy することが出来ます。

4 Mixer Control Area の EDIT ボタンを押す

ポップアップウィンドウを閉じてから、点滅中の EDIT ボタンを押すと、Edit モードが終了します。

対象ボタンにより 初期化/Copy されるパラメーター範囲は下表の通りです。

対象ボタン	初期化範囲
EQ	EQ 設定、FIL 設定
DYNA	CMP 設定、GE 設定
BUS	M1/M2/Aux Bus Assign 設定、Aux Send (Pre/Post, Level, Pan)設定

3-7-3 Fader Level の基準レベル設定

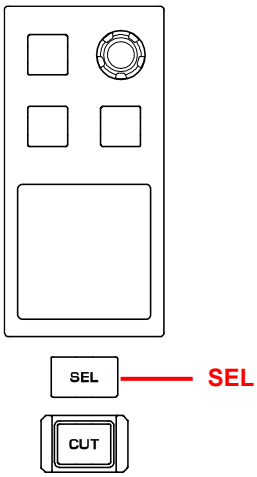
Fader Level を 0dB に設定します。

1 Panel PC の Mixer Control Area にある EDIT ボタンを選択する

Panel PC の EDIT ボタンが点滅表示し、画面中央に Edit モード中であることを示すポップアップウィンドウが表示されます。

2 Fader Unit の SEL ボタンを押す

SEL ボタンを押下したチャンネルの Fader Level が 0dB に設定されます。



Layer の切り替え、Bus Fader への切り替え操作を行うには、Panel PC のポップアップウィンドウを閉じてから操作してください。

3 Mixer Control Area の EDIT ボタンを押す

ポップアップウィンドウを閉じてから、点滅中の EDIT ボタンを押すと、Edit モードが終了します。

3-8 チャンネルのグルーピング

3-8-1 Fader Group タイプの設定

複数の Fader を、1 つの Fader 操作に連動させます。

16 の Fader Group が利用可能で、それぞれ、通常の Fader Group 動作か、Cut Group 動作か選択することができます。

Cut Group 動作の場合、同じ Group 内の、どのチャンネルの Cut ボタンを操作しても、Group 内の全てのチャンネルの Cut ボタンが連動します。

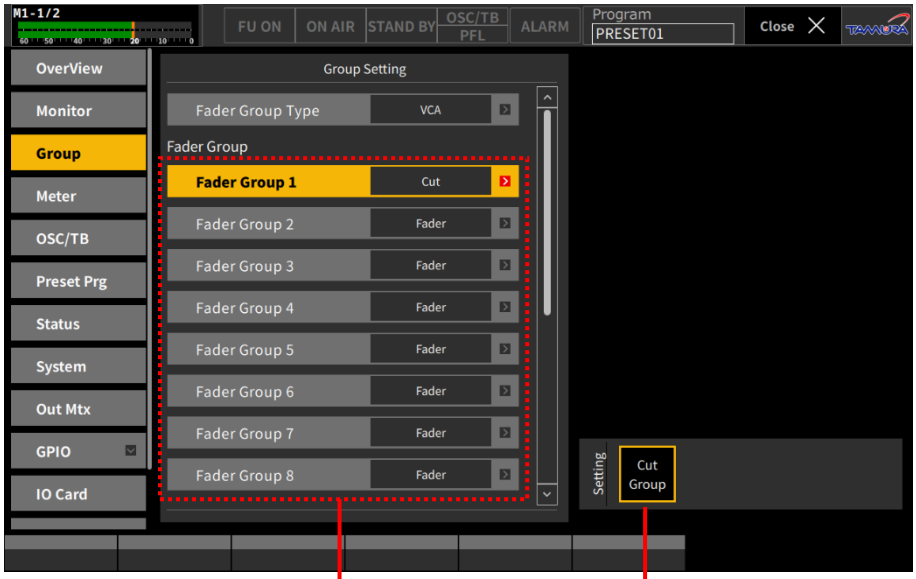
3-8-1-1 Cut Group への切り替え

1 Panel PC の Menu から [Group] を選択する

Group メニュー画面が表示されます。

2 Fader Group 番号選択ボタンを押し、[Cut Group] ボタンを選択する

[Cut Group] ボタンが選択状態のとき、その Fader Group 番号に設定されたチャンネルは Cut Group 動作になります。



Fader Group 番号選択ボタン　　[Cut Group]ボタン

3-8-1-2 Fader Group の動作タイプの選択

Master Fader の操作に対して、Slave Fader が動く Moving タイプと、動かない VCA タイプのいずれかを選択します。

Moving タイプは、Slave Fader の位置が、実際の Fader Level と一致している為、直感的に各チャンネルの Fader Level を把握することができます。ただし、Master Fader を絞りきりにした場合、Slave Fader も絞りきりになるため、この状態で各 Slave Fader のレベル設定を変更することはできません。

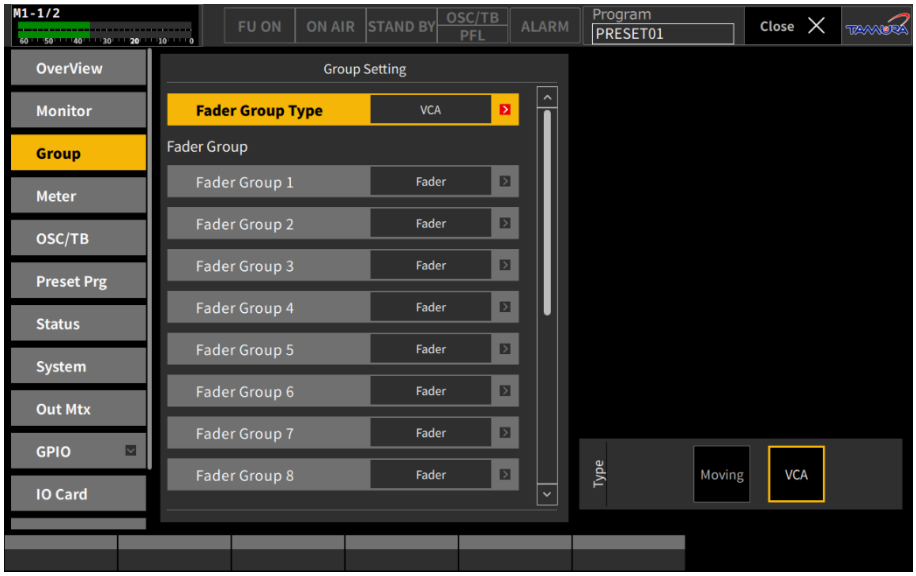
VCA タイプでは、Slave Fader の位置は Master Fader に対するオフセットレベルを表しています。Master Fader を絞りきりにしても、Slave Fader の位置は動かない為、Master Fader が絞りきりの状態でも、Slave Fader のバランスを変更できます。

1 Panel PC の Menu から [Group] を選択する

Group メニュー画面が表示されます。

2 [Fader Group Type] ボタンを押し、動作タイプを選択する

設定されているタイプのボタンが点灯状態になります。

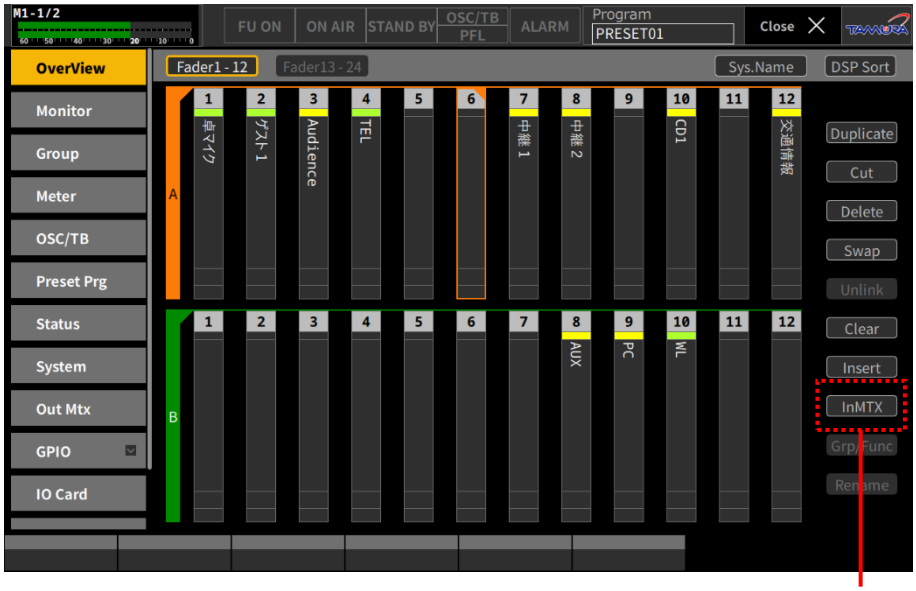


3-8-2 Fader Group Master チャンネルの設定

Fader Group Master チャンネルを設定します。

1 Panel PC の Overview 画面で、Fader Group Master を作成するチャンネルを選択する

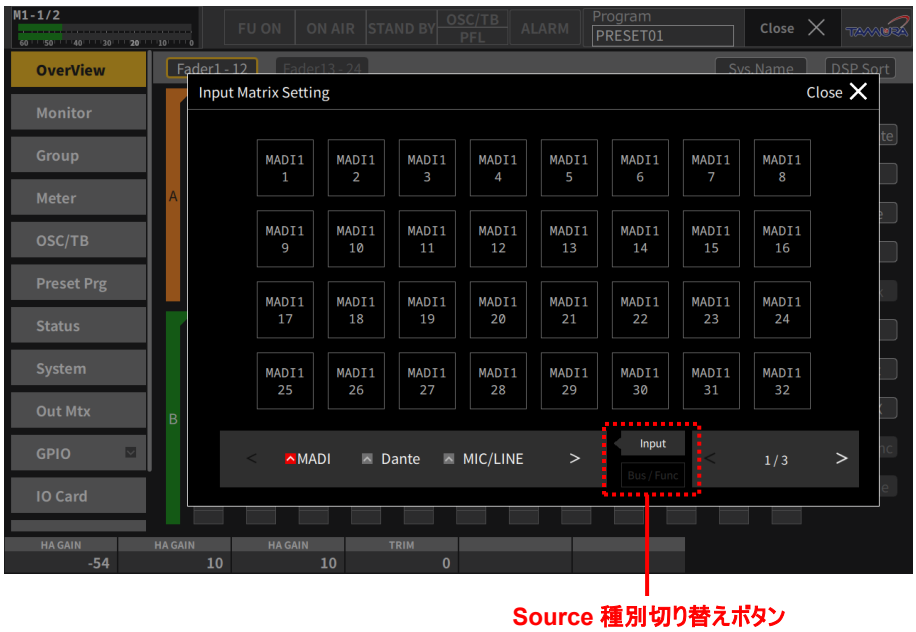
編集メニューが選択可能な状態になります。



編集メニュー
[InMTX]ボタン

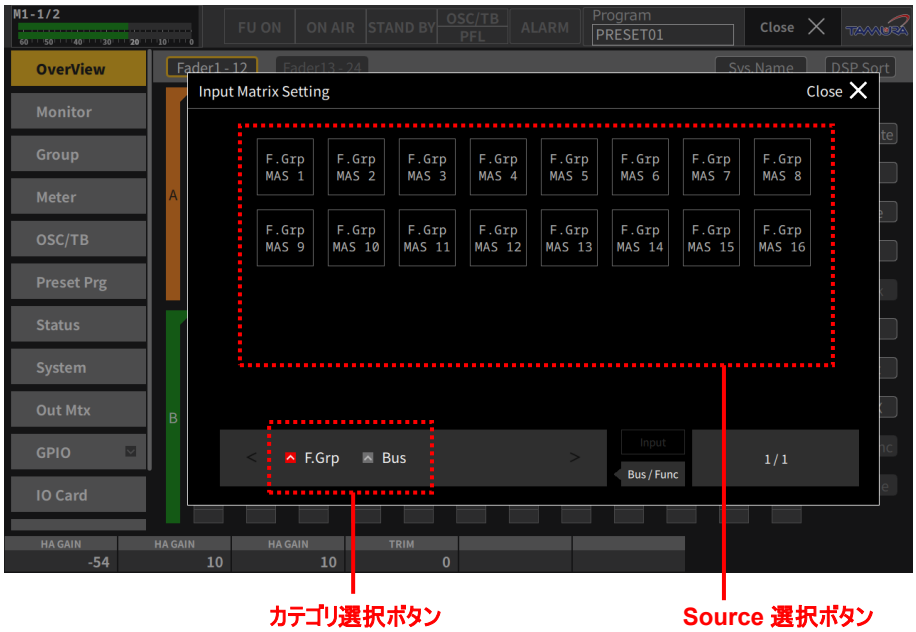
2　編集メニューから [InMTX] ボタンを選択する

Input Matrix 設定ウィンドウが開きます。



3　Source 種別切り替えボタンを押し、[Bus/Func] を表示させる

Fader Group Master や Bus Master が表示されます。



4　カテゴリ選択ボタンで [F.Grp] を選択し、Source 選択ボタンで [F.Grp Mas 1] を選択する

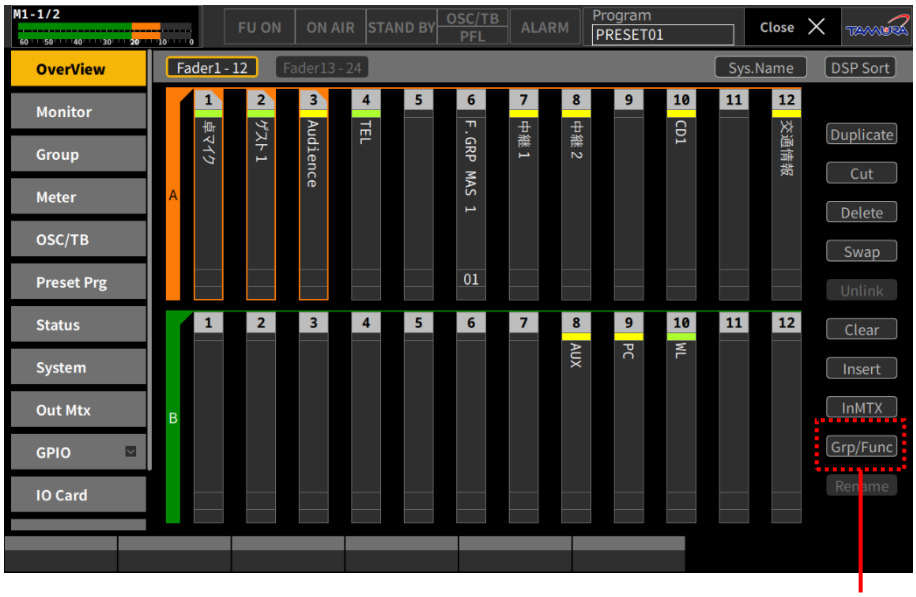
[1]で選択したチャンネルに、Fader Group1 Master チャンネルが作成されます。

3-8-3 Fader Group Slave チャンネルの設定

Fader Group の Slave チャンネルを設定します。

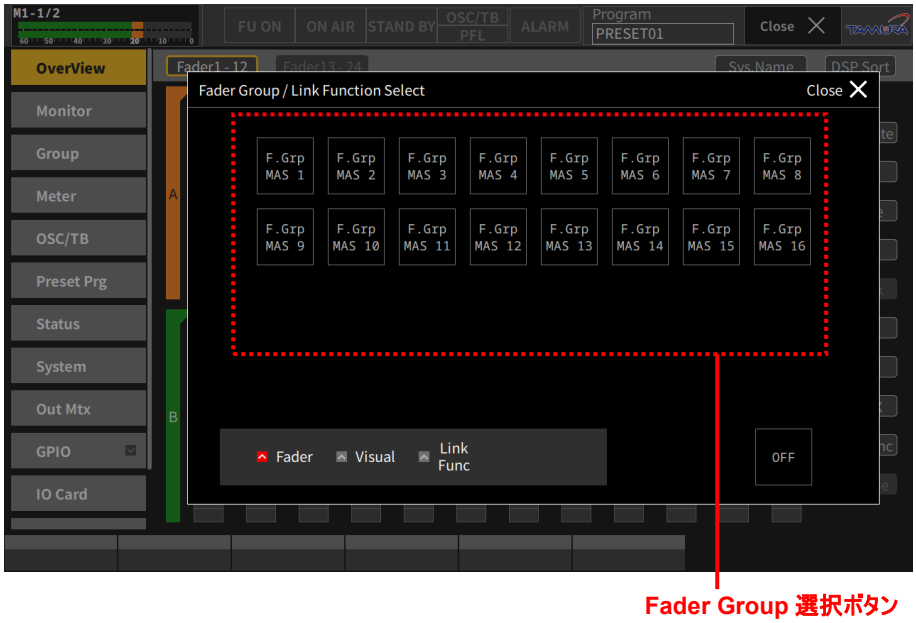
1 Overview 画面で Slave チャンネルにするチャンネルを選択する

タッチした状態でドラッグすると、連続した複数のチャンネルを選択することができます。



2 編集メニューから [Grp/Func] ボタンを選択する

Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。



3 Fader Group 選択ボタンで、Fader Group 番号を選択する

Fader Group 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルが Slave チャンネルに設定されます。

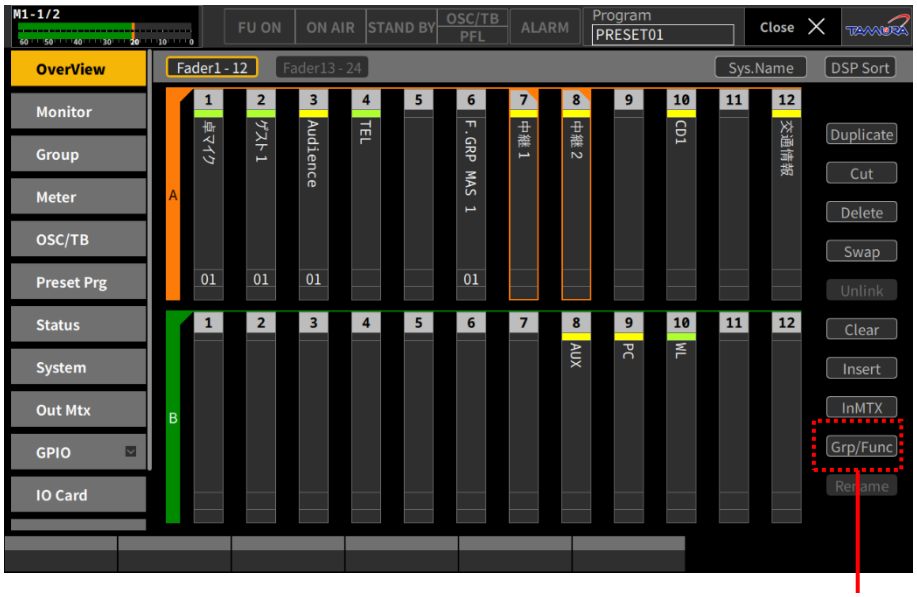
Off を選択すると、Fader Group は解除されます。

3-8-4 Visual Group の設定

Meter 画面にてチャンネルを指定色表示させ、視覚的なグルーピングを行います。

1 Overview 画面でグルーピングするチャンネルを選択する

タッチした状態でドラッグすると、連続した複数のチャンネルを選択することができます。

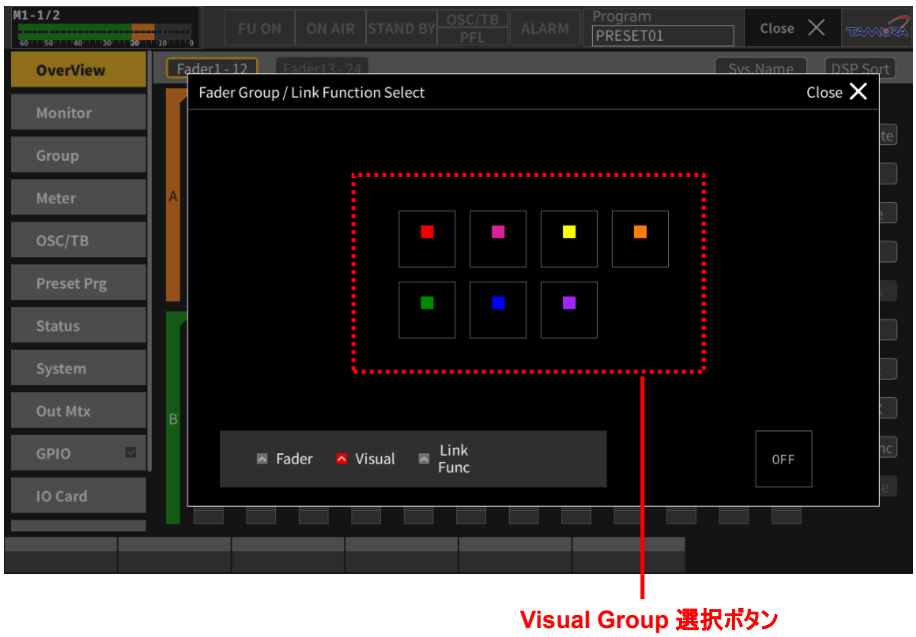


2 編集メニューから [Grp/Func] ボタンを選択する

Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。

3 [Visual] ボタンを選択する

Visual Group 選択ボタンが表示されます。



4 Visual Group 選択ボタンで、点灯色を選択する

Visual Group 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルに選択した色が反映されます。

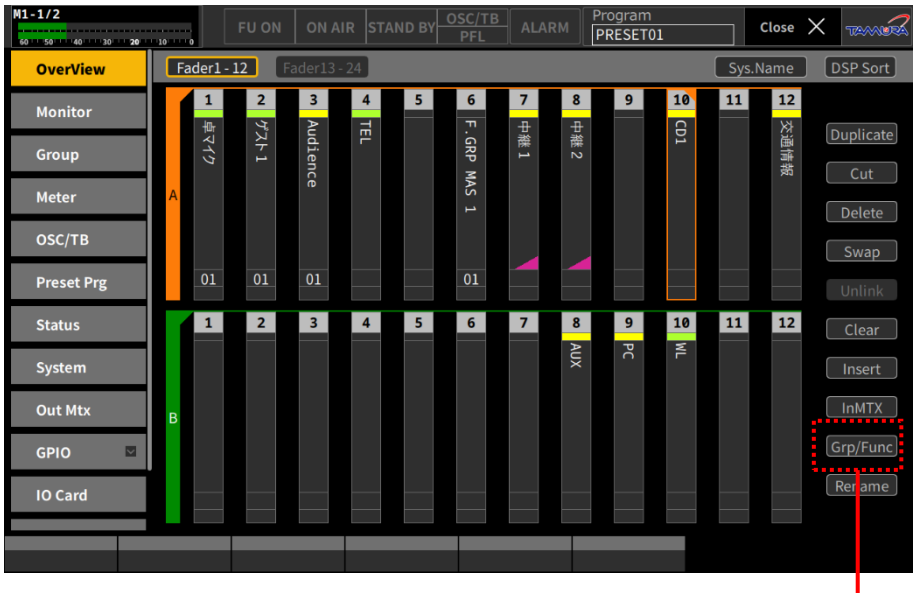
OFF を選択すると Visual Group は解除されます。

3-8-5 Link Function の設定

Input チャンネルへ Link Function を割り当てます。

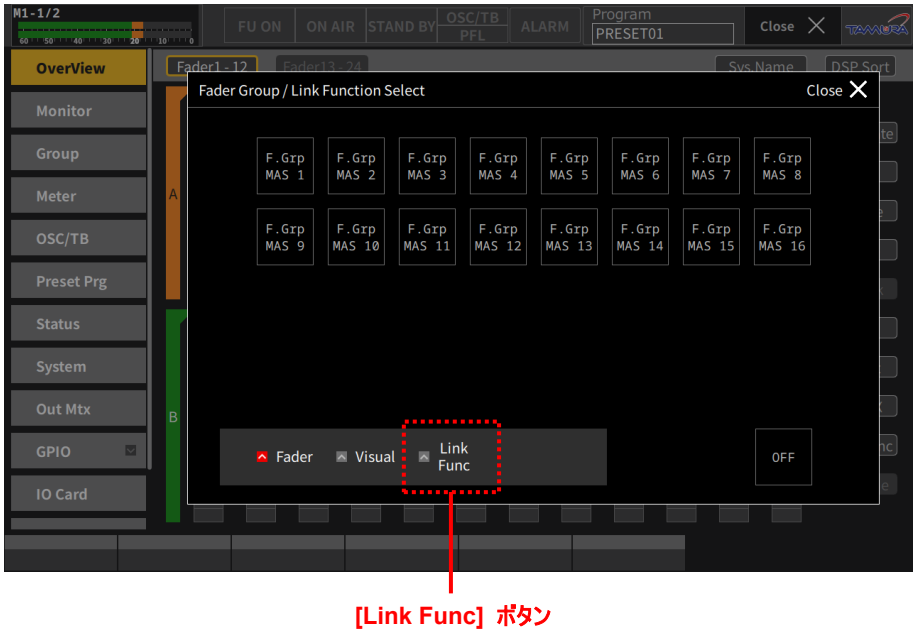
1 Overview 画面で Link Function を割り当てるチャンネルを選択する

タッチした状態でドラッグすると、連続した複数のチャンネルを選択することができます。



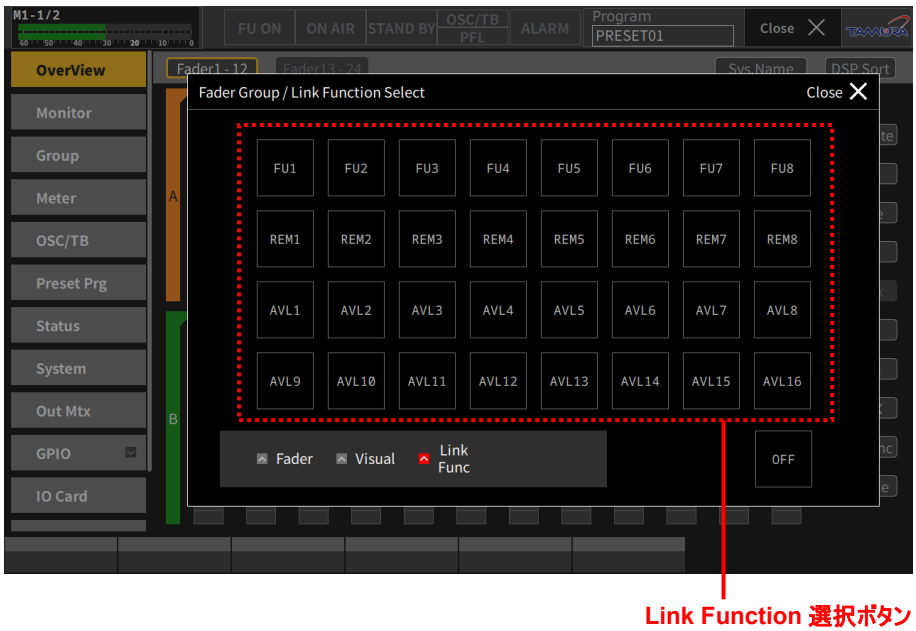
2 編集メニューから [Grp/Func] ボタンを選択する

Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。



3 [Link Func] ボタンを選択する

Link Function 選択ボタンが表示されます。



4 Link Function 選択ボタンで、機能を選択する

Link Function 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルに Link Function が設定されます。

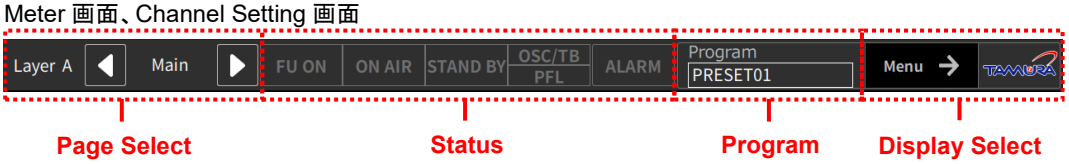
OFF を選択すると Link Function は解除されます。

4. Mixer Status 画面

4-1 Overview

Mixer Status は Panel PC の画面切り替えによらず常に表示されているエリアです。各種ステータス情報やアラームの発生などを常に表示します。

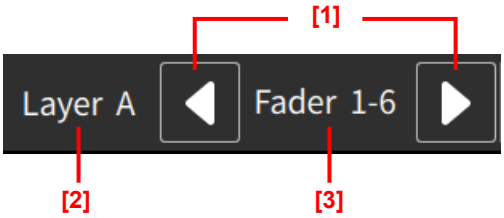
Meter 画面、Channel Setting 画面



Menu 画面

4-2 Page Select

表示中の Layer 情報、ページ情報の表示、表示チャンネルの操作を行います。
Menu 画面表示中は本エリアの機能は Meter に変わります。



[1]　ページ送りボタン

表示するページを変更します。
Meter 画面では表示するページを切り替えます。
（Input 表示 6ch 単位、Main 表示）
Channel Setting 画面では表示チャンネルを切り替えます。

[2]　Layer 表示

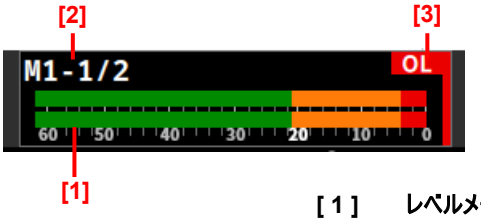
表示している Layer を表示します。

[3]　ページ表示

表示しているフェーダーチャンネルの番号や表示範囲を示します。
Main 表示のときは Main と表示します。

4-3 Meter

Menu 画面表示中のみ Meter が表示されます。Main Meter に設定した Bus のメーターを表示します。



[1]　レベルメーター
音声レベルを表示します。

[2]　Bus Name 表示
メーター表示している Bus の Bus Name を表示します。

[3]　OL インジケータ
0dBFS を超える直前に OL インジケータが点灯します。

4-4 Status

Mixer の各種ステータスおよび設定を表示します。

[1]　ALARM ボタン
ミキサーシステムにアラームが発生したときに点滅します。
全てのアラームが解除されたときに消灯します。
ボタンを押すと、Status メニュー画面を表示します。

[2]　FU ON 表示
Link Function に FU が設定されているいずれかのチャンネルの FU が ON または THR のときに点灯します。
すべての FU が OFF のときに消灯します。

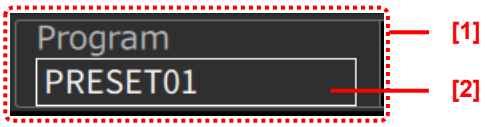
[3]　ON AIR、STBY 表示
ON AIR タリー、STBY タリーを受けて点灯します。

[4]　OSC/TB 表示
OSC が ON のときに桃点灯、TB が ON のときに緑点灯します。
OSC と TB が同時に ON のときは緑点灯します。
OSC および TB が OFF のときに消灯します。

[5]　PFL 表示
いずれかのチャンネルの PFL が ON のときに点灯します。
すべてのチャンネルの PFL が OFF のときに消灯します。

4-5 Program

Preset Program のタイトルを表示します。



[1] Program ボタン

図で示すエリアを押すと、Preset Program メニューを表示します。

[2] Preset Program タイトル表示

現在の Preset Program のタイトルを表示します。

4-6 Display Select

表示画面の切り替えを行います。

[1] Menu ボタン

Meter 画面表示中は「Menu」と表示されます。
ボタンを押すと、Menu 画面へ切り替えます。
Menu 画面表示中、Channel Setting 画面表示中は「Close」と表示されます。
ボタンを押すと、Meter 画面へ切り替えます。

[2] Home ボタン

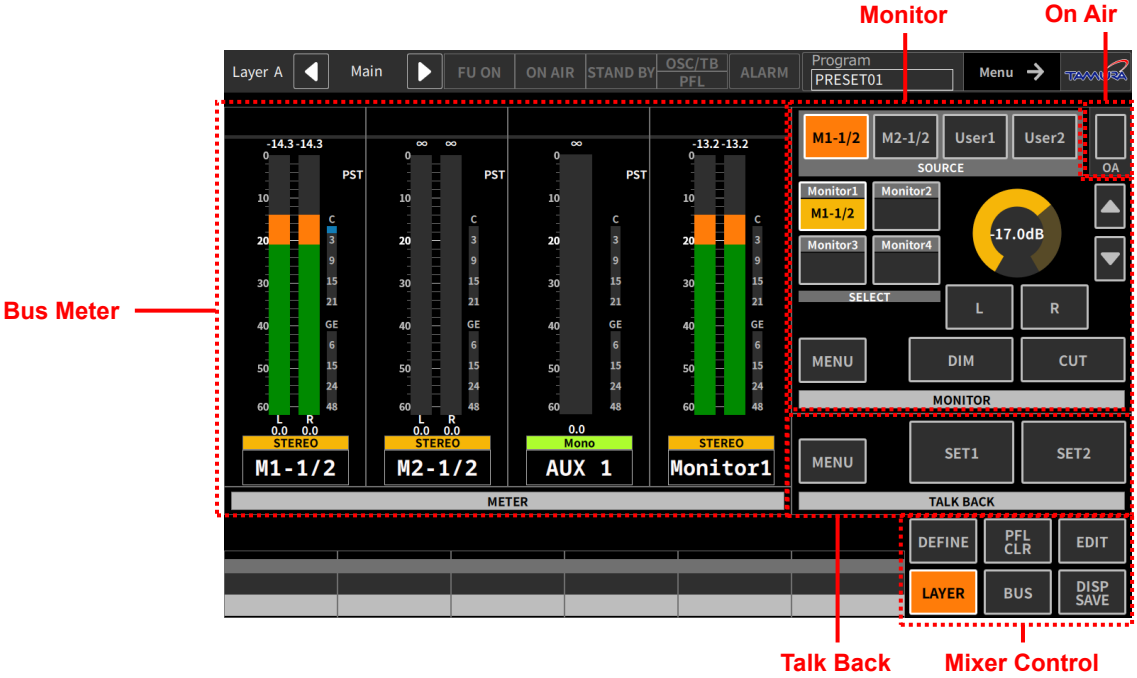
ボタンを押すと Meter 画面の Main 表示へ切り替えます。

5. Meter 画面

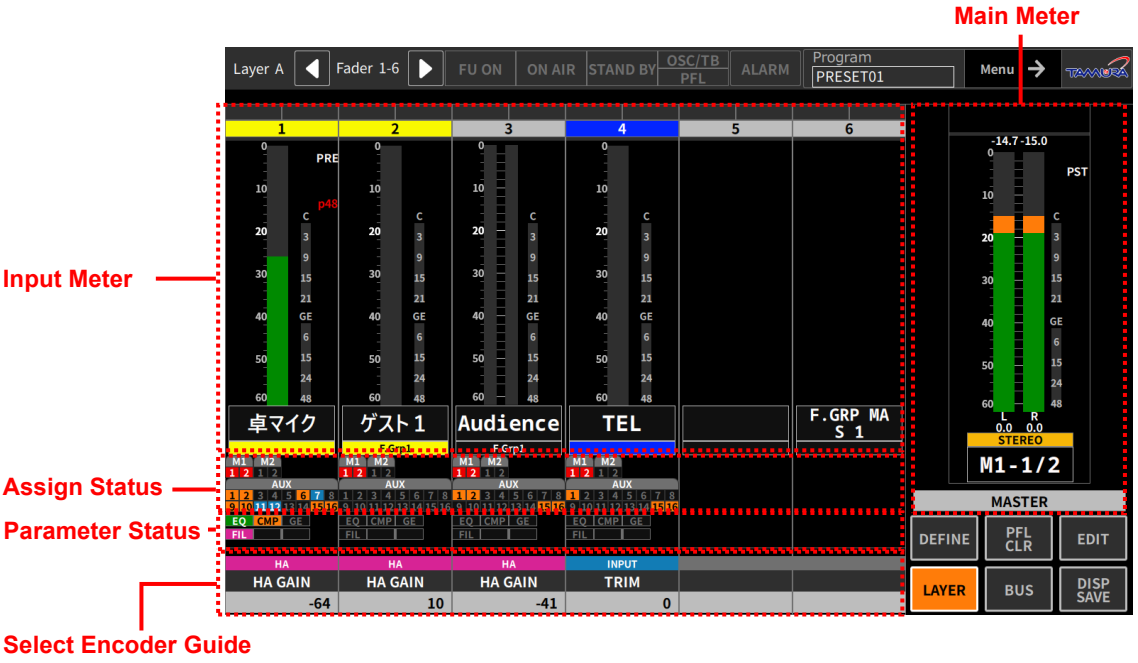
5-1 Overview

Meter 画面は、代表 Bus の情報や Monitor 等の機能を表示する「Main 表示」と、フェーダーチャンネルの情報を表示する「Input 表示」で構成されます。

Main 表示

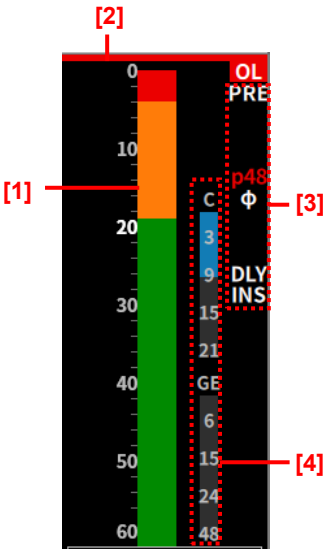


Input 表示



5-2 メーターの構成

Input メーター、Bus メーターなどメーターの表示種別ごとにメーターの長さは異なりますが、メーターを構成する要素はどのメーターも共通です。



[1] **レベルメーター**
チャンネルの音声レベルを表示します。

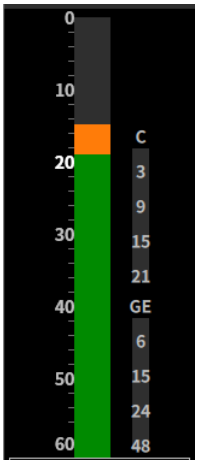
[2] **OL インジケータ**
0dBFS を超える直前に OL インジケータが点灯します。

[3] **設定インジケータ**
各種設定のインジケータです。

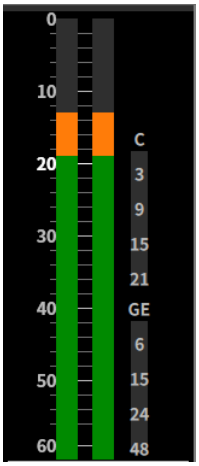
[4] **ゲインリダクションメーター**
Dynamics(Comp、Gate)のゲインリダクション量を表示します。

5-2-1 レベルメーター

チャンネルのフォーマットに応じた本数のレベルメーターが表示されます。
レベルメーターは緑で表示されます。Digital Reference Level を超える部分は橙で表示されます。

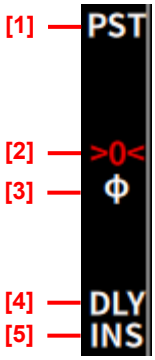


Mono メーター



Stereo メーター

5-2-2 設定インジケータ



[1] Meter ポジションインジケータ

Meter ポジション設定を表示します。
何も表示されていない場合は Input に設定していることを表します。
それ以外の設定の場合は、下記のインジケータが表示されます。

Pre Effect : PRE

Pre Cut : PFD

Poset Effect : PST

[2] not 0dB インジケータ

Bus チャンネルで、Fader レベルが 0dB 以外の設定になったときに点灯します。
Input チャンネルには表示されません。

[3] Φ/ΦR On/Off インジケータ

Φ、ΦR の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。
Φ、ΦR 機能がないチャンネルでは表示されません。

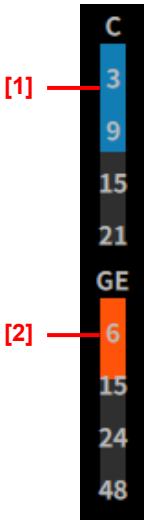
[4] Delay On/Off インジケータ

Delay の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。

[5] Insert On/Off インジケータ

Insert の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。

5-2-3 ゲインリダクションメーター



[1] Comp ゲインリダクションメーター

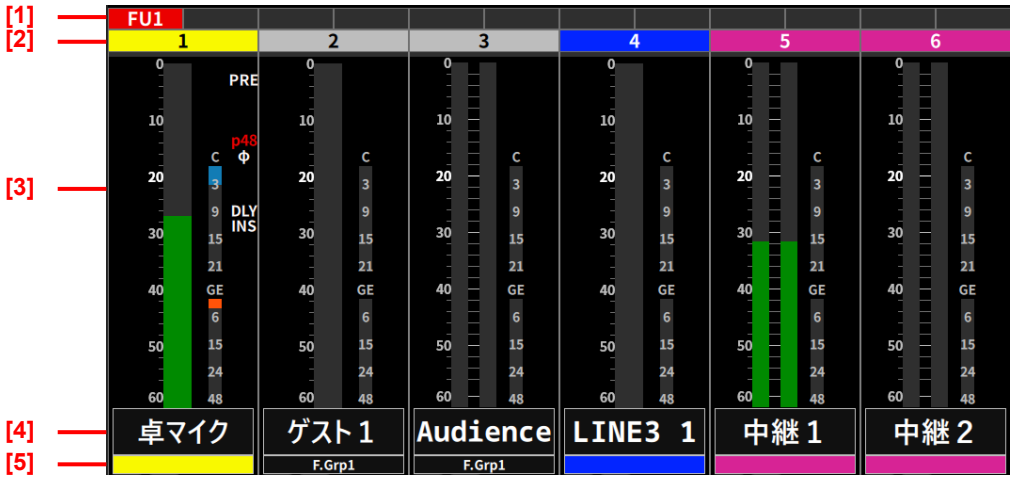
Comp でのゲインリダクション量を表示します。

[2] Gate ゲインリダクションメーター

Gate でのゲインリダクション量を表示します。

5-3 Input Meter

Input チャンネルに関する情報とメーターを表示します。



[1] ステータスバー

チャンネルに割当てた Link Function が設定されていた場合は、Link Function ステータスを表示します。

Link Function ステータスは Fu Box の On/Off 状態など、GPIO に関連する機能の状態です。

[2] チャンネルバー

チャンネル番号と Visual Group 設定を表示します。

Visual Group が設定されると、チャンネルバーはその設定色で表示します。Visual Group が設定されていない場合は、チャンネルバーはグレーで表示します。

[3] チャンネルメーター

チャンネルのメーターを表示します。

[4] Fader Name 表示

Fader Name を表示します。

Fader Name が設定されていない場合は、System Name を表示します。

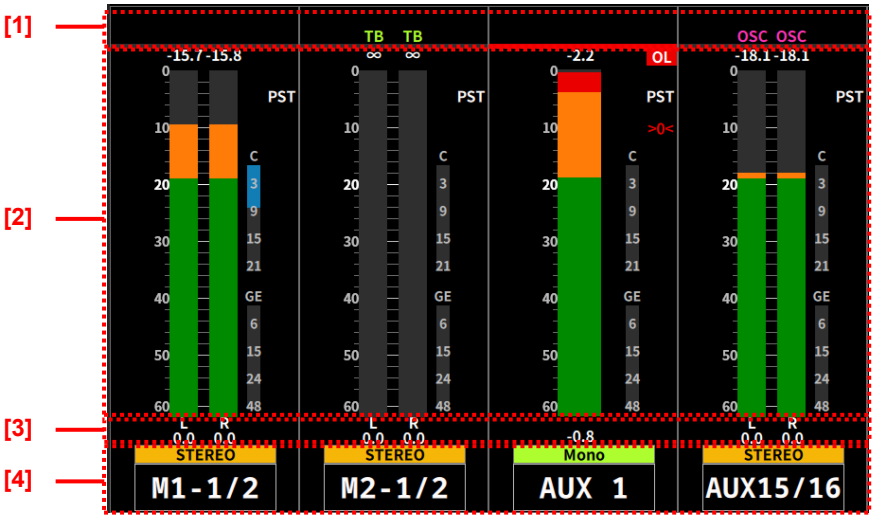
[5] Fader Group ナンバー

Fader Group ナンバーと Visual Group 設定を表示します。

Visual Group が設定されると、その設定色背景で表示します。Visual Group が設定されていない場合は、黒背景で表示します。

5-4 Main/Bus Meter

Bus チャンネルに関する情報とメーター情報を表示します。



[1]　割り込みインジケータ

Bus に音声割り込みが発生したときに点灯します。
TB > OSC の優先順位でインジケータが表示されます。

TB：

OSC：

[2]　メーター

設定された Bus のメーターを表示します。
バーグラフメータ最上部にメーターレベルを数値で表示します。

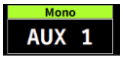
[3]　Fader レベル表示

表示チャンネルの Fader レベル設定値を表示します。

[4]　Bus Name 表示

メーター表示している Bus の Bus Name を表示します。
それぞれの Bus フォーマット設定に応じて、表示エリアが変化します。

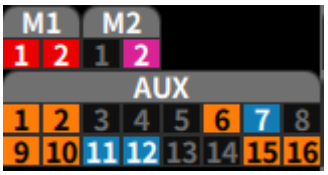
Mono:



Stereo:

5-5 Assign status

チャンネルの Bus アサイン設定を表示します。



M1 / M2 / Aux へのアサイン設定を表示します。
アサイン On の Bus 番号が点灯します。Aux では Pre、Post 設定によって点灯色が変わります。
エリアをタッチすると、Bus アサイン設定画面が表示され、各アサイン設定変更が可能です。

Aux（Pre） 1

Aux（Post） 1

5-6 Parameter status

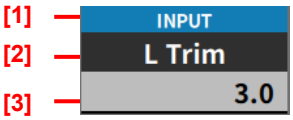
チャンネルのパラメーター設定を表示します。

EQ、FIL、Comp、Gate、Pan の ON/Off 状態を表示します。機能が On のときに点灯表示します。

Pan は設定状態をスライダー表示します。
Pan が最小値、最大値と中間値のとき、Pan ポインタは塗りつぶしあり、それ以外の値のときは塗りつぶし無しで表示します。

5-7 Select Encoder Guide

Fader Unit の Select エンコーダーの機能と設定値を表示します。



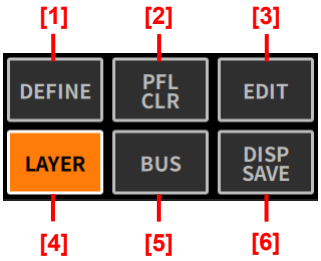
[1] パラメーターターイトル表示
エンコーダーで操作するパラメーターのグループを示す名称を表示します。グループごとに異なる配色で表示します。

[2] パラメーター名称表示
エンコーダーで操作するパラメーターの名称を表示します。

[3] パラメーター値表示
エンコーダーで操作するパラメーターの設定値を表示します。

5-8 Mixer Control

ミキサー全体のコントロールを行います。



[1] DEFINE

Select エンコーダーをユーザー指定の機能に割り当てることができます。(Define 機能)

本ボタンを押すことで、Select エンコーダーは Define 機能が割り当てられたチャンネルのみ Define 機能に切り替わります。

Define 機能の割り当ては以下の手順で行います。

① Define 機能を割り当てたいチャンネルの Channel Setting 画面を表示する。

② DEFINE ボタンを押しながら、Define 機能に設定したい Select エンコーダーを押す。

[2] PFL CLR

いずれかのチャンネルの PFL が ON の場合に点滅します。点滅中に本ボタンを押すことで、全ての PFL が解除されます。

[3] EDIT

本ボタンを押すことで、Edit モードになります。Edit モードから、チャンネルパラメーターの Clear や Copy 等の操作を行います。

詳細は「3-7 チャンネルパラメーターの編集」を参照ください。

[4] LAYER

表示するフェーダーチャンネルの Layer を切り替えます。

詳細は「3-6 Layer」を参照ください。

[5] BUS

本ボタンを押すと、Master Bay に Bus フェーダーを表示します。

詳細は「3-6 Layer」を参照ください。

[6] DISP SAVE

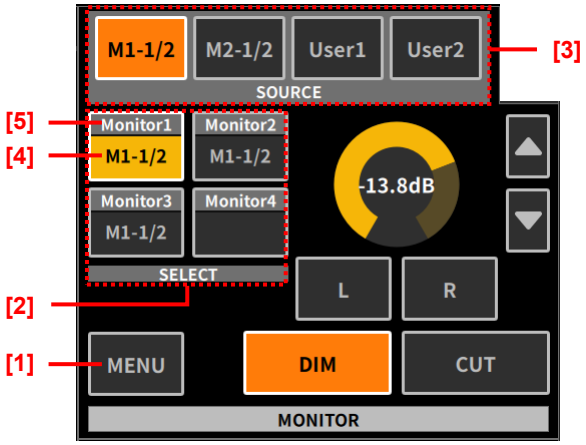
本ボタンを押すと Display Save 状態になり Panel PC および Fader Unit の表示が消灯し、Master Bay に設定された Fader Unit の最右チャンネルの [SEL] ボタンが赤点灯します。

赤点灯中の [SEL] ボタンを押すと Display Save は解除します。

Edit モード中は DISP SAVE は使用できません。

5-9 Monitor

Monitor1～Monitor4 の各種コントロールを行います。



[1] MENU ボタン

表示を Monitor メニューに切り替えます。

メニュー表示中は Mixer Status Area の Display Select ボタンを押すことで Meter 画面に戻ります。

Display Select ボタン:

[2] Monitor Select

コントロールする Monitor を 1～4 から択一で選択します。

Monitor ごとに選択色が異なります。

選択中のボタン点灯色:

[3] Monitor Source 選択

選択中の Monitor でモニターする素材を選択します。

User1、User2 は、Monitor Menu から User Source を設定することで選択可能になります。

[4] Monitor Source 選択表示

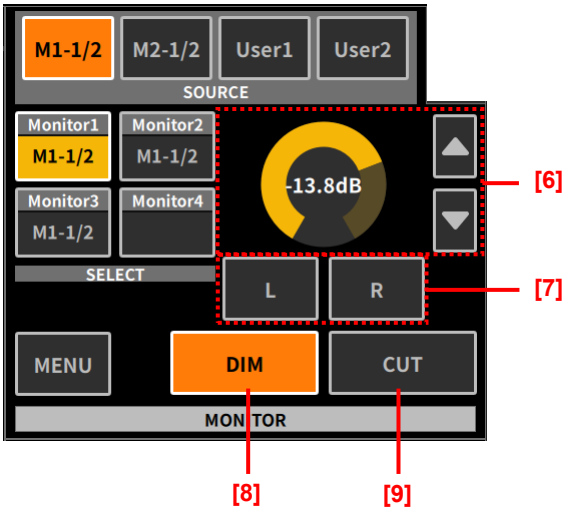
選択された Monitor Source を表示します。

Monitor Source が選択されていないときは Blank 表示になります

[5] Monitor Name 表示

Monitor Name を表示します。

Monitor Name の設定は Monitor Menu から行います。



[6]　Monitor ボリューム

モニター音量を調整します。調整中の音量が数字で表示されます。

ボタン操作：

単押しで音量アップ（1dB step）、長押しで連続変化

単押しで音量ダウン（1dB step）、長押しで連続変化

スライド操作：

タッチした状態で上方向へスライドすると音量アップ
タッチした状態で下方向へスライドすると音量ダウン

[7]　L / R

L 分岐、R 分岐を行います。
L / R 両方のボタン On で L+R 分岐します。

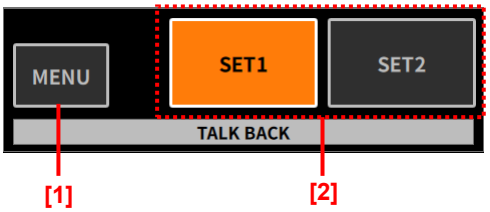
[8]　DIM

Dimmer を On/Off します。Dimmer On でモニター音量が小さくなります。
Dimmer Level の調整は Monitor メニューで行います。

[9]　CUT

Cut を On/Off します。Cut On 時、モニター出力はミュートします。

5-10 Talk Back



[1] MENU ボタン

表示を OSC/TB メニューに切り替えます。

メニュー表示中は Mixer Status Area の Display Select ボタンを押すことで Meter 画面に戻ります。

Display Select ボタン:

[2] SET1 / SET2

SET1 ボタンを押すと TB Preset1 に設定された出力に TB を割り込みます。

SET2 ボタンを押すと TB Preset2 に設定された出力に TB を割り込みます。

TB Preset の設定は OSC/TB メニューから行います。

5-11 On Air

本ボタンを長押しすることでミキサーを ON AIR 状態にします。

ON AIR 状態である場合、Config メニューで設定された機能（OSC 送出禁止、Talk Back 送出禁止など）が働きます。

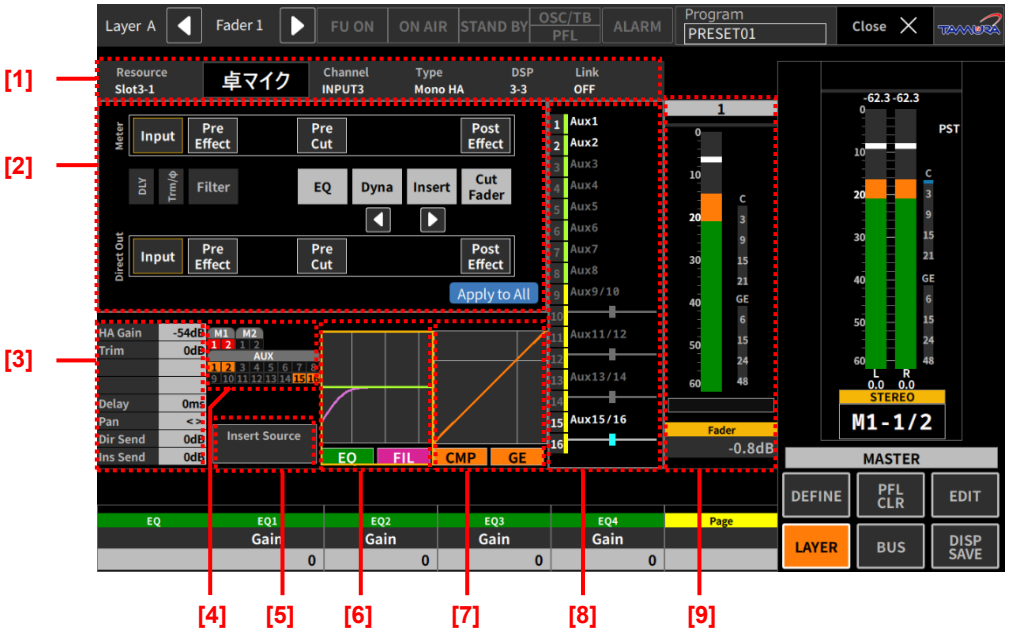
6. Channel Setting 画面

6-1 Overview

Fader Unit の [SEL] ボタンで選択されたチャンネルの情報やパラメーター設定が表示されます。

Channel Setting 画面の各パラメーター設定領域をタッチし、Master Bay に設定された Fader Unit の Select エンコーダー、Select ボタン A にてパラメーターの設定を行います。

1 つの設定エリアを一定時間押下し続けると、その設定パラメーターが選択された状態が、Channel Setting 画面の Top ページになります。同じパラメーターを異なるチャンネルで連続して操作したい場合に便利です。Top ページに指定されたエリアは、そのエリアの左上に Top ページ指定アイコン( )が表示されます。



[1] チャンネル情報エリア

チャンネル情報が表示されます。

[2] Audio Path エリア

Audio Path の設定状態が表示されます。

エリア内のボタン操作で設定を行います。

[3] Input エリア

Input パラメーターの設定状態が表示されます。

このエリアをタッチすると、Input 機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。

[4] Bus アサインエリア

Bus アサイン設定の状態が表示されます。

このエリアをタッチすると Bus アサイン設定ウィンドウが表示されます。

[5] Insert Source エリア

チャンネルに設定されている Insert Return Source が表示されます。

このエリアをタッチすると Insert Return マトリクス設定ウィンドウが表示されます。

[6]　EQ / Filter エリア

EQ と Filter の設定状態が表示されます。

このエリアをタッチすると、EQ と Filter の機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。

[7]　Dynamics エリア

Dynamics の設定状態が表示されます。

このエリアをタッチすると、Dynamics 機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。

[8]　Aux エリア

Aux 設定の状態が表示されます。

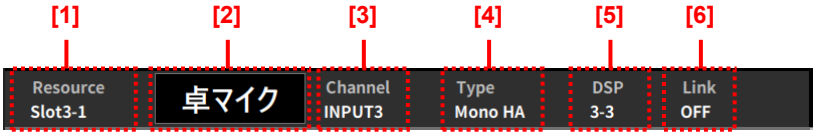
このエリアをタッチすると、Aux 機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。

[9]　チャンネルメーターエリア

チャンネルメーターが表示されます。

表示項目は、Meter 画面に表示されるものと同じです。

6-2 チャンネル情報エリア



[1] Resource ID

Input チャンネルの物理的配線を表示します。

[2] Fader Name

Fader Name を表示します。Fader Name が設定されていない場合は System Name を表示します。

[3] Channel ID

Input チャンネルや Bus チャンネルの ID 番号を表示します。

[4] Type 表示

チャンネルのタイプを表示します。
Mic チャンネルの場合はフォーマットの後に「HA」が表示されます。

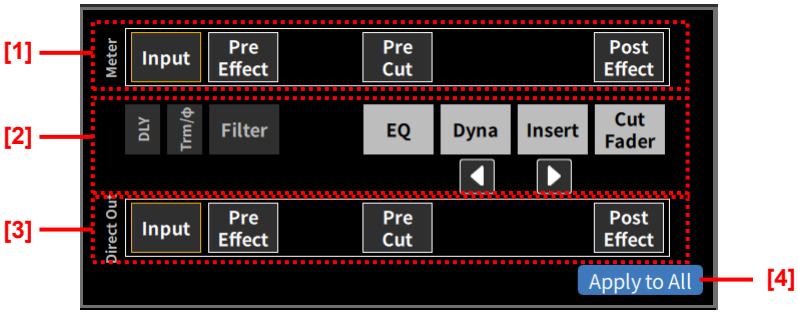
[5] DSP 番号

使用している DSP Resource の情報を表示します。

[6] Link Function 表示

割り当てられている Link Function を表示します。

6-3 Audio Path エリア



[1] Meter ポジション選択ボタン

メーター用のレベルデータ取得ポイントを選択します。

[Input]、[Pre Effect]、[Pre Cut]、[Post Effect] から択一選択になります。

[PreCut] を選択した場合、Effect の[Cut Fader] の直前からレベルデータを取得するため、Effect オーダー設定により取得ポイントが変化します。

[2] Effect オーダー設定ボタン

Effect の並びを変更します。

選択できる並びは数パターンがあります。カーソルボタンを押す度に Effect の並びが変わります。

[3] Direct Out ポジション選択ボタン

Direct Out 音声の取得ポイントを選択します。

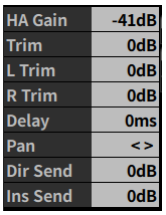
[Input]、[Pre Effect]、[Pre Cut]、[Post Effect] から択一選択になります。

[4] Apply to All ボタン

Apply to All ボタンを押すと、操作対象と同じ種類の全てのチャンネルに、変更内容が適用されます。

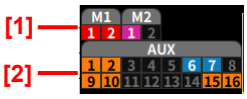
6-4 Input エリア

Input エリアをタッチすると、Input 機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。



Input エリアには、Master Bay の Select エンコーダーに割り当てられた機能の名称と設定値が表示されます。

6-5 Bus アサインエリア



[1] Master アサイン表示

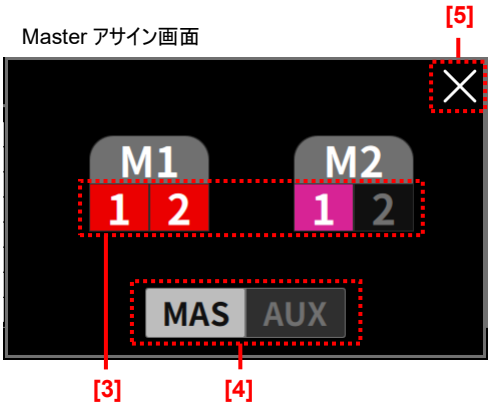
M1、M2 へのアサイン設定状態を表示します。

[2] Aux アサイン表示

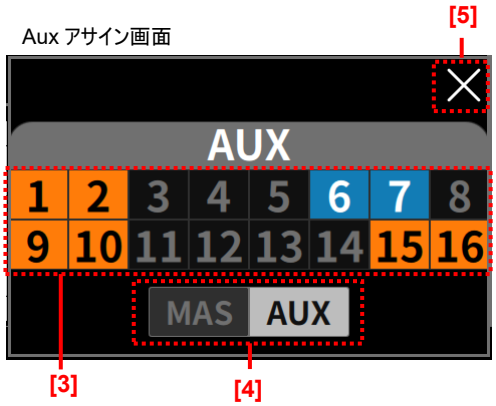
Aux へのアサイン設定状態を表示します。

Bus アサインエリアをタッチすると、Bus アサイン設定ウィンドウが表示されます。

Master アサイン画面



Aux アサイン画面



[3] アサイン On/Off ボタン

アサインしたい Bus のボタンを押します。
On のときに点灯、Off のときに黒背景で表示します。
タッチした状態でドラッグすると、連続した複数の Bus を設定することができます。

[4] MAS / AUX 切り替え

Master アサイン画面、Aux アサイン画面の切り替えをします。
切り替えたいボタンを押します。

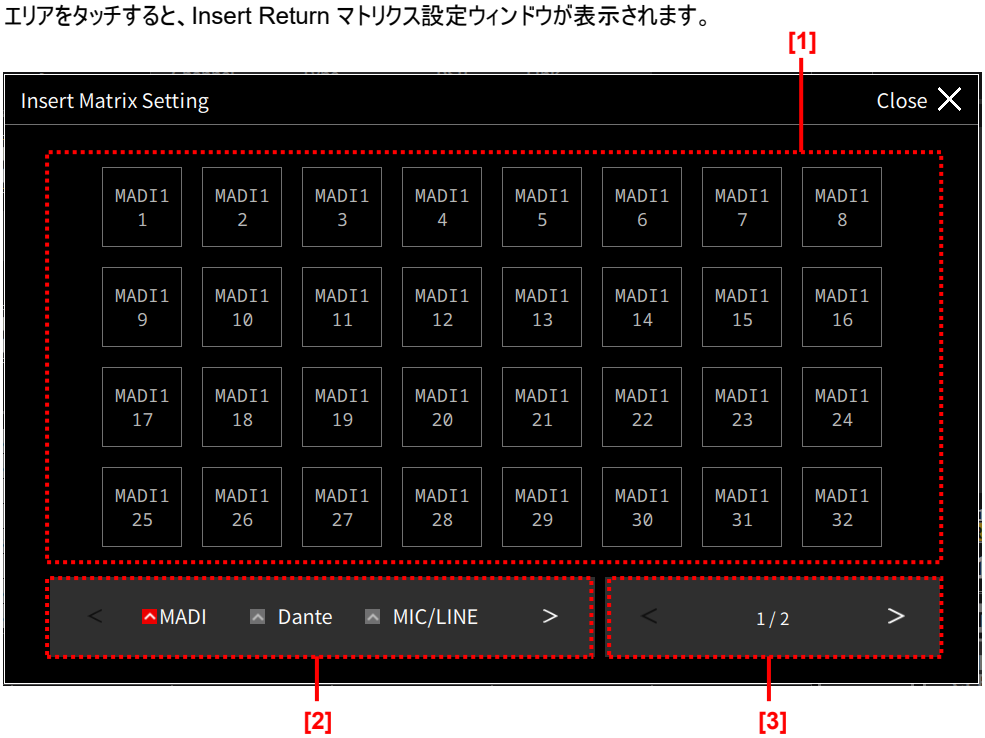
[5] CLOSE

Bus アサイン設定画面を閉じます。

6-6 Insert Source エリア

チャンネルに設定されている Insert Return Source が表示されます。

エリアをタッチすると、Insert Return マトリクス設定ウィンドウが表示されます。



[1] Insert Return Source 選択ボタン

Insert Return Source を選択します。

ボタンを選択するとウィンドウが閉じ、選択したボタンに対応した Insert Return Source がチャンネルに設定されます。

チャンネルフォーマットが Stereo チャンネルの場合、選択したボタンを先頭に、サブチャンネルの数だけ連続した Insert Return Source が自動的にチャンネルに設定されます。

> チャンネルの Insert ポイントへ入力する音声素材（Insert Return Source）が設定されます。
> Insert ポイントから出力される音声の送出先（Insert Send Destination）の設定は Menu 画面の Out Mtx メニューで行います。

[2] Slot 選択ボタン

f CORE の SLOT に実装された CARD が表示されます。

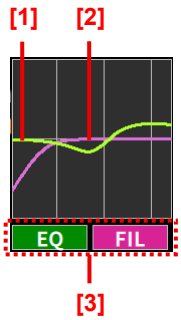
[3] ページ選択ボタン

ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

ページが複数ある場合はページ送りボタンが表示されます。ボタンを押してページを切り替えます。

6-7 EQ / Filter エリア

EQ / Filter エリアをタッチすると、EQ と Filter の機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。



[1] EQ グラフ

EQ1～EQ4 の設定を合成したグラフを表示します。
EQ Off のときグラフはグレーになり、On になると緑で表示します。

[2] Filter グラフ

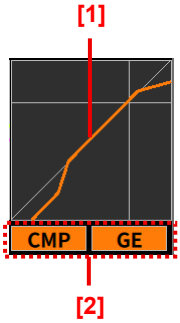
Filter1、2 の設定を合成したグラフを表示します。
グラフの形状は Filter1、Filter2 の On になっているものの設定から作成されます。どちらも Off の場合はグラフがグレーになり、いずれか On になると紫で表示します。

[3] ステータス表示

EQ、Filter の On/Off 状態を表示します。
機能が Off のときはグレー表示、On のときに EQ は緑、Filter は紫で表示します。

6-8 Dynamics エリア

Dynamics エリアをタッチすると、Dynamics の機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。



[1] Dynamics グラフ

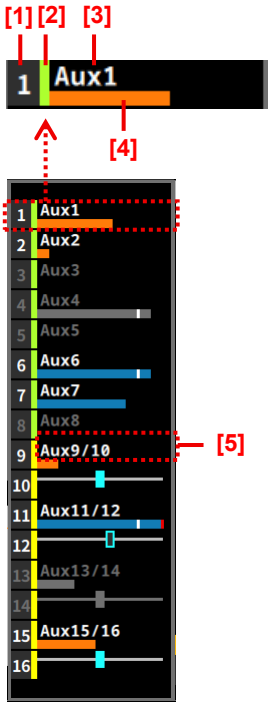
Comp と Gate の設定を合成したグラフを表示します。
グラフの形状は Comp か Gate が On の場合に表示されます。どちらも Off の場合グラフはグレーになり、On になると橙で表示します。

[2] ステータス表示

Comp、Gate の On/Off 状態を表示します。
機能が Off のときはグレー表示、On のときに橙で表示します。

6-9 Aux エリア

Aux エリアをタッチすると、Aux の機能が Fader Unit の Master Bay に呼び出されます。



[1] Aux ナンバーラベル

Aux ナンバーを表示します。Send Off のときはナンバー表示がグレーになります。

1 : Send On / 1 : Send Off

[2] フォーマットインジケータステータス表示

Aux の Bus フォーマットを表示します。

1 : Mono / 1 : Stereo

[3] Bus Name 表示

Bus Name を表示します。

[4] Send Level バーグラフ

Send Level の設定及び Pre / Post の設定を表示します。
Send Off のとき、バーグラフはグレーになります。
Send Level が 0dB のところはバーが白く点灯します。
Send Level が最大値のとき、バーの先端が赤く点灯します。

1 Aux1 : Send Off

1 Aux1 : Send On (Post)

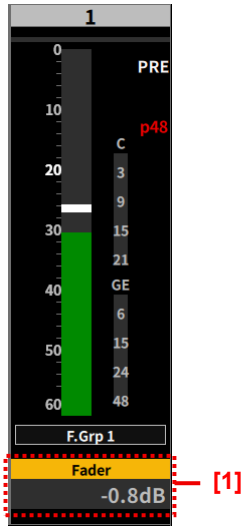
1 Aux1 : Send On (Pre)

[5] Aux Pan 設定スライダー

Aux Pan の設定を表示します。Aux Pan が最小値、最大値と中間値のとき、Aux Pan ポインタは塗りつぶしあり、それ以外の値のときは塗りつぶし無しで表示します。

6-10 チャンネルメーターエリア

Meter 画面と同じチャンネルメーターが表示されます。
Channel Setting 画面ではメーター下部にフェーダーレベルを表示します。



[1] フェーダーレベル表示

チャンネルのフェーダーレベルを表示します。

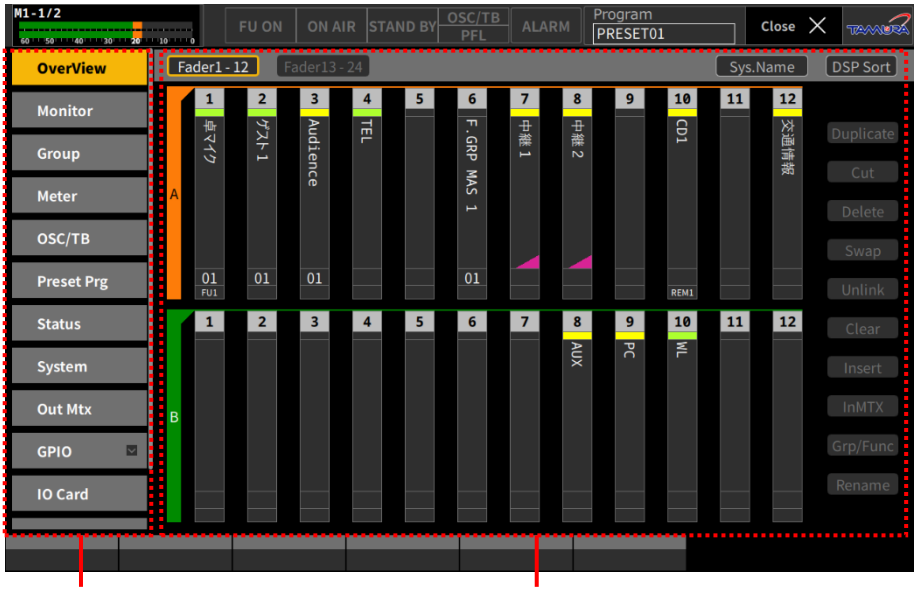
7. Menu 画面

7-1 Overview

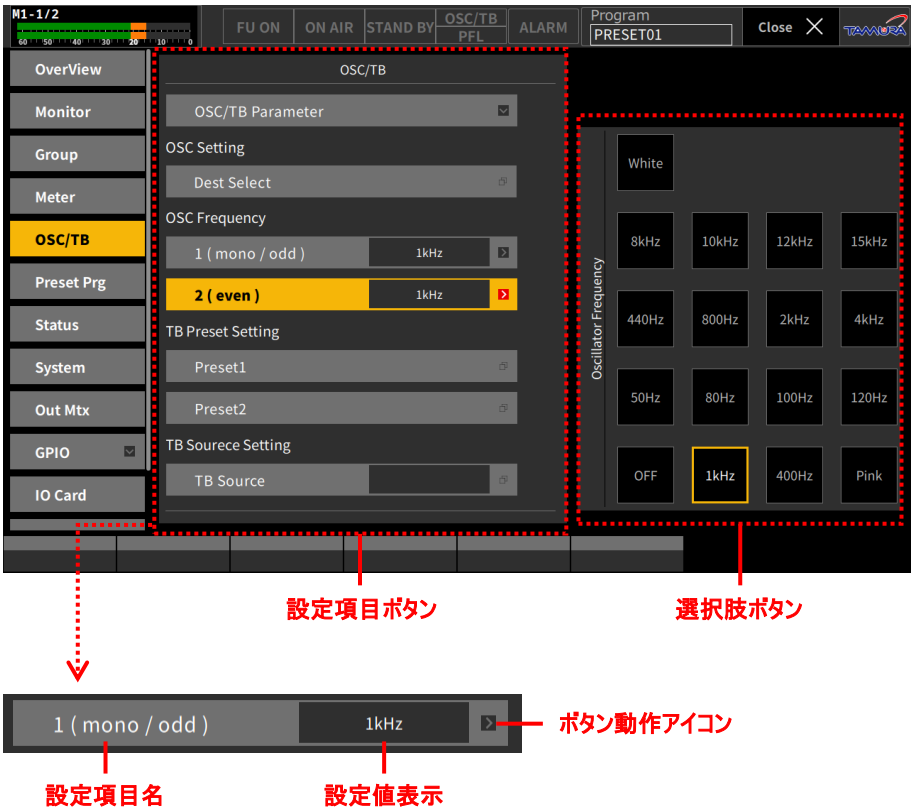
Menu 画面はミキサー全体に渡る設定メニューを操作する画面です。

Menu 画面は、Overview、Monitor、Group、Meter、OSC/TB、Preset Prg、Status、System、OutMtx、GPIO、IO Card、Config、Setup の各種メニューで構成されています。Menu 選択ボタンで各々のメニューを呼び出します。

Menu 画面は、下図の様に各エリアによって構成されています。



メニューの種類によっては、画面中央に設定項目ボタンが表示されます。
設定項目ボタンを選択すると、画面右側に選択肢ボタンを表示します。



設定項目ボタンを押したときの挙動はボタン動作アイコンで示されます。

：画面右に選択肢を表示します。

：設定ウィンドウを表示します。

：Select エンコーダーに設定機能を呼び出します。

ボタン動作アイコンなし ：選択した時点で機能を実行します。

7-2 Overview メニュー

Overview メニューでは、チャンネルレイアウトや、Fader Group、Fader Name などの設定状態を 12ch 単位で表示し、それらの設定変更を行うことが出来ます。

7-2-1 通常画面

1 画面に Layer A / B の 12ch 分の情報を表示します。

[1] 表示チャンネル切り替えボタン

表示するフェーダーチャンネルを 12ch 単位で切り替えます。

[2] System Name 表示切り替え

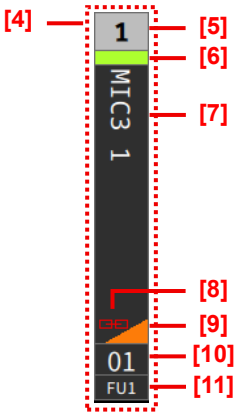
各チャンネルに System Name を表示します。

[3] DSP Sort ボタン

チャンネルへの DSP 割り当てを最適化します。

チャンネルを作成するとき、システムはその時点で最適な DSP 使用状態となるように自動的に DSP リソースを検索し、チャンネルに割当てます。しかし、チャンネルの作成、削除を繰り返すと、DSP リソースの断片化が生じ、ごく稀に DSP リソースが残っているにも関わらず、Stereo チャンネルなどのマルチフォーマットチャンネルが作成できなくなる場合があります。その場合、DSP Sort 機能で断片化を解消するとマルチフォーマットチャンネルの作成が可能になります。

> 音声処理が一時的に中断される為、出力音声に影響がでることがあります。
> 実行の際は十分ご注意ください。



[4]　チャンネル選択ボタン

編集メニューの操作対象となるチャンネルを選択します。

ボタンを押すとハイライト表示され、操作可能な編集メニューボタンが有効になります。

[5]　チャンネル番号表示

チャンネル番号を表示します。

[6]　フォーマットインジケータ

チャンネルフォーマットを表示します。

1 : Mono

1 : Stereo

1 : フォーマット情報なし

[7]　Fader Name / System Name 表示

System Name 表示切替ボタンが Off のとき、Fader Name を表示します。System Name 表示切替ボタンが On のとき、System Name を表示します。

[8]　Duplicate 設定表示

Duplicate が設定されているときにマークを表示します。

[9]　Visual Group 設定表示

Visual Group で設定した色を表示します。

[10]　Fader Group 設定表示

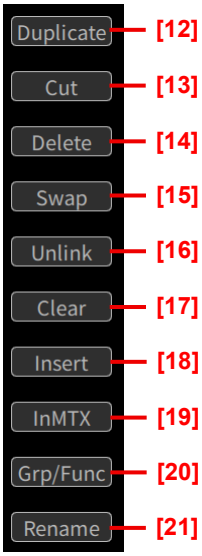
Fader Group が設定されているとき、Group 番号が表示されます。

また、その Fader Group が Cut Group に設定されていた場合は、その番号の後に「C」が表示されます。

01 : Fader Group 番号表示
01C : Cut Group 設定時

[11]　Link Function 設定表示

Link Function 設定を表示します。（Input Ch のみ）



[12] Duplicate ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを複製し、Link チャンネルを作成します。

ボタンを押すと [Paste] と [Insert] が選択可能な状態になります。

[Paste] を選択すると、選択中チャンネルに Link チャンネルを上書きします。[Insert] を選択すると、選択中チャンネルに Link チャンネルが挿入されます。選択中チャンネルより右のチャンネルは、自動的に右に移動します。

Link チャンネル同士は、同一 DSP リソースを使用しているチャンネルで、1 つのチャンネルのパラメーターを操作すると、全ての Link チャンネルはその操作に連動します。

[13] Cut ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを Cut します。

ボタンを押すと [Paste] と [Insert] が選択可能な状態になります。

[Paste] を選択すると、選択中チャンネルに Cut したチャンネルを上書きします。[Insert] を選択すると、選択中チャンネルに Cut したチャンネルが挿入されます。選択中チャンネルより右のチャンネルは、自動的に右に移動します。

[14] Delete ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを削除し、それより右の全てのチャンネルを、削除されたチャンネル分左に移動します。

[15] Swap ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの位置と、他のチャンネルの位置と入れ替えます。

ボタンを押すと Swap 先選択状態となり、Swap 先を指定すると、最初に選択したチャンネルと、次に選択したチャンネルの位置が入れ替わります。

[16] Unlink ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルが Link チャンネルのとき、Link 状態を解除し、新たに DSP リソースを割り当てます。

新たに割り当てられた DSP リソースは、Unlink 操作を行った時点のパラメーター設定を引き継ぎます。

[17] Clear ボタン / Paste ボタン

Duplicate ボタン、もしくは Cut ボタンが選択されているとき Paste ボタンが表示されます。それ以外のときは、Clear ボタンが表示されます。

Clear ボタンのとき、チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルをクリアします。クリアされたチャンネルストリップは Blank チャンネルになります。

Paste ボタンのとき、チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに、Link チャンネル、もしくは Cut したチャンネルを上書きします。

[18] Insert ボタン

Duplicate ボタン、もしくは Cut ボタンが選択されているとき、Link チャンネル、もしくは Cut したチャンネルを挿入します。

それ以外のとき、Blank チャンネルを挿入します。

[19] InMTX ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに Input Source や Bus チャンネル、Fader Group マスターチャンネルを割当てます。

ボタンを押すと Input マトリクス設定ウィンドウが表示されます。

[20] Grp/Func ボタン

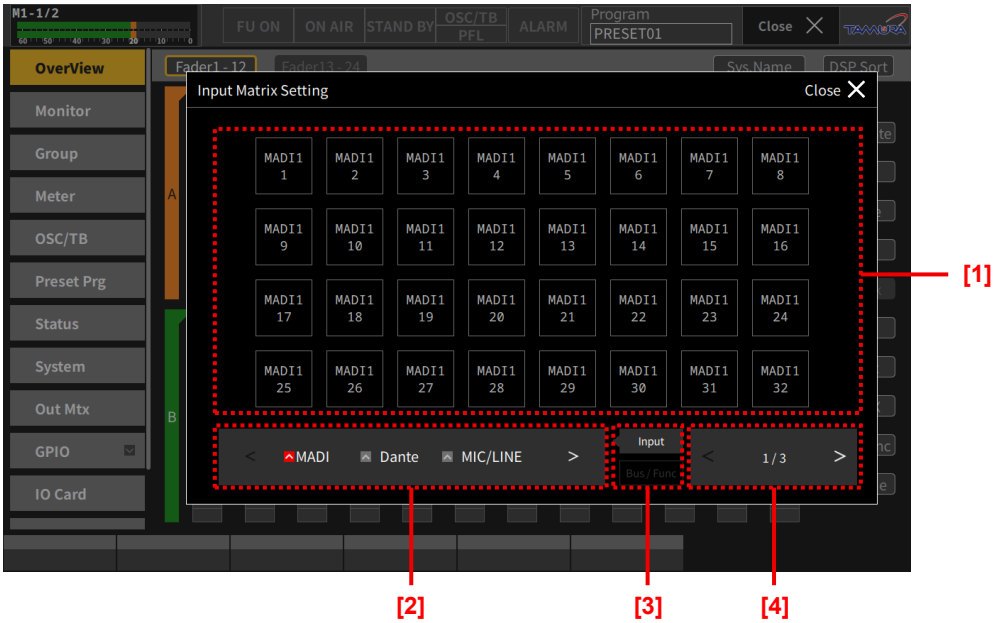
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Group、Visual Group、Link Function Select 設定を行います。

ボタンを押すと Fader Group / Link Function Select 設定ウィンドウが表示されます。

[21] Rename ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Name を設定します。ボタンを押すとキーボードが表示されます。

7-2-2 Input マトリクス設定ウィンドウ



[1] Source 選択ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに割当てる Source を選択します。

[2] Slot 選択ボタン

f CORE の SLOT に実装された CARD が表示されます。

[3] Source 種別切り替えボタン

ウィンドウに表示する Source を切り替えます。

ボタンを押すたびに、Input Source と Bus/Function で切り替ります。

[4] ページ選択ボタン

ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

ページが複数ある場合はページ送りボタンが表示されます。ボタンを押してページを切り替えます。

7-2-3 Fader Group / Link Function Select 設定ウィンドウ

[1] Fader / Visual / Link Func 切り替えボタン

Fader Group 設定と Visual Group 設定と Link Function 設定を切り替えます。

[2] Fader Group 選択ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Fader Group 番号を選択します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Fader Group 番号が設定されます。

[3] Fader Group 設定解除ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Group 設定を解除します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全ての設定が解除されます。

[4] Visual Group 選択ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Visual Group カラーを選択します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Visual Group カラーが設定されます。

[5] Visual Group 設定解除ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Visual Group 設定を解除します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全ての設定が解除されます。

[6] Link Function 選択ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Link Function を選択します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Link Function が設定されます。

[7] Link Function 設定解除ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Link Function 設定を解除します。

複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、そのすべての設定が解除されます。

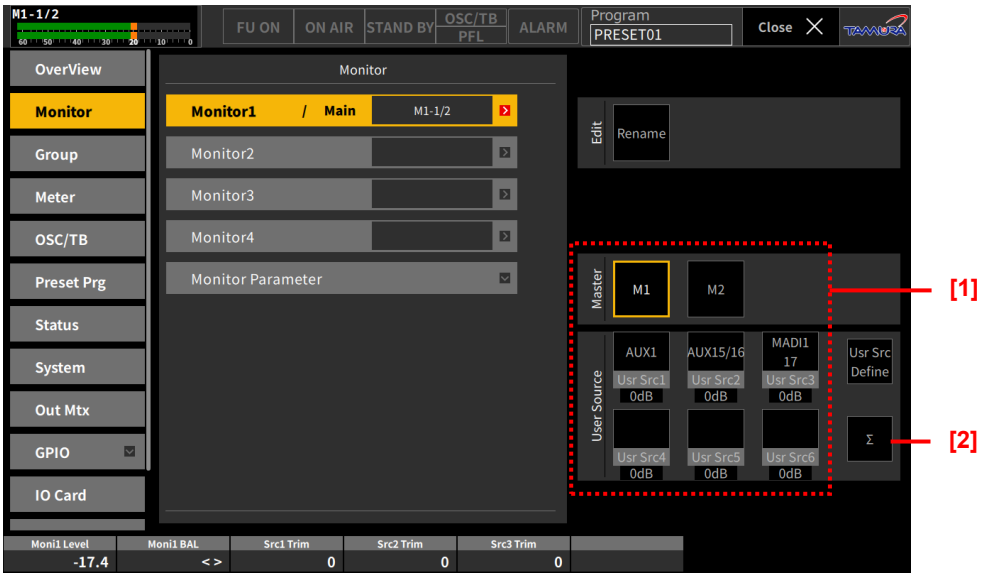
7-3 Monitor メニュー

7-3-1 メニューTop

Monitor に関する各種設定を行います。

7-3-2 Monitor 1/2/3/4

Monitor1、2、3、4 の設定を行います。



[1] Monitor Source 選択ボタン

選択中の Monitor でモニターする素材を選択します。

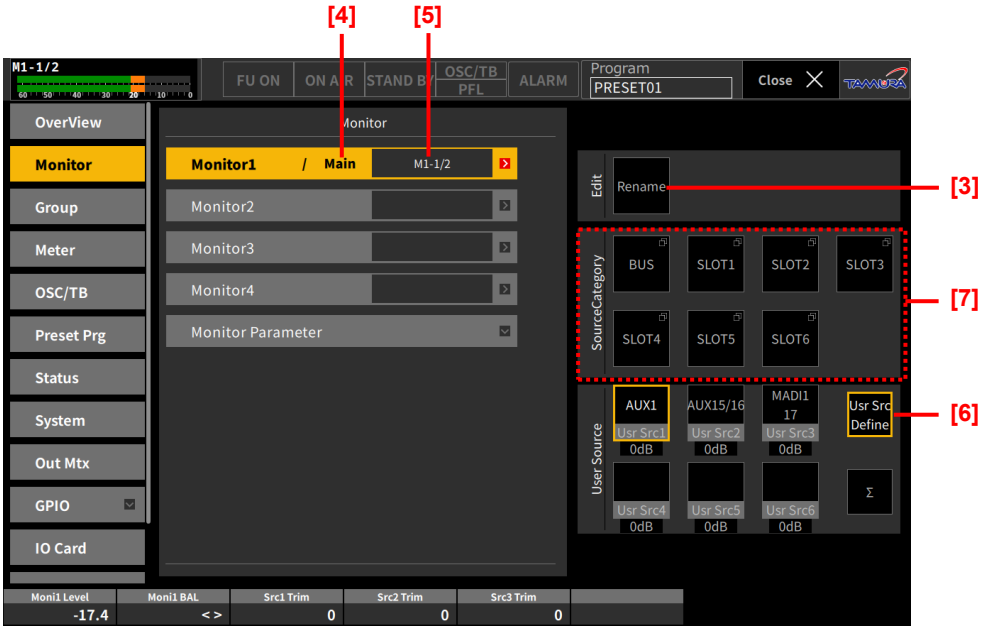
Monitor Mix(Σ)ボタンを選択していない場合は択一選択になります。

[2] Monitor Mix (Σ) ボタン

Monitor1 の Mix 機能を有効にします。

このボタンが選択状態のとき、最大 6 個の Source を同時に選択できます。選択された Source の音声は全て Mix されて出力されます。

Monitor2～4 には本機能はなく、ボタンは表示されません。



[3]　Monitor Name 設定ボタン

Monitor の Monitor Name を設定します。
ボタンを押すと表示されるキーボードで Monitor Name を入力します。

[4]　Monitor Name 表示

Monitor Name を表示します。
Monitor Name が設定されていない場合は空欄になります。

[5]　Monitor Source 表示

選択されている Source を表示します。

[6]　User Source Define ボタン

User ボタンに Monitor Source を割当てる場合に選択します。
ボタンを押して、Monitor Source 選択ボタンを押すと User Source カテゴリ選択ボタンが表示されます。

[7]　User Source カテゴリ選択ボタン

User ボタンに割当てる Monitor Source のカテゴリを選択します。
ボタンを押すと、Monitor Source 選択ウィンドウが表示されます。

SLOT – Mic Ch の基準レベルは-30dBFS に設定されています。
User Source に選択した際に音量が低いと感じる場合は Monitor ボリュームを調整してください。

7-3-3　Monitor Parameter

このメニュー選択中、Fader Unit の Master Bay にある Select エンコーダーにて Dimmer Level、APFL Trim の調整ができます。

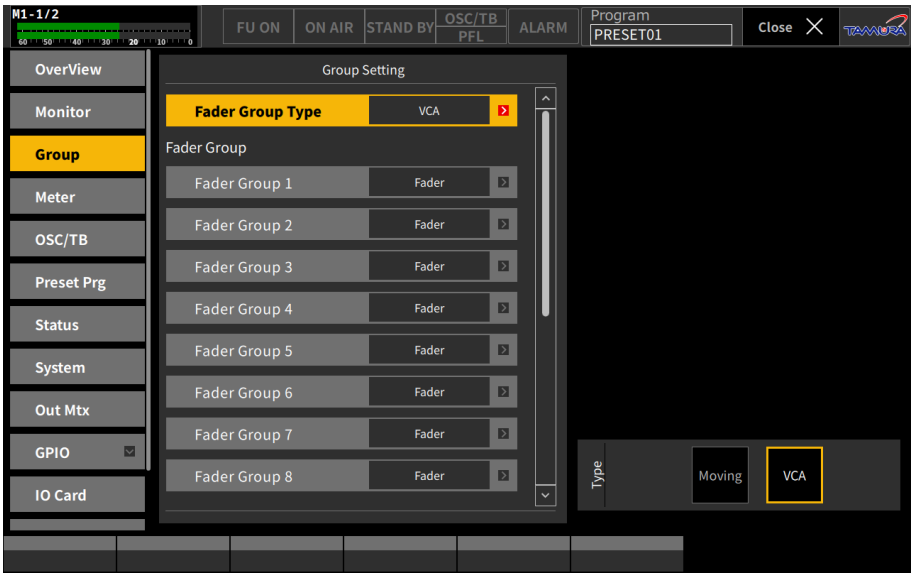
7-4 Group メニュー

7-4-1 メニューTop

Fader Group に関する各種設定を行います。

7-4-2 Fader Group Type

Fader Group の動作 Type を選択します。



Moving Type を選択すると、Slave Fader は Master Fader との相対的位置関係を保持した状態で、Master Fader の動きに連動して動きます。Slave Fader の Fader Level が実際の Fader 位置となるため、直感的に Fader Level を把握することができますが、Master Fader を絞りきった状態では Slave Fader も絞りきりとなり Slave Fader 同士のバランスをコントロールできなくなります。

VCA Type を選択すると、Slave Fader は Master Fader の動作に連動して動かず一定の位置で静止し、Slave Fader の位置は Master Fader との Offset 値となります。Slave Fader の実際の Fader Level を把握することが困難になりますが、Master Fader を絞りきった状態でも Slave Fader の位置は変わらないため、Slave Fader 同士のバランスをコントロールすることができます

7-4-3 Fader Group1-16

各 Fader Group に関する設定を行います。

Cut Group を選択した Fader Group では、Cut の On/Off 操作のみが連動します。同じ Group 内の、どのチャンネルの Cut ボタンを操作しても、Group 内の全てのチャンネルの Cut ボタンが連動します。

7-5 Meter メニュー

7-5-1 メニューTop

Meter に関する各種設定を行います。

7-5-2 Peak Hold Time

メーターの Peak Hold Time を選択します。
この設定は、ミキサーに表示される全てのレベルメーターに適用されます。

7-5-3 Hold Reset

メーターの Peak Hold 表示を更新します。
ボタンを押すたびに機能が実行されます。

7-5-4 Release Time

メーターの Release Time を選択します。
この設定は、ミキサーに表示される全てのレベルメーターに適用されます。

7-5-5 Meter Type

メーター画面にデフォルトで表示するメーターを選択します。

7-5-6 Main Meter

Main メーターに表示する Bus を選択します。

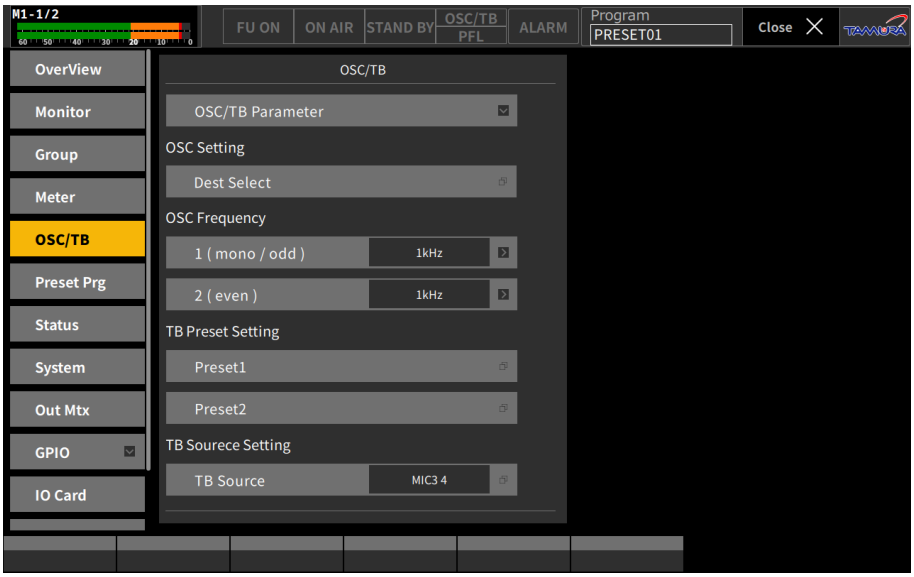
7-5-7 Bus Meter 1/2/3/4

Bus メーターに表示する Bus を選択します。

7-6 OSC/TB メニュー

7-6-1 メニューTop

OSC および TB(Talk Back) の各種設定を行います。



7-6-2 OSC/TB Parameter

このメニュー選択中、Fader Unit の Master Bay にある Select エンコーダーにて OSC Trim、TB Level の調整ができます。

7-6-3 OSC Dest Select

OSC 送出設定を行います。このメニューを選択すると、OSC Destination 選択ウィンドウが表示されます。

ウィンドウ内のボタンを押すと、そのボタンに対応する Bus に OSC 音声が送出されます。もう一度押すと送出が解除されます。

1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すことで、それら 2 つのボタンと、その間の全てのボタンの On/Off を操作することができます。

7-6-4 Frequency 1/2

OSC 音声の選択を行います。
Frequency 1 の音声は、Mono Bus、もしくは Stereo Bus の L チャンネルに使用されます。
Frequency 2 の音声は、Stereo Bus の R チャンネルに使用されます。

7-6-5 TB Preset 1/2

Talk Back の SET ボタンを使用したときに TB 出力先設定を行います。
Preset1 は SET1 ボタン、Preset2 は SET2 ボタンに対する設定です。
このメニューを選択すると、TB Preset 設定ウィンドウが表示されます。

7-6-6 TB Source

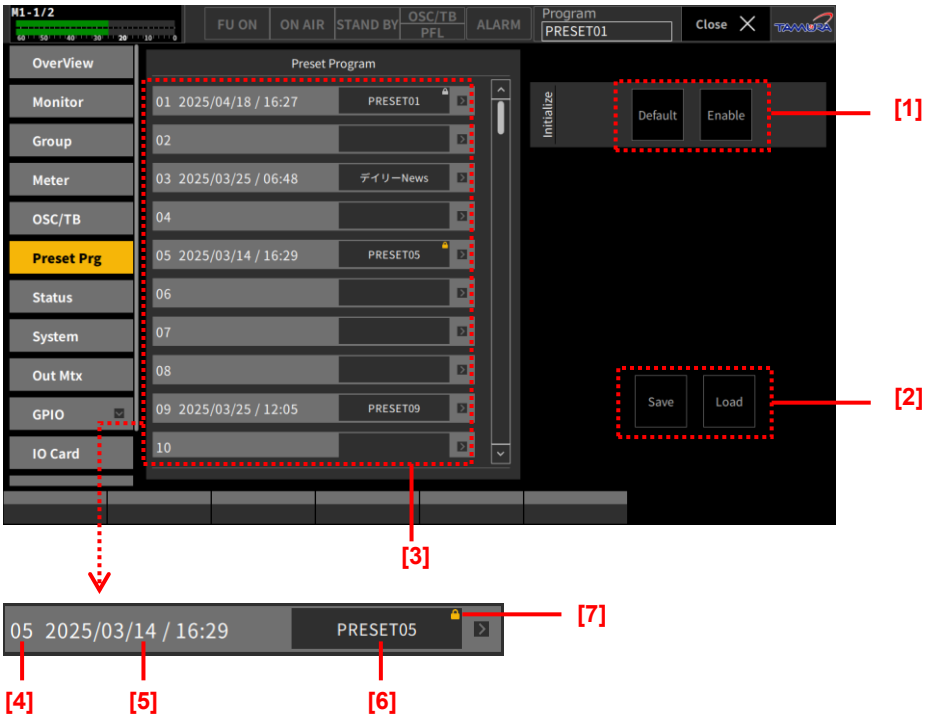
Talk Back 入力に使用する Source を設定します。
このメニューを選択すると、TB Source 設定ウィンドウが表示されます。

Mic Ch の基準レベルは-30dBFS に設定されています。
TB Source に選択した際に音量が低いと感じる場合は TB Level を調整してください。

7-7 Preset Program メニュー

7-7-1 メニューTop

f100 本体に保存される Preset Program の登録、呼び出し、管理を行います。



[1] Factory Default 呼び出しボタン

Enable を押しながら Default ボタンを押すと、工場初期値のミキサー設定が呼び出されます。本操作により Preset Program の登録状態及び Setup メニューの設定値は変化しません。

[2] Save / Load ボタン

Preset Program の Save、もしくは Load 画面に切り替えます。

ボタンを押すと、画面左の Edit 選択ボタンが Save 選択ボタン、もしくは Load 選択ボタンに変わります。

[3] Edit 選択ボタン

Edit する Preset Program を選択します。

[4] Preset Program 番号

01 から 99 までの Preset Program 番号を表示します。

[5] タイムスタンプ表示

Preset Program の作成、更新時のタイムスタンプを表示します。

[6] Preset Program タイトル表示

Preset Program のタイトルを表示します。

タイトルの入力は Edit メニューで行います。

[7] Lock 設定アイコン

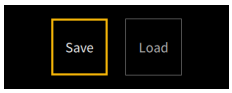
Preset Program の Lock の設定状態を表示します。

7-7-2 Save / Load

Preset Program の保存、読み出しを行います。

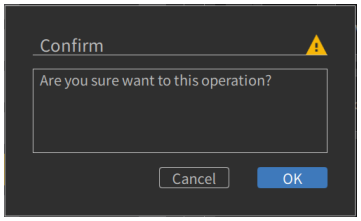
1 メニューTop を表示し Save / Load ボタンを押す

選択したボタンが点灯します。



2 Edit 選択ボタンで操作対象の Preset Program を選択する

ボタンを押すと、実行確認メッセージウィンドウが表示されます。



3 確認メッセージウィンドウで [OK] ボタンを選択する

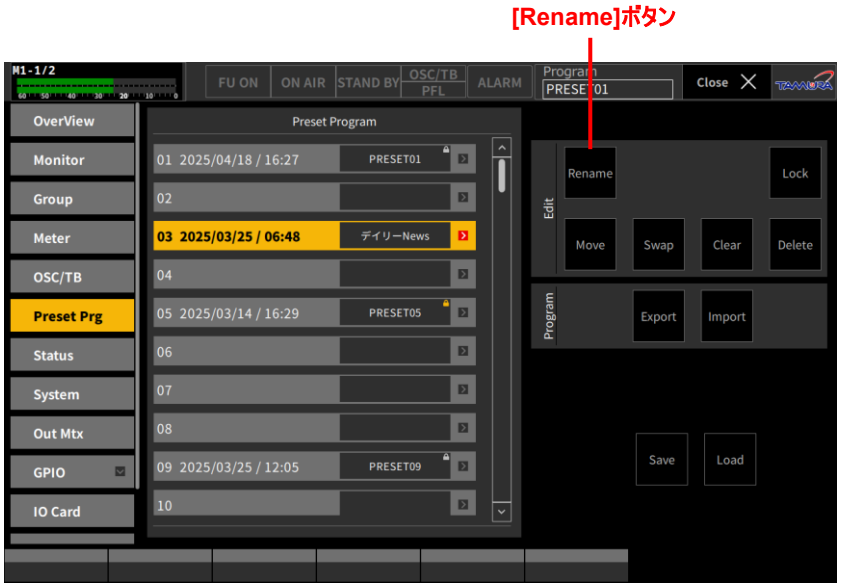
ウィンドウが閉じ、Save もしくは Load が実行されます。

7-7-3 タイトル編集

Preset Program のタイトルを編集します。

1 メニューTop を表示し Edit 選択ボタンで操作対象の Preset Program を選択する

画面右に、編集メニューボタンが表示されます。



2 [Rename] ボタンを押す

表示されるキーボードでタイトルを入力します。

7-7-4 ファイルのロック設定

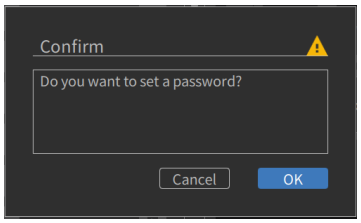
Preset Program ファイルをロック状態にすることができます。
ロック状態になっていると、ファイルの上書き保存や削除が出来なくなります。
パスワードを設定し、ロック解除の際にパスワードを要求するように設定することもできます。

1 メニューTop を表示し Edit 選択ボタンで操作対象の Preset Program を選択する

画面右に、編集メニューボタンが表示されます。

2 [Lock] ボタンを押す

パスワード設定確認メッセージが表示されます。



3 確認メッセージで [OK] または [Cancel] ボタンを押す

a) 解除パスワードを設定する場合 [OK] を選択します。
表示されるキーボードでパスワードを入力します。

b) 解除パスワード設定しない場合 [Cancel] を選択します。

Preset Program ファイルに Lock 設定アイコンが表示されます。

解除パスワード設定あり

解除パスワード設定なし

[1]で、ロック状態の Preset Program ファイルを選択し、[Lock] ボタンを押すと、ロック解除になります。
このとき、解除パスワードが設定されていると、解除パスワードの入力が要求されます。

7-7-5 ファイルリストの編集

1 メニューTop を表示し Edit 選択ボタンで操作対象の Preset Program を選択する

画面右に、編集メニューボタンが表示されます。

2 ファイルリスト編集ボタンで、編集内容を選択する

[Move]: [1]で選択したファイルを移動します。
ボタンを押して、移動先ファイルを選択すると実行されます。

[Swap]: [1]で選択したファイルと、次に指定するファイルの位置を入替えます。
ボタンを押して、移動先ファイルを選択すると実行されます。

[Clear]: ファイルを削除します。削除した後は、Blank になります。
ボタンを押すと、確認メッセージが表示され、[OK]を選択すると実行されます。

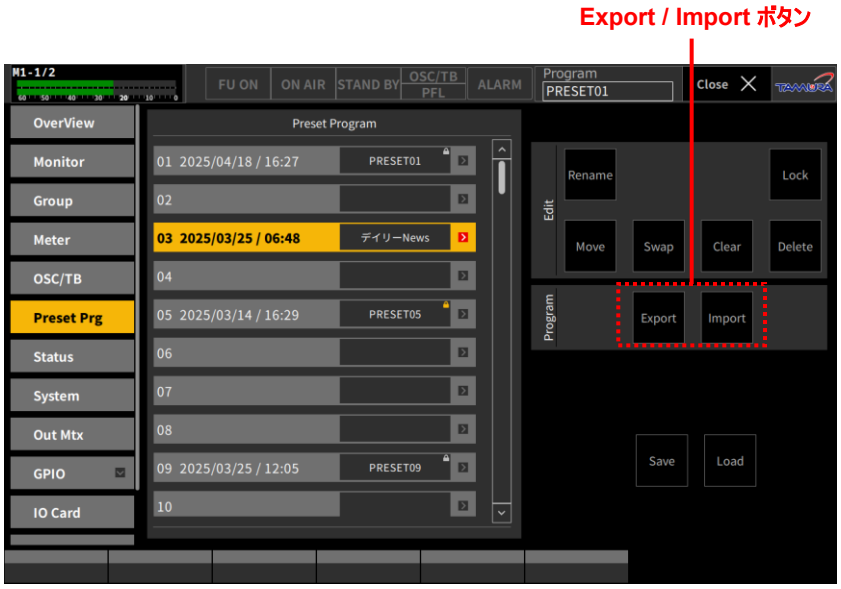
[Delete]: ファイルを削除し、それ以降のファイルの順序を 1 つ前に詰めます。
ボタンを押すと、確認メッセージが表示され、[OK]を選択すると実行されます。

7-7-6 ファイルの Export / Import

Preset Program ファイルを外部 USB メモリに書き出しすることができます。
外部 USB メモリに保存されている Preset Program を読み込みすることができます。
Panel PC の USB ポートに外部 USB メモリを接続した状態で実施してください。

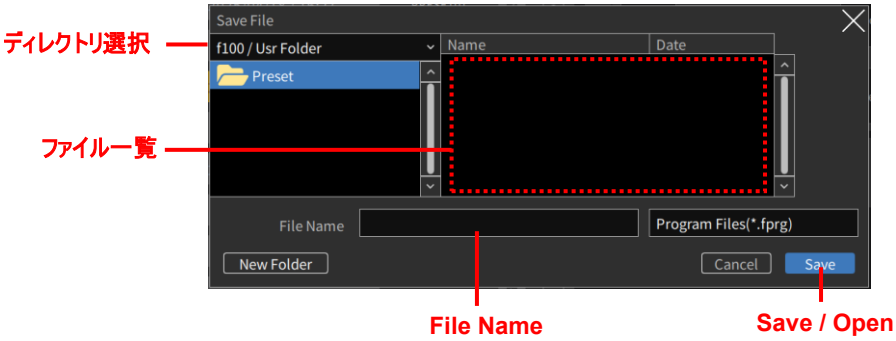
1 メニューTop を表示し Edit 選択ボタンで操作対象の Preset Program を選択する

画面右に、編集メニューボタンが表示されます。



2 Export / Import ボタンを押す

ファイルを書き出しする場合は Export、ファイルを読み込む場合は Import を選択します。
選択すると、ファイルマネージャー画面が表示されます。



3 ファイルマネージャーの画面に従い操作する

a) Export

① ディレクトリ選択のプルダウンから「f100 / USB Memory」を選択する
② File Name を選択し、表示されるキーボードにて保存するファイル名称を入力する
③ Save を選択する

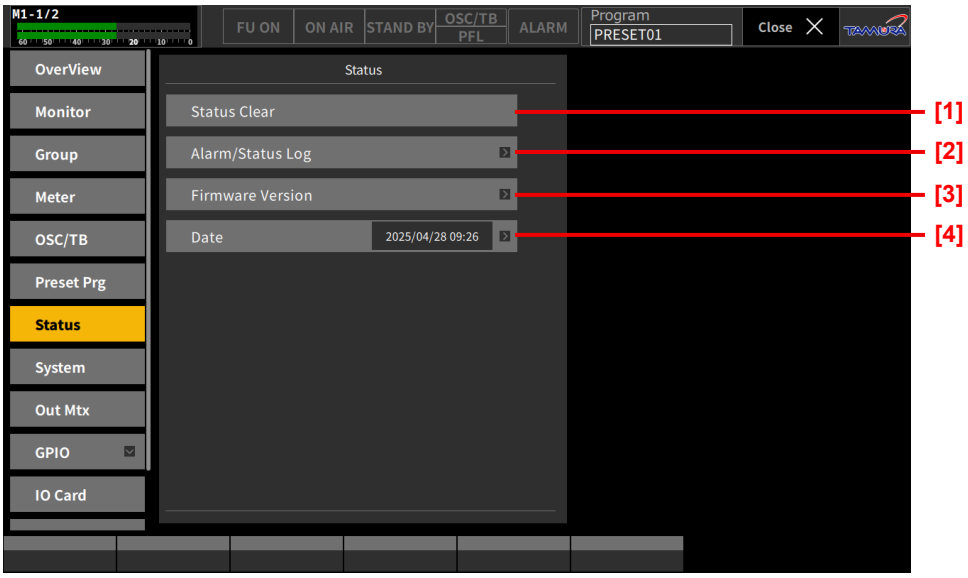
b) Import

① ディレクトリ選択のプルダウンから「f100 / USB Memory」を選択する
② ファイル一覧から読み込むファイルを選択する
③ Open を選択する

7-8 Status メニュー

7-8-1 メニューTop

アラーム情報やログの確認、ファームウェアバージョンの確認、日時設定を行います。



[1] Status Clear ボタン

Mixer Status 画面の Alarm ランプの点滅を止めます。
ボタンを押すと、Alarm ランプは点灯に変わります。
Alarm の発生が既知のものであり、その状態で敢えて運用を続ける場合に、既知の Alarm と、それ以外のものとを区別する必要がある場合に使用します。

[2] Alarm/Status Log

ミキサーに検出されているアラーム情報の詳細や記録されたログ情報を表示します。

[3] Firmware Version

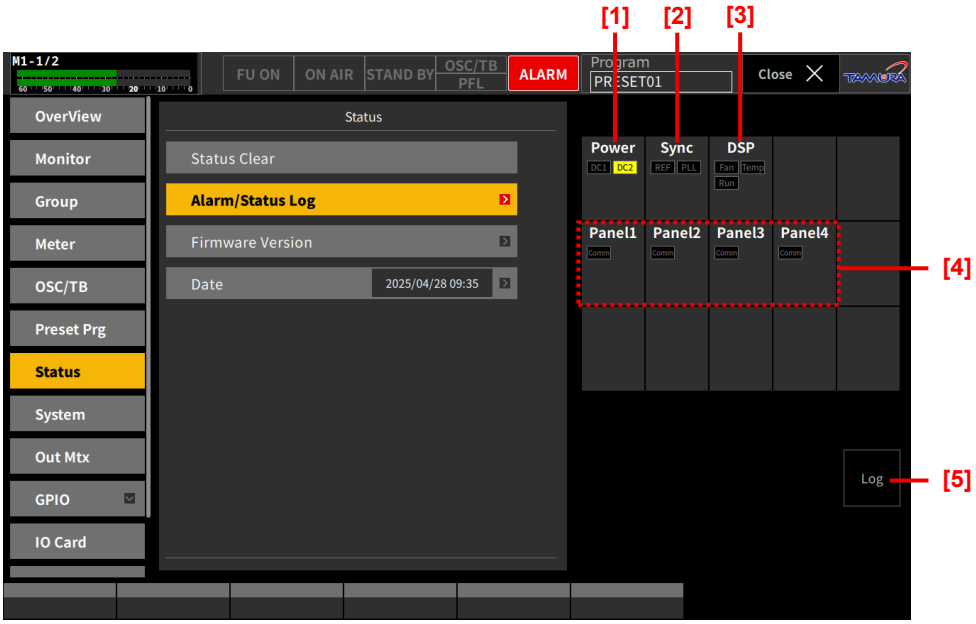
ミキサーのファームウェアバージョンの詳細を表示します。

[4] Date

ミキサーのカレンダー時計の日付及び時刻合わせを行います。
カレンダー時計は出荷時に設定されていますが、誤差がありますので定期的に日付及び時刻合わせを行う様にしてください。

7-8-2 Alarm/Status Log

ミキサーで検出される Alarm を表示します。また、記録されているログ情報を参照します。



[1] Power ステータス表示

f CORE 電源入力の Alarm を表示します。

各電源入力の Alarm は System Menu の設定によりマスクすることが可能です。

DC1 ： DC IN 1 電源入力異常時に点灯

DC2 ： DC IN 2 電源入力異常時に点灯

[2] Sync ステータス表示

System Menu で Sync Source として選択した同期信号の Alarm を表示します。

REF ： 同期信号入力が検出されていない場合に点灯

PLL ： 内部回路が同期信号にロックしていない場合に点灯

[3] DSP

f CORE 内部 DSP Board の Alarm を表示します。

Fan ： 内蔵ファンが停止している場合に点灯

Temp ： 内蔵温度センサが高温異常を検出している場合に点灯

Run ： 音声信号処理部が停止している場合に点灯

[4] Panel

操作 Panel（Fader Unit）の Alarm を表示します。

Comm ： 操作 Panel との疎通異常の場合に点灯

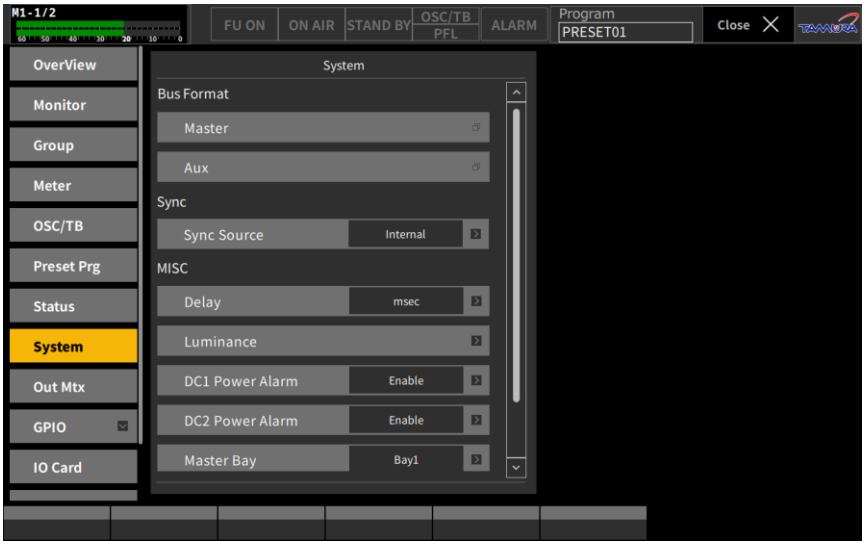
[5] Status Log ボタン

今までに記録された Alarm 発生、回復などのログ記録情報を表示します。古い記録は新しい情報で上書きされます。

7-9 System メニュー

7-9-1 メニューTop

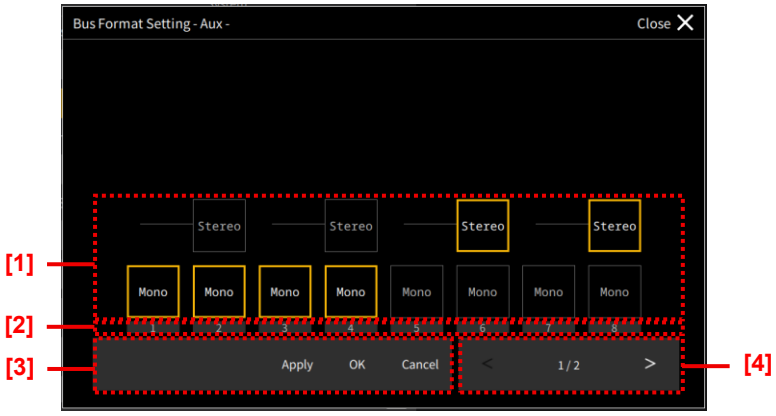
ミキサーのシステム設定を行います。



7-9-2 Bus Format - Master / Aux

Master、Aux の Bus フォーマットを設定します。

このメニューを選択すると、Bus フォーマット設定ウィンドウが表示されます。



[1] Bus フォーマット選択ボタン

Bus フォーマットを選択します。

[2] Bus 番号ラベル

Bus 番号を表示します。

[3] 設定ボタン

Apply を選択すると、ウィンドウを開いたまま変更内容を適用します。
OK を選択すると、変更内容を適用してウィンドウを閉じます。
Cancel を選択すると、変更内容を破棄してウィンドウを閉じます。

[4] ページ送りボタン

ページが複数ある場合、ボタンを押してページを切り替えます。

7-9-3 Sync Source

音声同期信号を選択します。

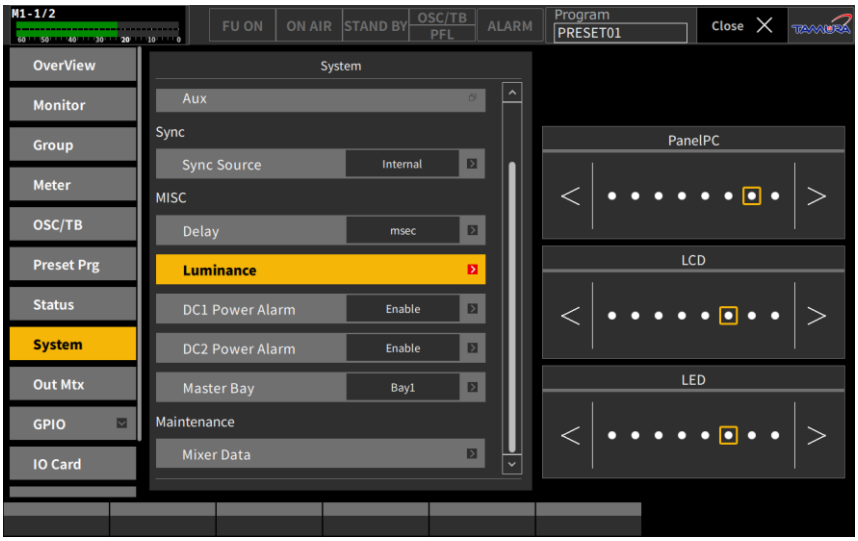
Internal : f CORE 本体内蔵の同期信号を選択
Video : f CORE 背面の VIDEO IN へ入力した同期信号を選択
Word : f CORE 背面の WORD IN へ入力した同期信号を選択
Slot1/2 : f CORE の IO Card SLOT 1、SLOT2 に実装した Card の同期信号を選択

7-9-4 Delay

Delay の設定単位を選択します。

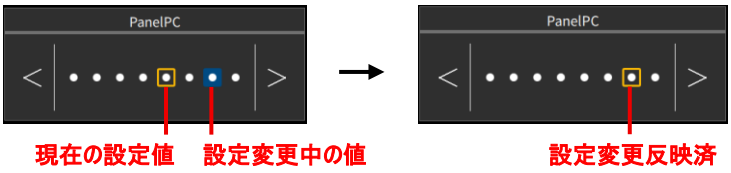
7-9-5 Luminance

Panel PC、Fader Unit の画面、LED の点灯輝度を調整します。
このメニューを選択すると、画面右側に Luminance 設定ボタンが表にされます。



左右の矢印ボタン操作、または直接設定したいポジション(●印)を選択して調整します。
カーソルが左端のとき最小、右端のとき最大輝度になります。

Panel PC の輝度設定は、設定値を選択してから設定が反映されるまで時間がかかります。
設定変更中の間はカーソルが青表示になり、設定が反映されると黄色枠表示になります。



7-9-6 DC1/2 Power Alarm

DC IN1 / DC IN2 電源異常時に発生する Alarm の許可、禁止を選択します。

7-9-7 Master Bay

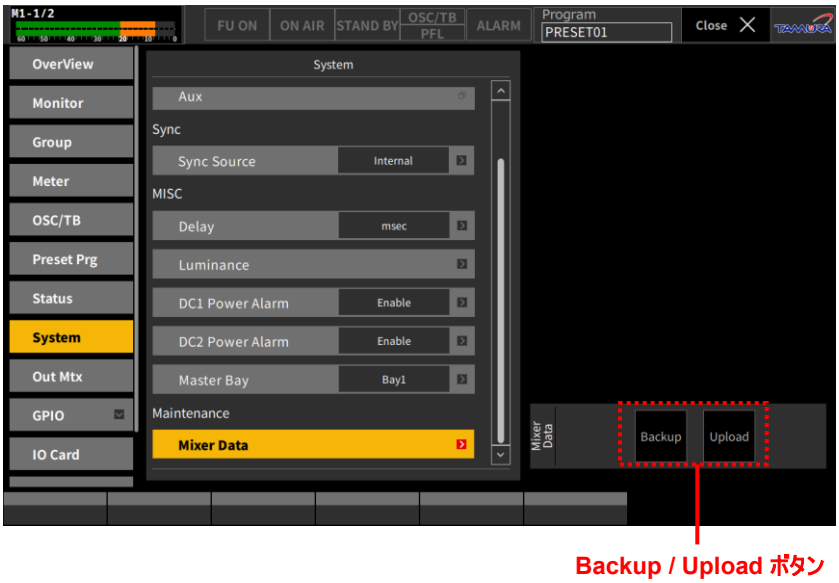
Fader Unit の Master Bay を選択します。
Master Bay に設定する Bay 番号をボタンから選択します。

7-9-8 Mixer Data

ミキサー全体の設定（ミキサーデータ）を外部 USB メモリにバックアップすることができます。
外部 USB メモリにバックアップしたミキサーデータ読み込むことができます。
Panel PC の USB ポートに外部 USB メモリを接続した状態で実施してください。

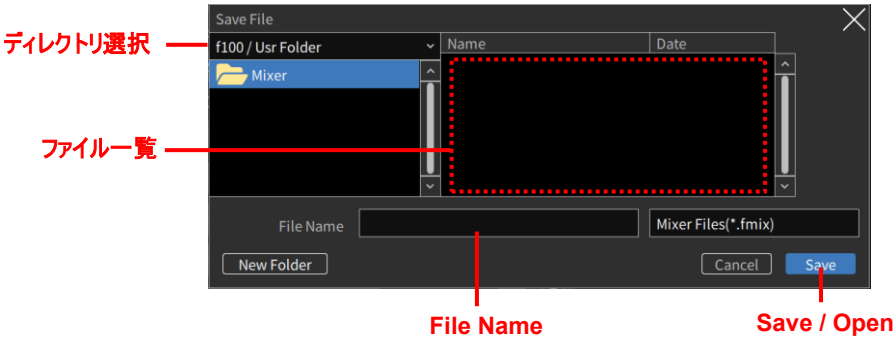
1 メニューTop から Mixer Data を選択する

画面右に、Backup / Upload ボタンが表示されます。



2 Backup / Upload ボタンを押す

ミキサーデータを書き出しする場合は Backup、読み込む場合は Upload を選択します。
選択すると、ファイルマネージャー画面が表示されます。



3 ファイルマネージャーの画面に従い操作する

a) Backup

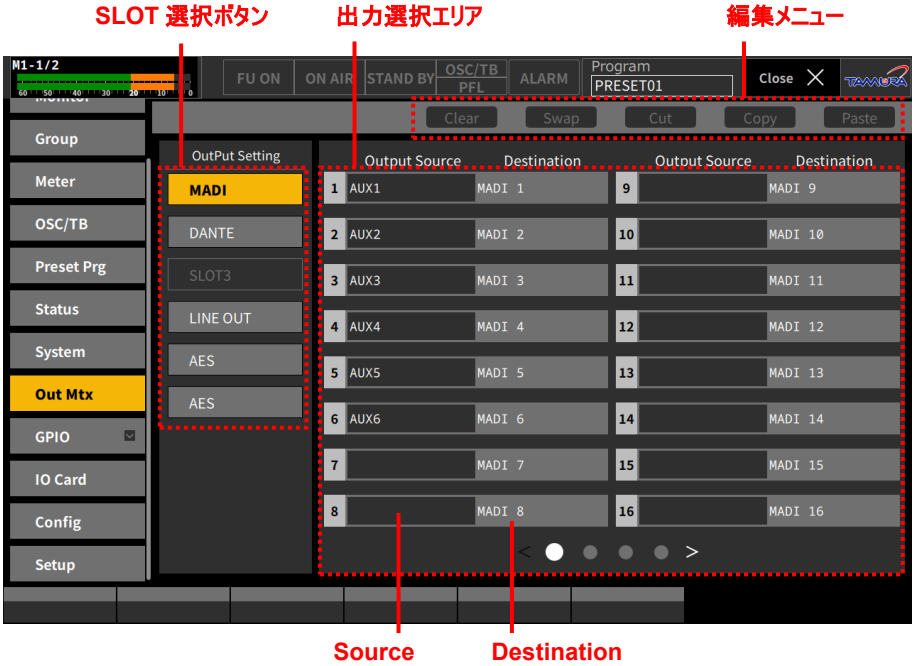
① ディレクトリ選択のプルダウンから「f100 / USB Memory」を選択する
② File Name を選択し、表示されるキーボードにて保存するファイル名称を入力する
③ Save を選択する

b) Upload

① ディレクトリ選択のプルダウンから「f100 / USB Memory」を選択する
② ファイル一覧から読み込むファイルを選択する
③ Open を選択する

7-10 Out Mtx メニュー

Out Mtx メニューでは、f CORE の SLOT に実装された CARD への出力信号を選択します。

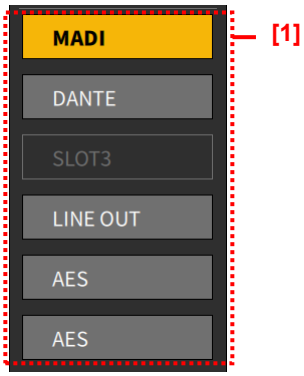


出力選択エリアは SLOT に実装された全出力回線:Destination とその回線へ出力している音声素材:Source が表示されます。このエリアは SLOT 選択ボタンにより切り替わります。

Source 表示部を選択すると Output マトリクス設定ウィンドウが表示されます。ウィンドウに表示された音声素材のリストから出力したい素材を選択します。

Destination 表示部を選択すると編集メニューが有効になります。

Destination 表示部をタッチした状態でドラッグすると、連続した複数の Destination を選択することができます

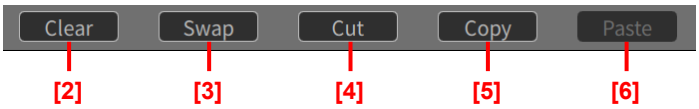


[1] SLOT 選択ボタン

出力選択エリアを、選択した CARD の音声出力回線表示へ切り替えます。

音声出力機能がある CARD が実装されている SLOT には CARD の名称が表示されます。

音声出力機能がない CARD が実装されている、または CARD が実装されていない SLOT は、グレーアウト表示になり選択できません。



[2]　Clear ボタン

選択された Destination の Source をクリアします。Source がクリアされた Destination は音声ミュートします。

[3]　Swap ボタン

選択された Destination の Source を他の Destination の Source と入れ替えます。

Swap 元選択、Swap ボタン押下、Swap 先選択の順に操作します

[4]　Cut ボタン

選択された Destination の Source を他の Destination へ移動します。

Cut 元選択、Cut ボタン押下、Paste 先選択、Paste ボタン押下の順に操作します。

[5]　Copy ボタン

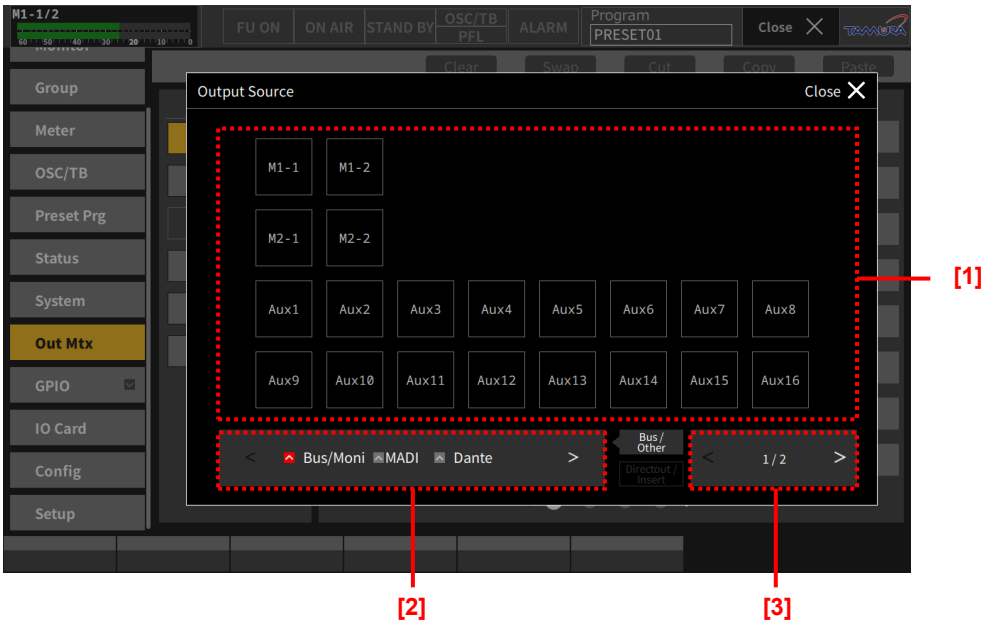
選択された Destination の Source を他の Destination の Source へコピーします。

Copy 元選択、Copy ボタン押下、Paste 先選択、Paste ボタン押下の順に操作します。

[6]　Paste ボタン

Cut、Copy 操作の Paste 実行時に押下します。

7-10-1 Output マトリクス設定ウィンドウ



[1] Source 選択ボタン

割り当てる Source を選択します。

1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すと、それら 2 つのボタンと、その間のボタンに対応する Source を複数の連続した Destination に設定します。

[2] カテゴリ選択ボタン

表示する Source カテゴリを切り替えます。

[3] ページ選択ボタン

ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

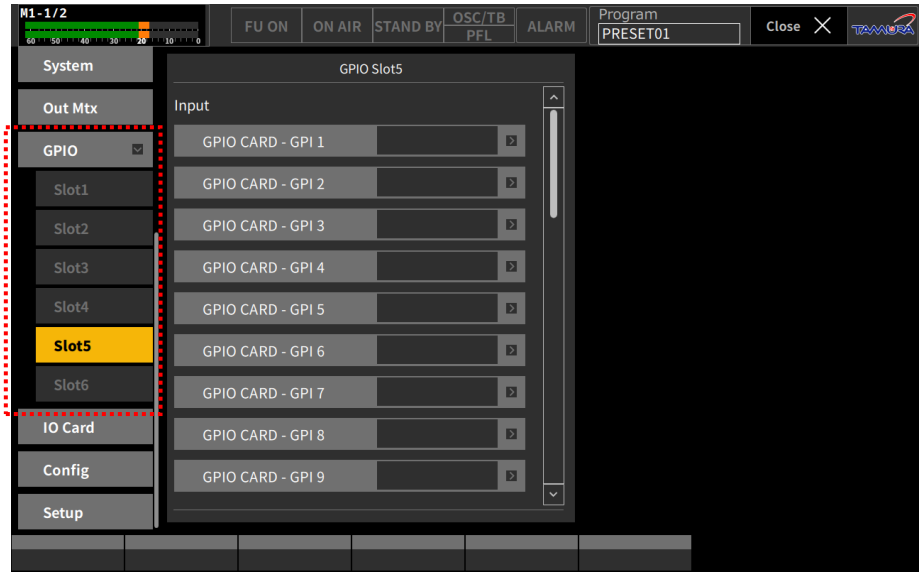
ページが複数ある場合はページ送りボタンが表示されます。ボタンを押してページを切り替えます。

7-11 GPIO メニュー

GPIO Card の各種設定を行います。
機能については「8. GPIO」を参照ください。

7-11-1 メニューTop

Menu 選択ボタンから GPIO を選択すると、GPIO ボタンが展開します。
設定する GPIO Card の Slot 番号を選択し、GPIO Card メニューTop を表示します。

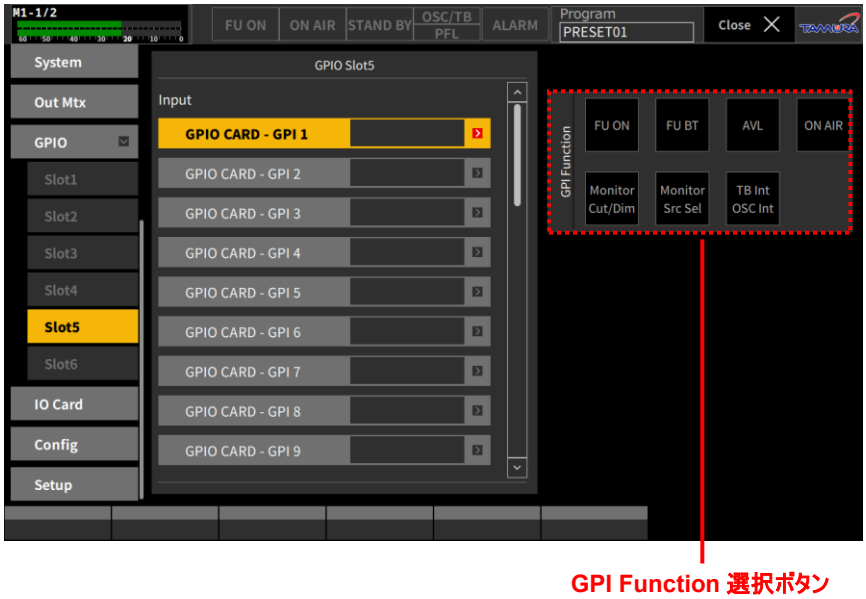


7-11-2 GPIO Card 設定方法 （例：FU ON）

GPIO Input 1 へ FU ON を割り当てる方法を説明します。

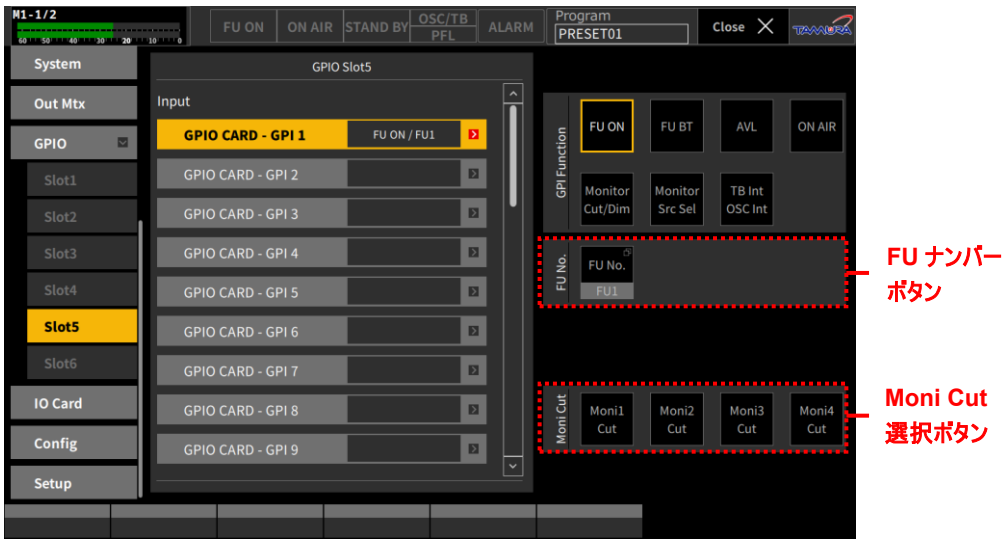
1 メニューTop から Input – GPIO CARD – GPI1 を選択する。

GPI Function 選択ボタンが表示されます。



2 GPI Function 選択ボタンから [FU ON] を選択する

FU ナンバーボタンと Moni Cut 選択ボタンが表示されます。



3 FU ナンバーボタンを選択する

FU ナンバー選択ウィンドウが表示されます。

4 FU 1 を選択する

FU ナンバー選択ボタンから、FU1 を選択します。
選択すると FU ナンバー選択ウィンドウが閉じます。

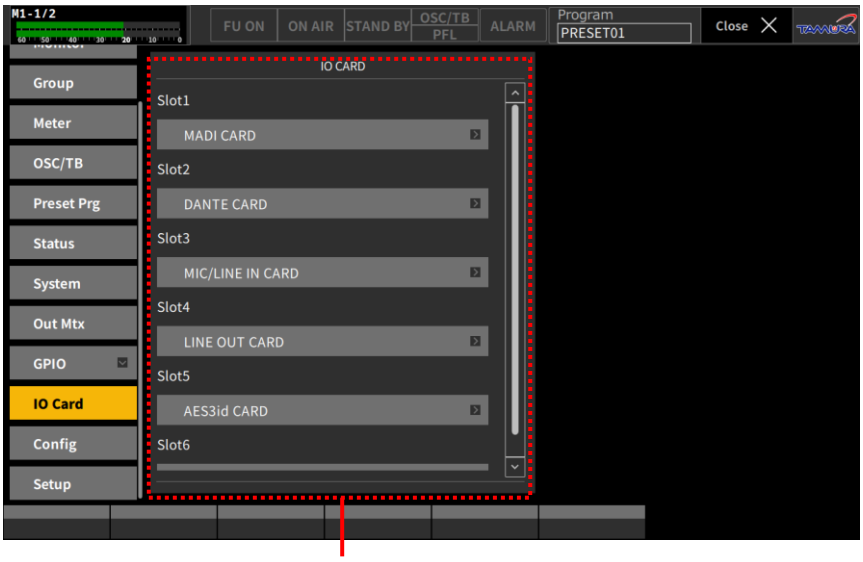
5 FU ON 時にカットする Monitor を選択する

Moni Cut 選択ボタンから選択します。複数選択可能です。

7-12 IO Card メニュー

7-12-1 メニューTop

IO Card の各種設定を行います。
設定項目ボタンには、f CORE に実装されている IO Card 名称が表示されます。



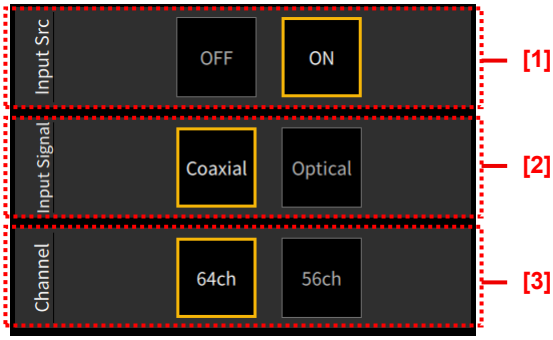
設定項目ボタン

7-12-2 IO Card 設定

IO Card の各種設定を行います。

7-12-2-1 MADI Card

MADI Card の設定を行います。



[1] Input SRC
MADI Card 入力のサンプルレートコンバータの On/Off を選択します。

[2] Input Signal
MADI 入出力コネクタを選択します。
出力は Coaxial、Optical 両方から常に出力されます。

[3] Channel Format
MADI チャンネル数を選択します。

7-12-2-2 Dante Card

Dante Card に設定項目はありません。
設定項目ボタンにて Dante Card を選択しても、選択肢ボタンは表示されません。

7-12-2-3 MIC/LINE IN Card

LINE IN 5～8 の音声基準レベルを選択します。各入力個別に選択できます。

7-12-2-4 LINE OUT Card

LINE OUT 1～8 の音声基準レベルを選択します。各出力個別に選択できます。

7-12-2-5 AES3id Card

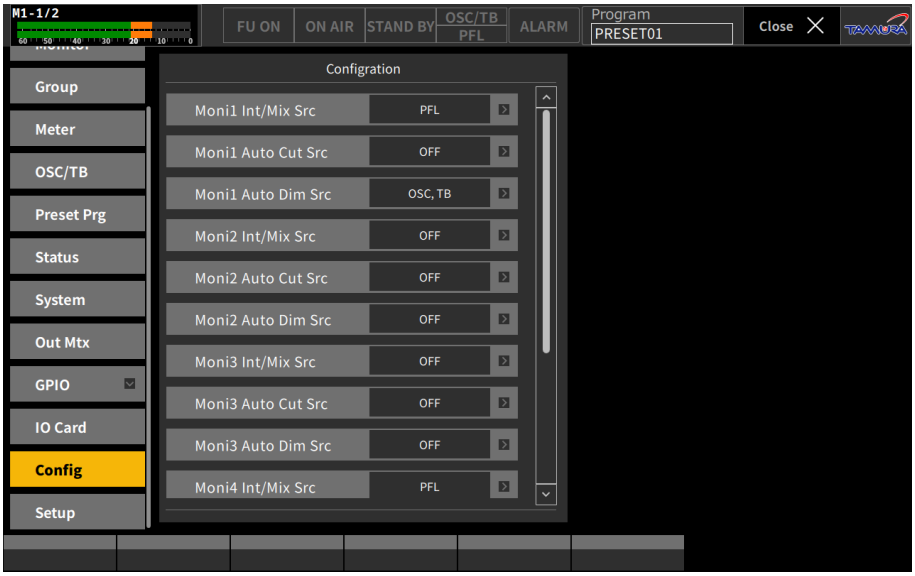
AES3id Card のサンプルレートコンバータ On/Off を選択します。各入力個別に選択できます。

7-12-2-6 GPIO Card

GPIO Card メニューへ切り替わります。

7-13 Config

Monitor への割り込み設定、Auto Cut / Dimmer の条件設定、On Air 時の Inhibit 設定などを行います。



7-13-1 Moni1/2/3/4 Int/Mix Source

Monitor1/2/3/4 へ割り込む素材を選択します。
各 Monitor 個別に選択できます。

7-13-2 Moni1/2/3/4 Auto Cut Source

Monitor1/2/3/4 を自動で Cut する条件を選択します。
各 Monitor 個別に選択できます。

7-13-3 Moni1/2/3/4 Auto Dim Source

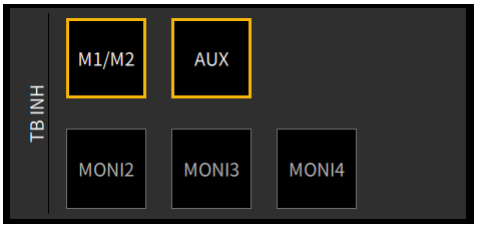
Monitor1/2/3/4 を自動で Dimmer する条件を選択します。
各 Monitor 個別に選択できます。

7-13-4 ON AIR – OSC Inhibit

ON AIR 状態のときに禁止する OSC 送出先を選択します。

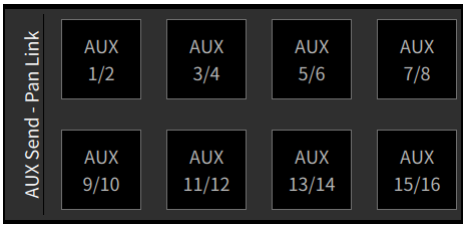
7-13-5 ON AIR – TB Inhibit

ON AIR 状態のときに禁止する TB（Talk Back）送出先を選択します。



7-13-6 Aux Send – Pan Link

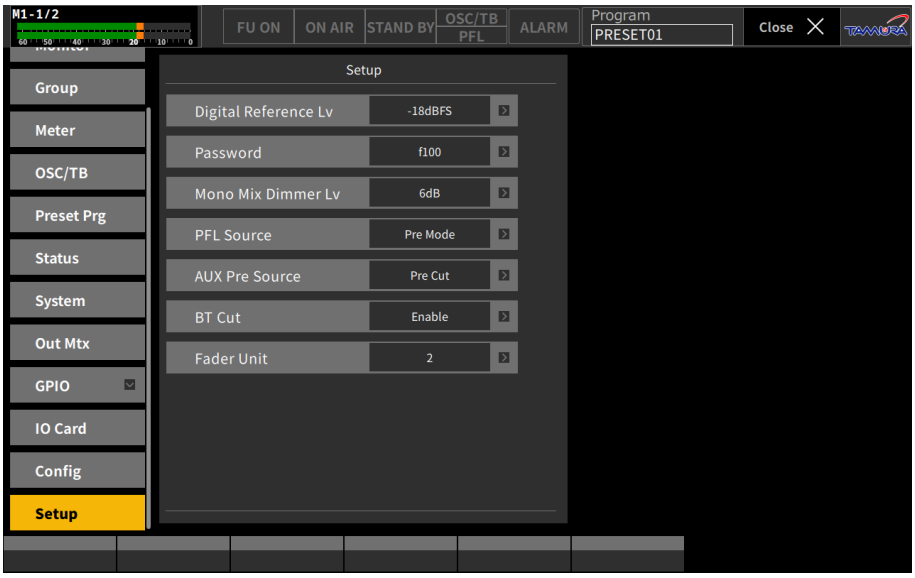
Input チャネルの Aux Pan パラメーターと Stereo Pan パラメーターとのリンク設定を行います。
On 設定された Aux Bus ナンバーへの Aux Pan は同チャンネルの Stereo Pan とリンクします。



7-14 Setup

本画面は f100 の基本設定を行います。誤って設定が変更されない様に、本画面への入場にはパスワードの入力が必要です。パスワードの工場出荷初期値は「f100」です。

本画面の設定は Preset Program の対象外です。Preset Program を Load しても本画面の設定は変更されません。



7-14-1 Digital Reference Level

デジタル音声入出力の基準レベルを選択します。

本設定にメーターの警告表示エリア（色が変化するポイント）、内蔵デジタル OSC 発信機の基準レベル、A/D 変換及び D/A 変換の基準レベルが追従します。

7-14-2 Password

Setup 画面へ入場に必要となるパスワード設定を行います。

パスワードの工場出荷初期値は「f100」です。

パスワード変更時は必ず変更後のパスワード文字列を記録して保管する様にしてください。

7-14-3 Mono Mix Dimmer Level

Stereo 信号の Lch と Rch をミックスした場合に自動で行うレベルダウン量を選択します。

7-14-4 PFL Source

PFL 信号の取り出しポイントを選択します。

7-14-5 Aux Pre Source

Aux 信号の取り出しポイントを選択します。

7-14-6 BT Cut

GPIO Input による FU BT（Back Talk）制御時のチャンネル出力 CUT 動作を設定します。

7-14-7 Fader Unit

使用する Fader Unit の台数を選択します。

台数を変更した場合、f CORE の電源を OFF/ON してシステムを再起動してください。

8. GPIO

8-1 制御機能

8-1-1 機能一覧

8-1-1-1 GPI

機能	説明	設定項目
Link Function FU/BT	On 時、指定 FU 機能を On、もしくは BT On	FU ナンバーの指定 On 時、制御する Monitor の指定
Link Function AVL	On 時、AVL 機能を On	AVL ナンバーの指定 動作パラメーター設定
On Air	On 時、On Air 機能を On	
Monitor Cut	On 時、指定 Monitor を Cut	Monitor 系統の指定
Monitor Dim	On 時、指定 Monitor を Dim	Monitor 系統の指定
Monitor Src Sel	On 時、指定 Monitor Source を On	Monitor 系統の指定 Monitor Source の指定
TB Int	On 時、指定 Bus、Monitor に TB 音声割込み	Bus、Monitor の指定
OSC Int	On 時、指定 Bus に OSC 割込み	Bus の指定

複数の GPI ポートで機能が重複しないように設定を行ってください。1 つの機能が複数のポートで重複すると、正常に動作しない場合があります。

8-1-1-2 GPO

機能	説明	設定項目
Link Function Remote	Link Function Remote 機能 指定ステータス時 On 出力	Start / Stop ステータスの指定
Mic On	指定 FU ナンバーの、Mic On ステータス出力	FU ナンバーの指定

複数の GPO ポートに同一の機能を重複して設定することができます。

8-1-2 Link Function FU/BT (GPI)

Link Function FU の 1 から 8 のいずれかが設定された GPI が Off を受信すると、同 FU 機能が設定されたチャンネルでは、Fader Level が、Fader 位置に関係なく－∞になります（FU Off 状態）。

同 GPI が On を受信すると、Fader Level が Fader 位置と一致します（FU On 状態）。このとき、チャンネルメーターの Link Function ステータスインジケータ が点灯します。

また、同 GPI が On/Off のどちらを受信していても、チャンネルの [REM] ボタンが On になると、Fader Level は Fader 位置と一致し、ステータスインジケータが点灯します（FU THR 状態）。

さらに、同 GPI が On を受信したとき、もしくはチャンネルの [REM] ボタンが On のとき、Monitor1 から 4 の中から指定した Monitor 音声出力が Cut されます。

GPI の状態、[REM] ボタン、Fader Level 設定値、ステータスインジケータの各状態は、下記の通りとなります。

GPI	[REM]	Fader Level	インジケータ	Monitor
On	On	Fader 位置	点灯	Cut
	Off	Fader 位置	点灯	Cut
Off	On	Fader 位置	点灯	Cut
	Off	－∞	消灯	通常

Link Function FU の 1 から 8 のいずれかの BT 機能が設定された GPI が On を受信すると、同 FU 機能が設定されたチャンネルでは、BT 機能が On になります。

また、指定した Monitor へ BT が割り込みます。

BT 機能とは、チャンネルに入力された音声を、Master などの Bus に出力せずに、BT Bus に出力し、その音声を指定した Monitor から出力する機能です。これにより、ナレーション収録用のマイクを、一時的にコミュニケーション用マイクとして使用することができます。ただし、Direct Out へは、そのチャンネルの Audio Path 設定によっては BT 機能が On であっても音声が出力される場合があります。

8-1-3 Link Function Remote (GPO)

Link Function Remote の 1 から 8 のいずれかが設定されたチャンネルの [REM] ボタンが On の状態で、Fader 操作によって Fader 位置が絞りきりではなくなったとき、同 Remote の Start 機能が設定された GPO から Pulse が出力されます。また、[REM] ボタンが Off の状態で、Fader 位置が絞りきりではないときに、[REM] ボタンを押して On の状態にした場合も、該当 GPO から Pulse が出力されます。

Link Function Remote の 1 から 8 のいずれかが設定されたチャンネルの [REM] ボタンが On の状態で、Fader 操作によって Fader 位置が絞りきりになったとき、同 Remote の Stop 機能が設定された GPO から Pulse が出力されます。

Fader 位置、[REM] ボタン、Pulse 出力は下記の通りとなります。

Fader 位置	[REM] ボタン	Pulse 出力
絞りきりでなくなったとき	On	Start 設定した GPO から出力
	Off	なし
絞りきりになったとき	On	Stop 設定した GPO から出力
	Off	なし

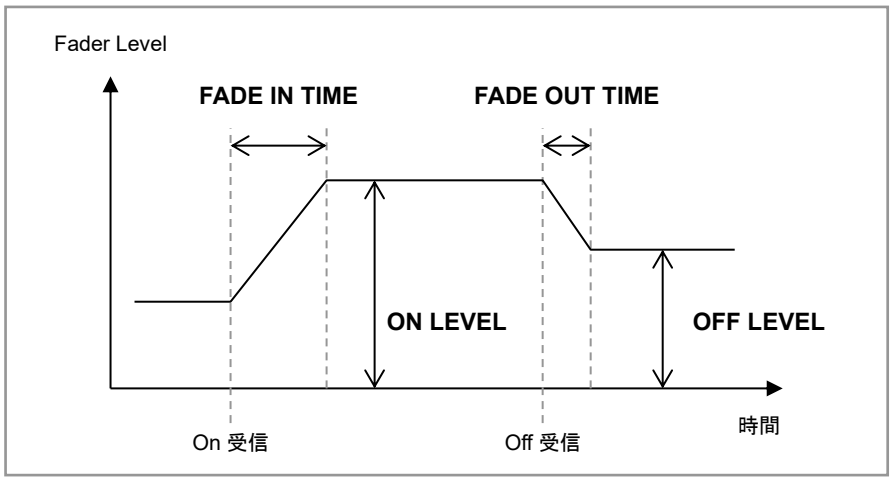
Fader 位置	[REM] ボタン	Pulse 出力
絞りきりでないとき	Off→On	Start 設定した GPO から出力
	On→Off	なし
絞りきりのとき	Off→On	なし
	On→Off	なし

8-1-4 Link Function AVL (GPI)

Link Function AVL の 1 から 16 のいずれかが設定されたチャンネルの [REM] ボタンが On の状態で、同 AVL 機能が設定された GPI が On、もしくは Off を受信すると、その Fader の Fader Level が、あらかじめ設定されたとおりに変更されます

Fader Level 変更動作は、GPI が On を受信した場合は、[FADE IN TIME] と [ON LEVEL] によって規定されます。GPI が Off を受信した場合は、[FADE OUT TIME] と [OFF LEVEL] によって規定されます。

Fader Level の変化と、これらのパラメーターの関係は下図の通りとなります。



AVL 機能が設定された GPI が On を受信すると、チャンネルメーターの Link Function ステータスインジケータが点灯します。

8-1-5 On Air (GPI)

On Air 機能が設定された GPI が On を受信すると、ミキサーは ON AIR 状態になります。

8-1-6 Monitor Cut (GPI)

Monitor Cut 機能を設定した GPI が On を受信すると、指定した Monitor の音声出力が Cut されます。
このとき Cut された Monitor は、Panel PC の Cut ボタン操作で Cut を解除することができなくなります。

8-1-7 Monitor Dim (GPI)

Monitor Dim 機能を設定した GPI が On を受信すると、指定した Monitor の音声出力が Dim されます。
このとき Dim された Monitor は、Panel PC の Dim ボタン操作で Dim を解除することができなくなります。

8-1-8 Monitor Src Sel (GPI)

Monitor Src Sel 機能を設定した GPI が On を受信すると、指定した Monitor Source へ切り替わります。
このとき、Panel PC からの Monitor Source 選択はできなくなります。
同 GPI が Off を受信すると、Monitor Source は Off になります。
本機能を設定した全ての GPI が Off になると、Panel PC からの Monitor Source 選択ができるようになります。

1 つの Monitor に対して、複数の GPI ポートに異なる Source を設定した場合は以下動作となります。
・Σ ＝On のとき、6 個まで同時に On にすることができます。それ以降の On 操作は無効になります。
・Σ ＝Off のとき、最後に On/Off が変化した GPI ポートの設定が反映されます。

8-1-9 TB Int (GPI)

TB Int 機能が設定された GPI が On を受信すると、指定した Bus と Monitor へ TB 音声が割込みます。

8-1-10 OSC Int (GPI)

OSC Int 機能が設定された GPI が On を受信すると、指定した Bus に OSC 出力音声が割込みます。

8-1-11 Mic On (GPO)

指定した FU ナンバーが設定されたチャンネルの Fader が絞りきりでなくなったときに、その FU ナンバーが FU On 状態、もしくは FU THR 状態であった場合、Mic On 機能が設定された GPO から On タリーを出力します。

9. Appendix

9-1 チャンネルパラメーター 一覧

パラメーター名	設定値種別			説明
	On / Off	テーブル	動作設定	
EQ 1-4 Freq		*		EQ1-4 の中心周波数を設定します。
EQ 1-4 Gain		*		EQ1-4 の増幅/減衰量を設定します。
EQ 1-4 Q		*		EQ1-4 の尖鋭度を設定します。
Notch Q		*		ノッチフィルターの尖鋭度を設定します。
Notch Freq		*		ノッチフィルターの周波数を設定します。
LPF Freq		*		ローパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。
HPF Freq		*		ハイパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。
LFE Freq		*		LFE フィルタのカットオフ周波数を設定します。
EQ On/Off	*			EQ1-4 を On/Off します。
Filt1 On/Off	*			Filter1 を On/Off します。
Filt2 On/Off	*			Filter2 を On/Off します。
Comp Rto		*		Comp の Ratio を設定します。
Comp Thre		*		Comp の Threshold を設定します。
Comp Atck		*		Comp の Attack Time を設定します。
Comp Rel		*		Comp の Release Time を設定します。
Comp knee		*		Comp の Knee を設定します。
GE Rto		*		Gate の Ratio を設定します。
GE Thre		*		Gate の Threshold を設定します。
GE Atck		*		Gate の Attack Time を設定します。
GE Rel		*		Gate の Release Time を設定します。
GE Hld		*		Gate の Hold Time を設定します。
GE Rng		*		Gate の Range を設定します。
GE Hys		*		Gate の Hysteresis を設定します。
MakeUpG		*		Comp+GE の出力ゲインを設定します。
Comp On	*			Comp を有効にします。
GE On	*			Gate を有効にします。
Peak / RMS		*		ダイナミクス動作開始判定に使用する音声レベルのタイプを設定します。 最小設定は Peak レベル、最大設定は RMS レベルで動作します。
Aux On / Off	*			Aux へのアサインを On/Off します。
Aux Pan		*		Stereo Aux に出力するときの Pan を設定します。
Aux Send Level		*		Aux への出力レベルを設定します。
Pan		*		Bus へ出力するときの Pan を設定します。
Pan On / Off	*			Pan を On/Off します。
Φ On/Off	*			Mono チャンネルの位相反転機能を On/Off します。
ΦR On/Off	*			Stereo チャンネルの R チャンネル位相反転機能を On/Off します。
P48 On/Off	*			P48（ファンタム電源）を On/Off します。
L mono	*			Stereo チャンネルに入力されている L 音声を、L、R 両方のサブチャンネルに入力します。
R mono	*			Stereo チャンネルに入力されている R 音声を、L、R 両方のサブチャンネルに入力します。

パラメーター名	設定値種別			説明
	On / Off	テーブル	動作設定	
L+R mono	*			Stereo チャンネルに入力されている LR 音声を、ミックスして L、R 両方のサブチャンネルに入力します。
M/S On/Off	*			M/S デコードを On/Off します。
Delay		*		音声の遅延量を設定します。
Delay On/Off	*			Delay を On/Off します。
HA Gain		*		マイク入力のアナログゲインを設定します。
Trim		*		デジタル領域の入力レベルを調整します。Stereo チャンネルの場合は、全てのサブチャンネルで連動します。
L Trim		*		サブチャンネル L の入力レベルを調整します。
R Tim		*		サブチャンネル R の入力レベルを調整します。
Insert Send		*		Insert 出力の出力レベルを調整します。
Direct Out Send		*		Direct Out 出力の出力レベルを調整します。

9-2 Select Encoder 機能配置一覧 (Channel Setting)

■ EQ

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	EQ On		
Ch2	Type Sel	EQ1 Gain EQ1 Freq EQ1 Q	Type Sel : Peak / Shelv / Notch
Ch3		EQ2 Gain EQ2 Freq EQ2 Q	
Ch4		EQ3 Gain EQ3 Freq EQ3 Q	
Ch5	Type Sel	EQ4 Gain EQ4 Freq EQ4 Q	Type Sel : Peak / Shelv / Notch
Ch6	Next Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Filt1 On	Filt1 Freq	
Ch2	Filt1 Type	Filt1 Q	Type : HPF / Notch
Ch3	Filt2 On	Filt2 Freq	
Ch4	Filt2 Type	Filt2 Q	Type : LPF / Notch
Ch5			
Ch6	Prev Page		

■ Dynamics

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Comp On	Comp Thre Comp Knee	
Ch2		Comp Rto	
Ch3		Comp Atk	
Ch4		Comp Rel	
Ch5		MakeUpG Peak/RMS	
Ch6	Next Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	GE On	GE Thre GE Hys	
Ch2		GE Rto GE Rng	
Ch3		GE Rel	
Ch4		GE Atk	
Ch5		GE Hld	
Ch6	Prev Page		

■ Aux Send

- Mono

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Page Prev		
Ch2	Aux1 On	Aux1 Send Level	
Ch3	Aux2 On	Aux2 Send Level	
Ch4	Aux3 On	Aux3 Send Level	
Ch5	Aux4 On	Aux4 Send Level	
Ch6	Next Page		

:

Page.4	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Page Prev		
Ch2	Aux1 On	Aux13 Send Level	
Ch3	Aux2 On	Aux14 Send Level	
Ch4	Aux3 On	Aux15 Send Level	
Ch5	Aux4 On	Aux16 Send Level	
Ch6	Next Page		

- Stereo

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Page Prev		
Ch2	Aux1/2 On	Aux1/2 Send Level	
Ch3	Aux1/2 On	Aux1/2 Pan	
Ch4	Aux3/4 On	Aux3/4 Send Level	
Ch5	Aux3/4 On	Aux3/4 Pan	
Ch6	Next Page		

:

Page.4	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Page Prev		
Ch2	Aux13/14 On	Aux13/14 Send Level	
Ch3	Aux13/14 On	Aux13/14 Pan	
Ch4	Aux15/16 On	Aux15/16 Send Level	
Ch5	Aux15/16 On	Aux15/16 Pan	
Ch6	Next Page		

■ Input

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	P48 On	HA Gain	Mic Ch のみ
Ch2	Φ On	Trim	Stereo Ch はΦR
Ch3	L Mono	L Trim	Stereo Ch のみ
Ch4	R Mono	R Trim	Stereo Ch のみ
Ch5	M/S On		Stereo Ch のみ
Ch6	Next Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Pan On	Pan	
Ch2	Delay On	Delay	
Ch3	Insert On	Insert Send	
Ch4		Direct Out Send	
Ch5			
Ch6	Prev Page		

9-3 Select Encoder 機能配置一覧 (Menu)

■ Monitor Menu

- Monitor Parameter

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1		Dimmer	
Ch2		APFL Trim	
Ch3			
Ch4			
Ch5			
Ch6			

- Monitor 1/2/3/4

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1		Moni* Level	* :1～4
Ch2		Moni* Bal	* :1～4
Ch3		Src1 Trim	
Ch4		Src2 Trim	
Ch5		Src3 Trim	
Ch6	Next Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1		Src4 Trim	
Ch2		Src5 Trim	
Ch3		Src6 Trim	
Ch4			
Ch5			
Ch6	Prev Page		

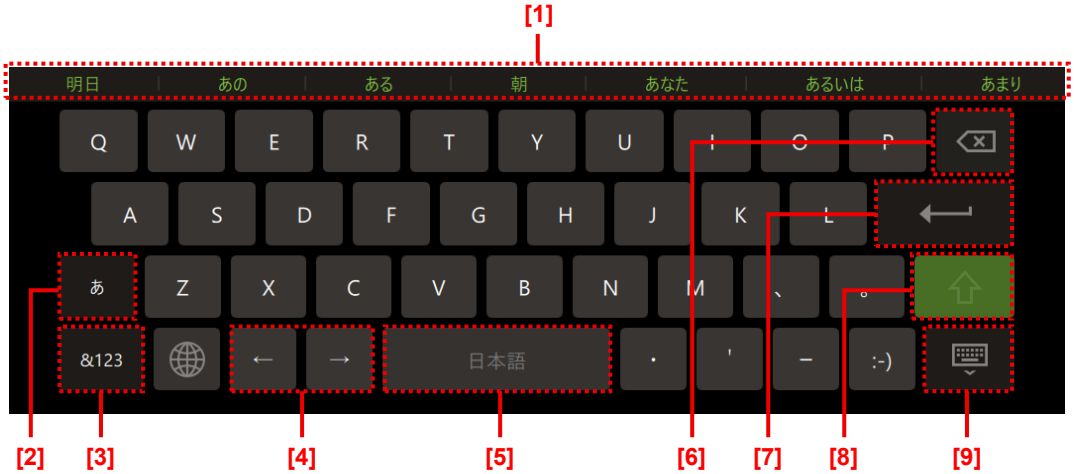
■ OSC / TB Menu

- OSC / TB Parameter

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1		OSC Trim	
Ch2		TB Level	
Ch3			
Ch4			
Ch5			
Ch6			

9-4 キーボード

Panel PC の文字入力エリアを選択すると、キーボードが表示されます。
キーボードを使用して各種文字を入力します。



[1] 変換候補リスト

かな、漢字などの変換候補をリスト表示します。スワイプ操作で横スクロール、リスト押下で選択します。スペースキーを押すと選択中のリストを移動します

[2] 入力モード選択

ボタンを押す度に入力モードが切り替わります。「あ」「カ」「全角」「半角」いずれかを選択します。ひらがな、漢字、全角数字を入力する場合は「あ」を選択します。全角アルファベットを入力する場合は「全角」を選択します。

「あ」:全角日本語入力モード
「カ」:全角カナ入力モード
「全角」:全角英語入力モード
「半角」:半角英語入力モード

[3] 記号、数字、アルファベット選択

ボタンを押す度に「記号、数字:&123」と「アルファベット:ABC」が切り替わります。「記号、数字:&123」へ切り替え後、「入力モード選択」部のボタンがページ切り替えボタン「1/3」「2/3」「3/3」になります。

「&123」:半角数字、記号入力へ切り替え (*1)
「&123」:全角数字、記号入力へ切り替え (*2)
「ABC」:切り替え前のモードへ戻る
(*1) 「カ」「全角」「半角」モードから「&123」を押した場合
(*2) 「あ」モードから「&123」を押した場合

[4] カーソル移動

文字入力カーソル位置を移動します。
の順に操作します。

[5]　スペースキー、変換キー

通常はスペースキーです。入力モードが「あ」の場合はボタン押下の度に変換候補を移動します。

[6]　バックスペースキー

カーソル手前の文字を削除します。

[7]　エンターキー

入力中文字を決定します。

[8]　大文字、小文字選択

入力モードが「全角」「半角」の場合にアルファベットの大文字、小文字を切り替えます。本ボタンが On 表示している場合に大文字入力になります。

[9]　クローズ

キーボードを閉じます。

一部の文字（S-JIS コードに無い特殊文字：「€」「・」「↔」など）は、文字入力決定後に自動で「?」へ変換されます。

f100

Operation Manual

2025 年 4 月　第 1 版

台帳番号　2D-53-00039300

TAMURA CORPORATION

https://www.tamuracorp.com/

株式会社タムラ製作所
TAMURA CORPORATION
https://www.tamuracorp.com/